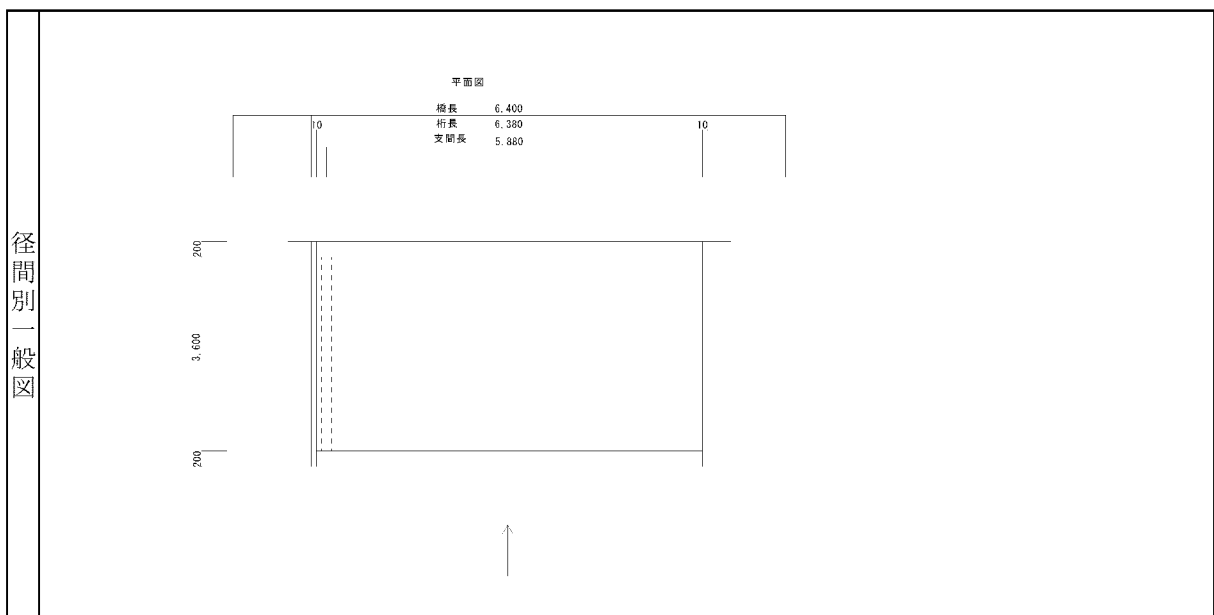
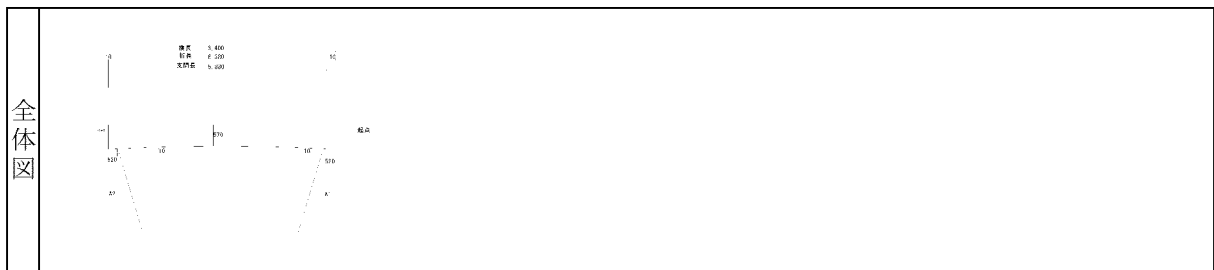
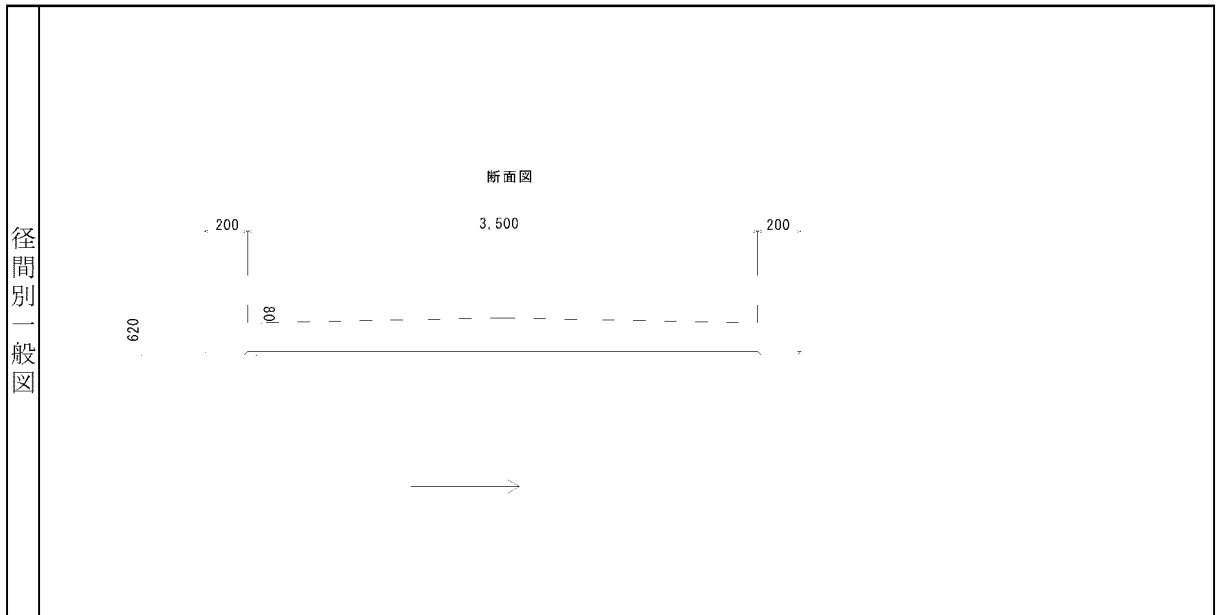


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	豊岡1号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	豊岡町404番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

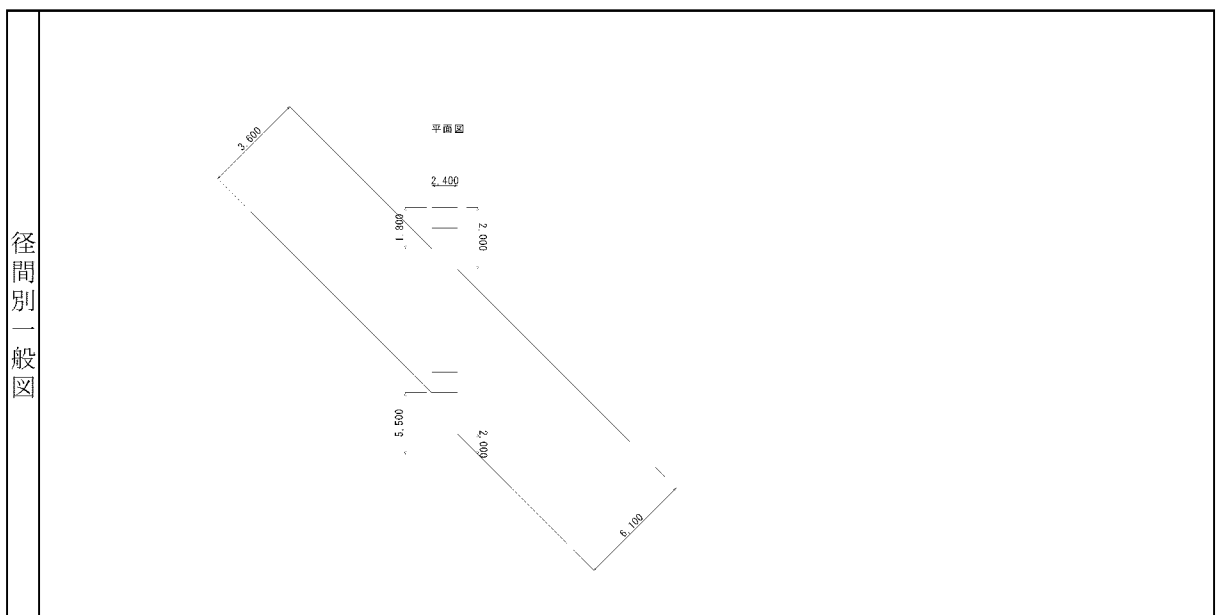
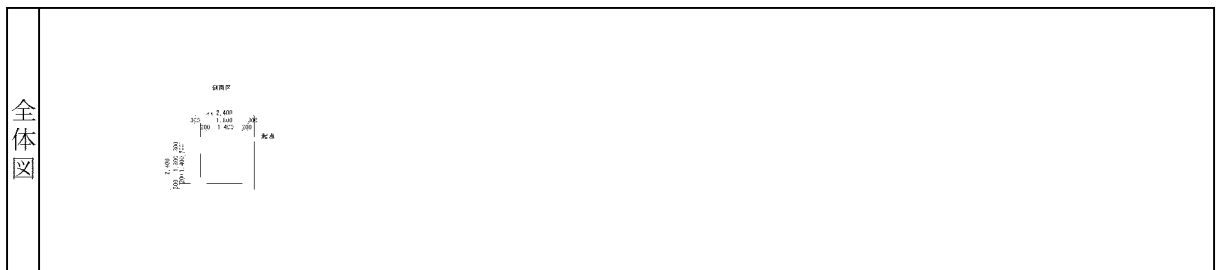
供用開始日	1974年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	昭和48年		
橋長	6.4 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	RC橋 RC床版橋 (その他)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式			
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	3.9 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3.5 m	0.2 m	m	1.75 m	m	0.2 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						



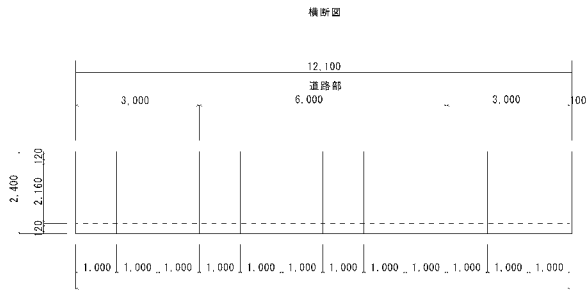


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	桜川橋		路線名	みやもと通	
所在地	自	芦別市本町1185番地 の2	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1965年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和39年		
橋長	3 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式			
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6 m	m	m	3 m	m	m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート の指定			
路下条件	河川・開水路・湖沼						

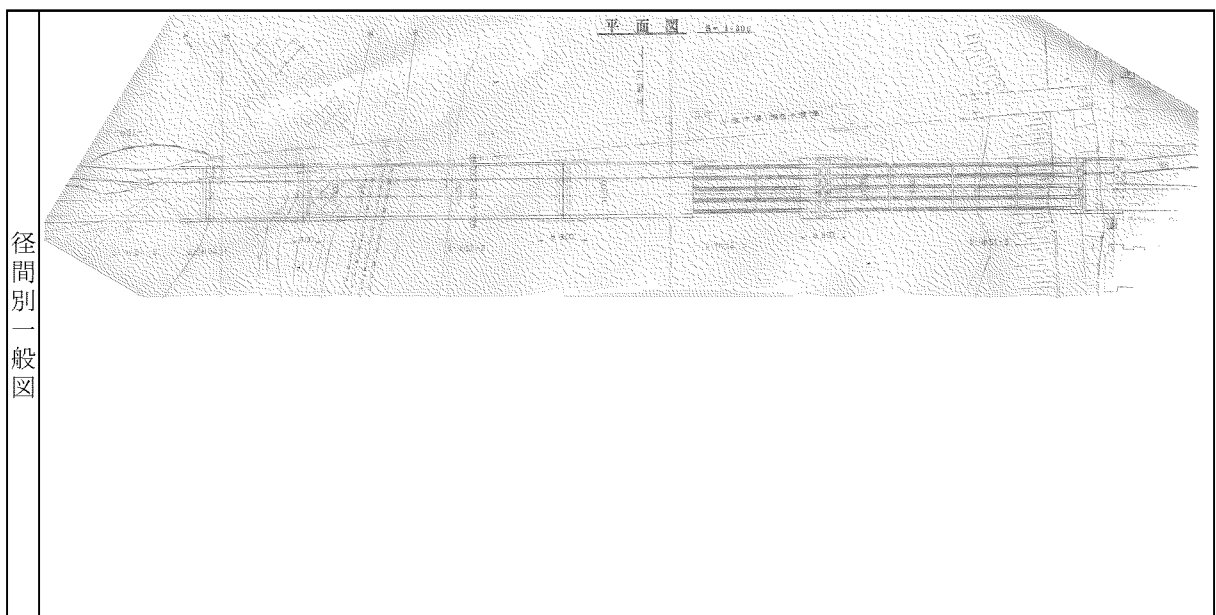
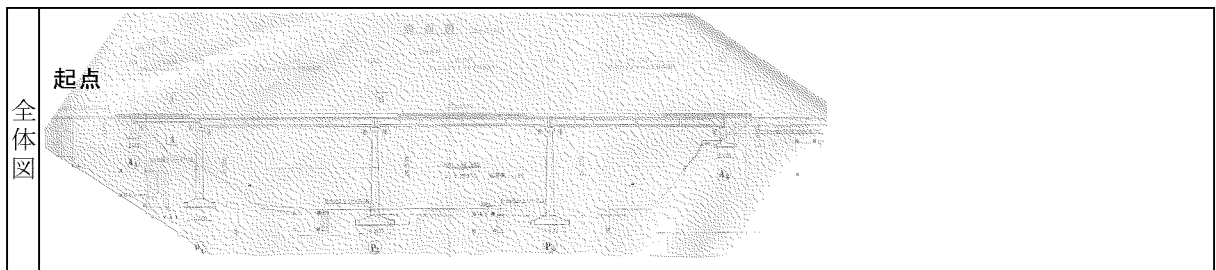


径間別一般図



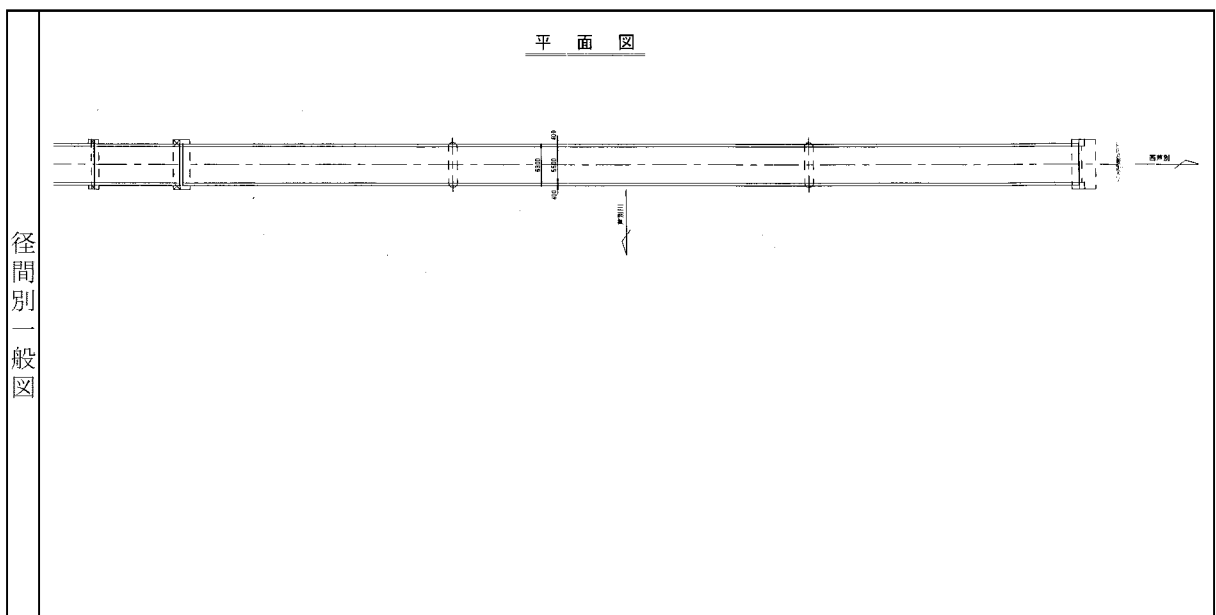
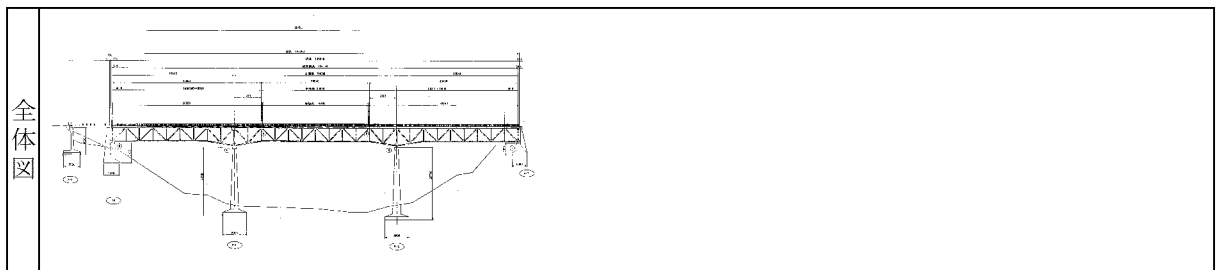
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	泰山橋		路線名	上芦別旭線	
所在地	自	芦別市上芦別町193番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1979年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和53年		
橋長	158.8 m	総径間数	4 径間					
上部構造形式	PC橋 プレテン床版/PC橋 プレテンT桁		下部構造形式	逆T式橋台/壁式橋脚(RC)		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	10.25 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	9.25 m	0.4 m	2.5 m	3.38 m	0 m	3.37 m	0 m 0.6 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							



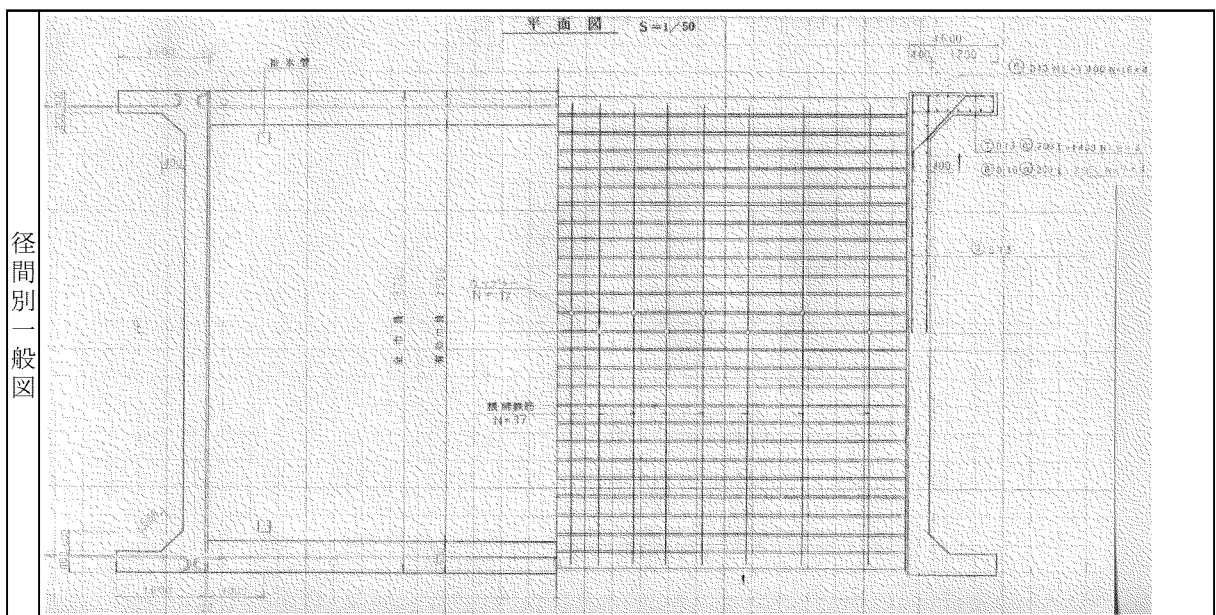
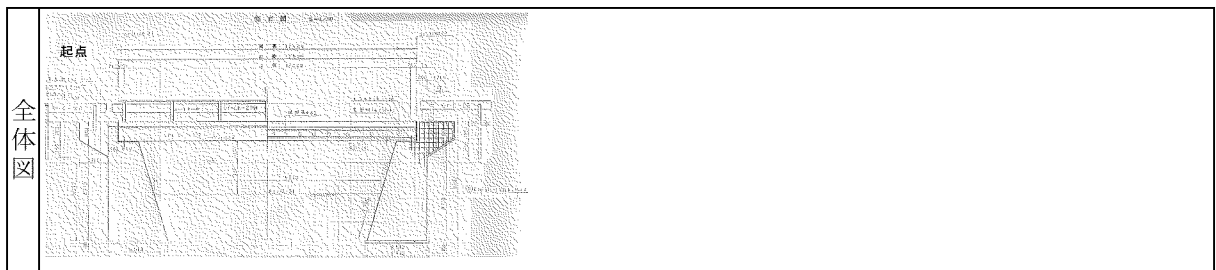
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	啓南大橋		路線名	上芦別西芦別線	
所在地	自	芦別市上芦別町139番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1958年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和31年	
橋長	149.36 m		総径間数	4 径間			
上部構造形式	鋼(鉄)リベット橋トラス橋/PC橋 PC 床版橋その他		下部構造形式	逆T式橋台/壁式橋脚(RC)		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	6.3 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	2.75 m	地覆幅
	有効幅員	5.5 m	0.4 m	m	2.75 m	m	0.4 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



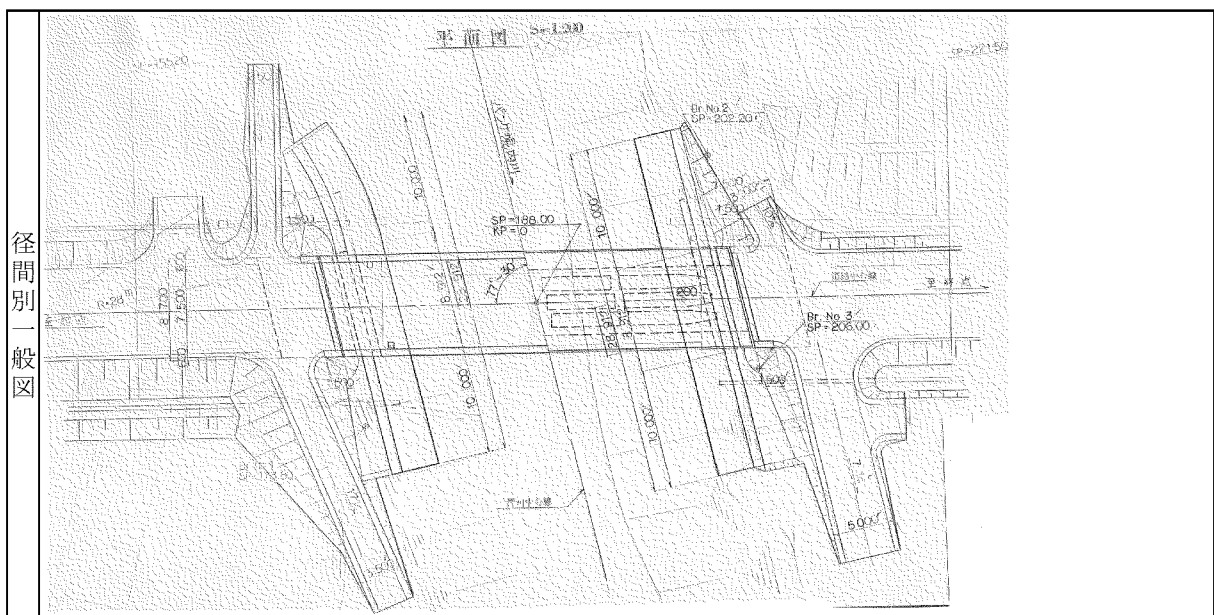
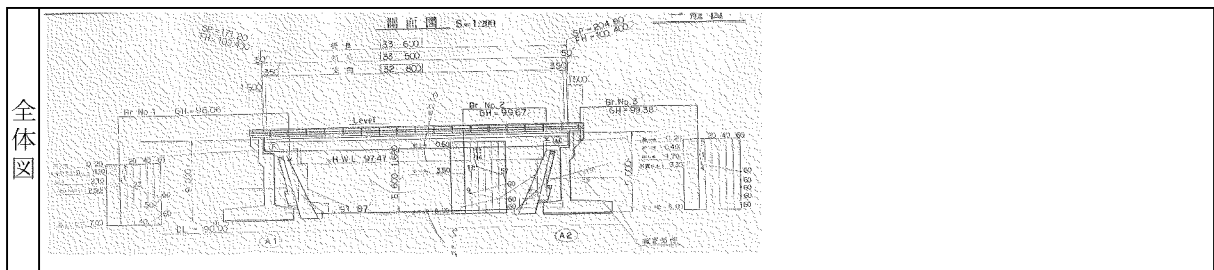
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	遠藤の沢橋		路線名	常磐新城線	
所在地	自	黄金町689番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

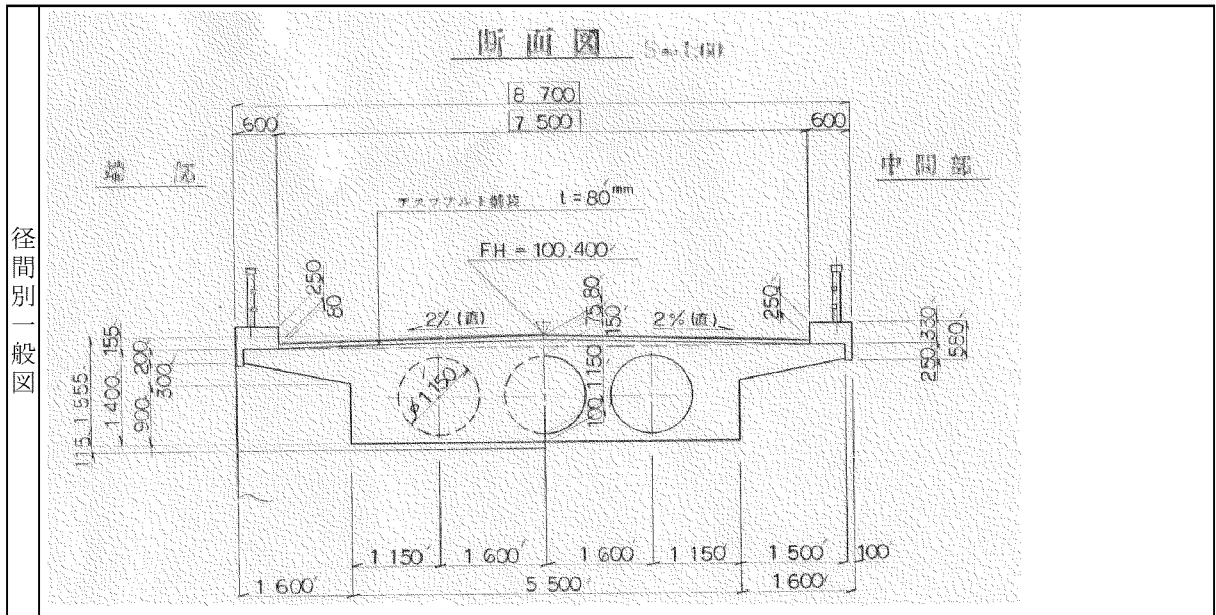
供用開始日	1984年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和55年				
橋長	12.54 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎				
交通条件	調査年			大型車混入率					
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限					
幅員	左側			中央帯	右側				
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	中央帯	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m	3.75 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定			
路下条件	河川・開水路・湖沼								



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	黄金橋		路線名	黄金本通	
所在地	自	芦別市黄金町46番地 の6	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市 芦別市役所	

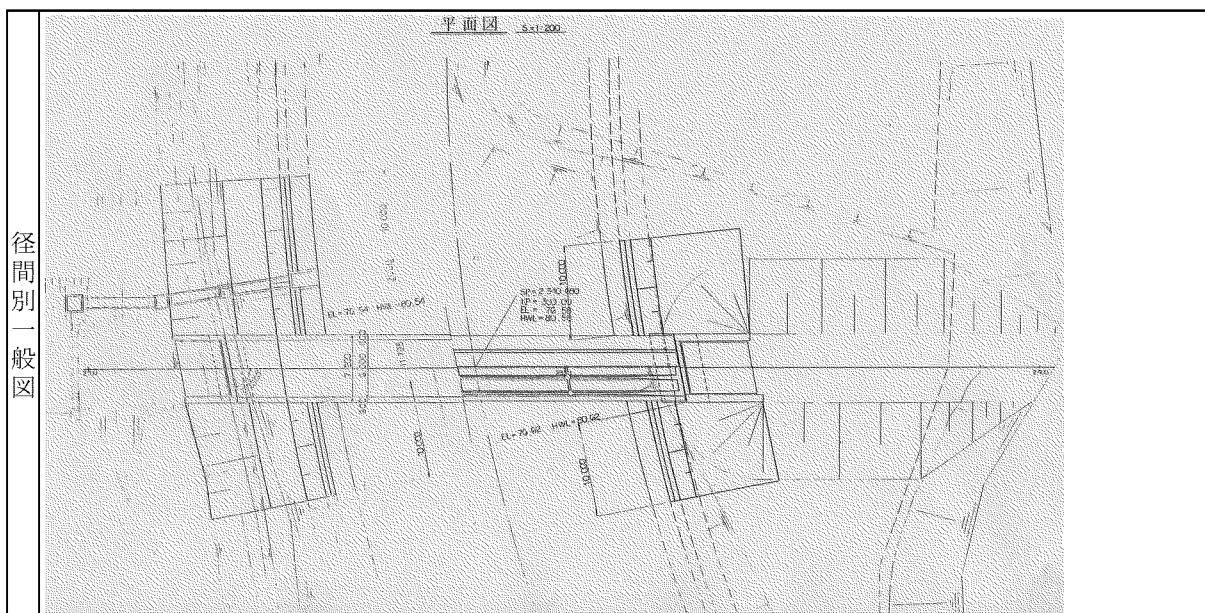
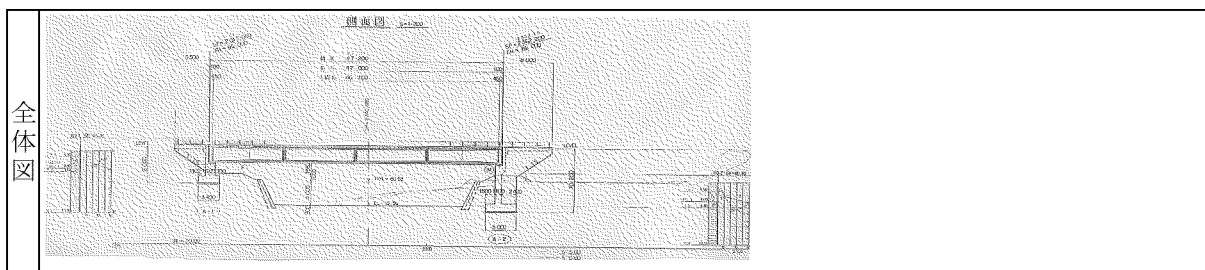
供用開始日	1988年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	33.6 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側				中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅		車道幅・車線	車道幅・車線
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						



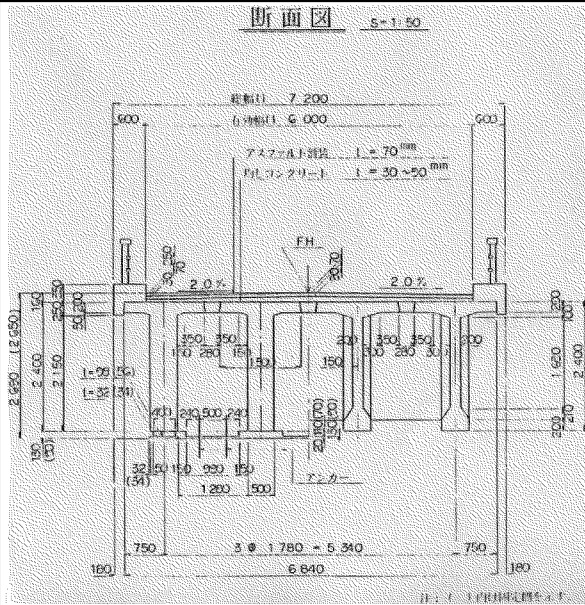


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	新御料橋		路線名	常磐御料線	
所在地	自	芦別市常磐町	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1997年10月	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	平成02年
橋長	47.2 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 ポステンT桁		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式 直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限	
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	0 m
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼					



径間別一般図

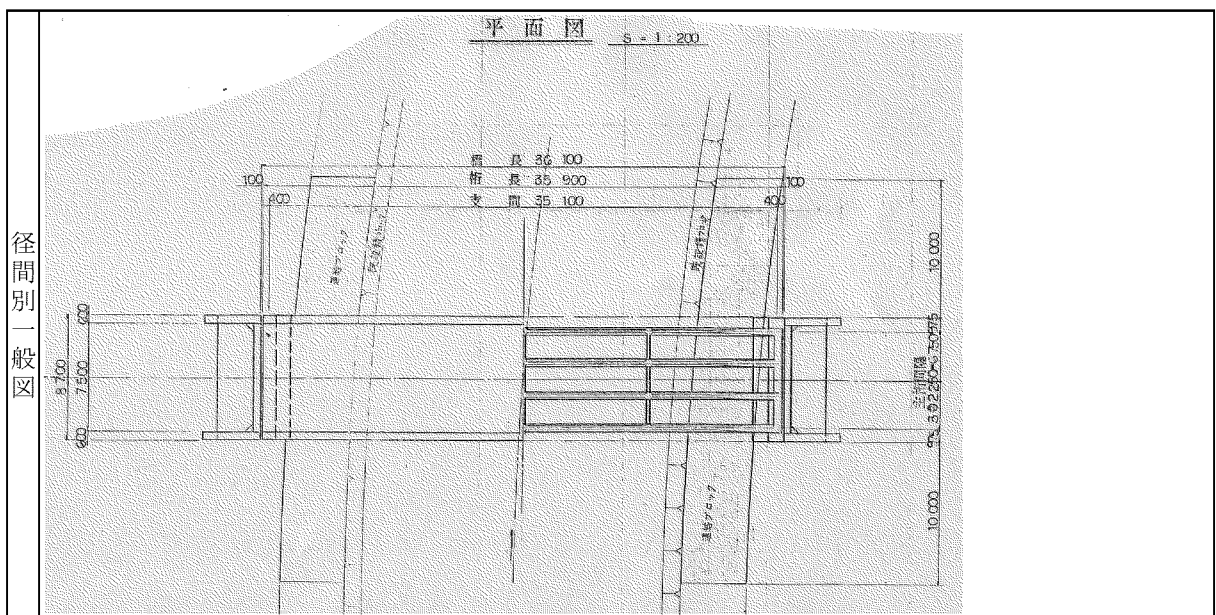
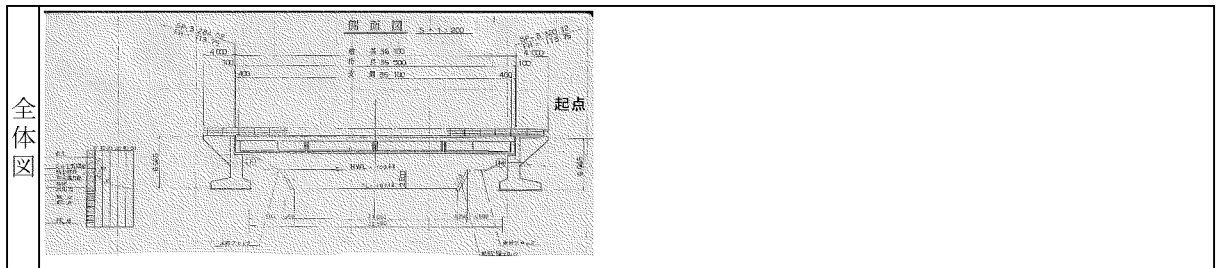


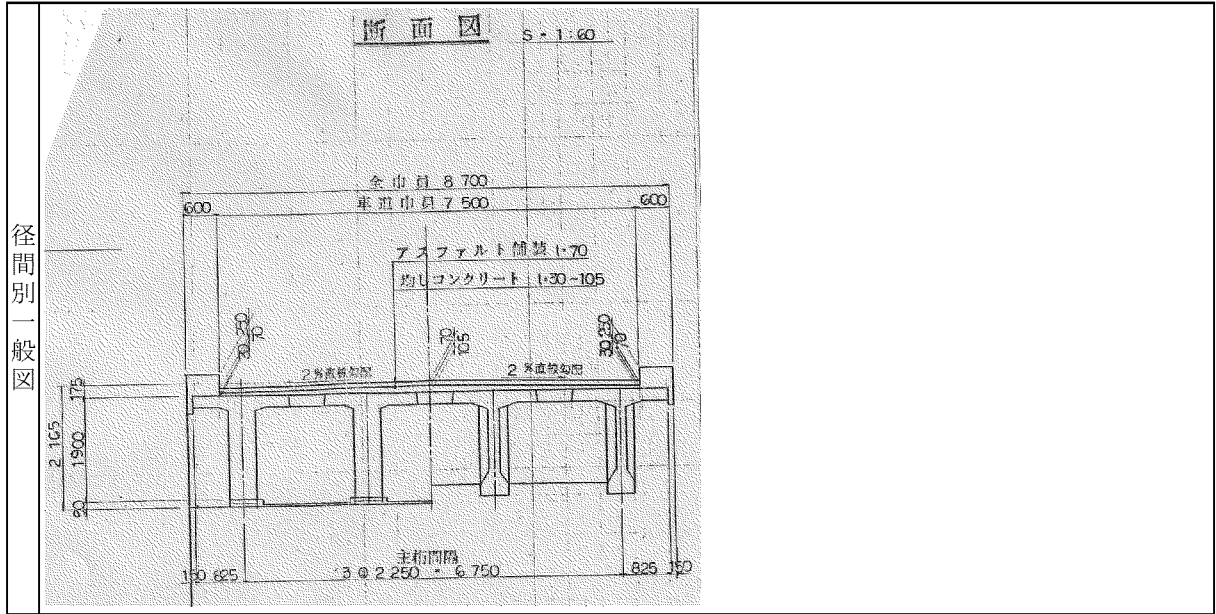
径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
 右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	黄金学校前橋		路線名	黄金零号線	
所在地	自	芦別市黄金町169番地 ^{の7}	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市 芦別市役所	

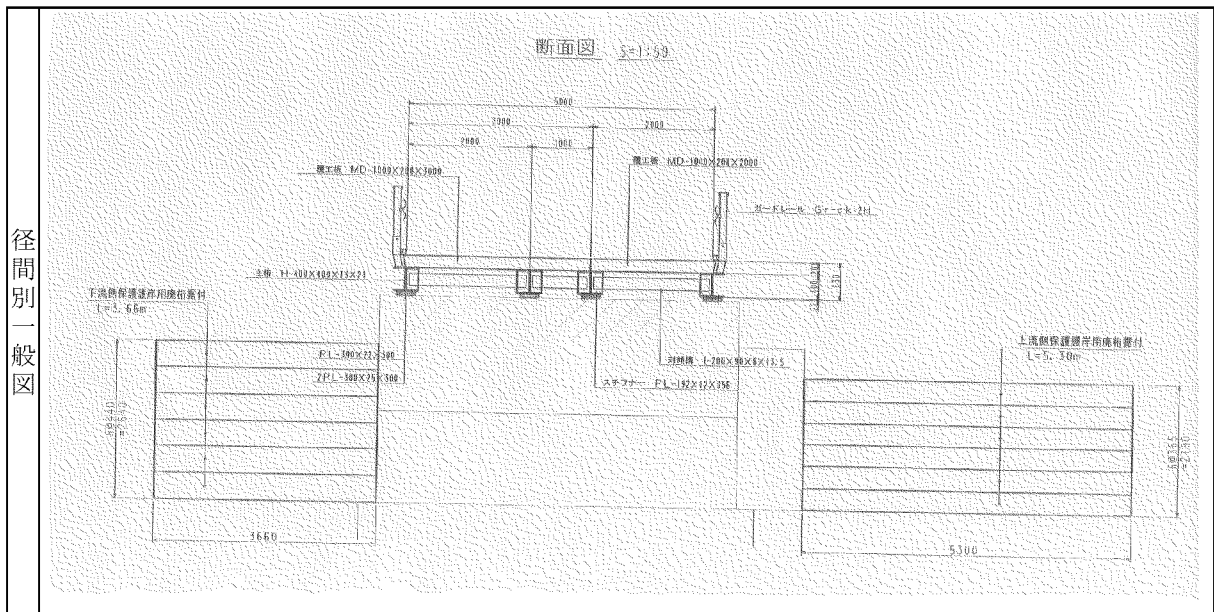
供用開始日	1988年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年		
橋長	36.1 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 ポステンT桁		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m	3.75 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							



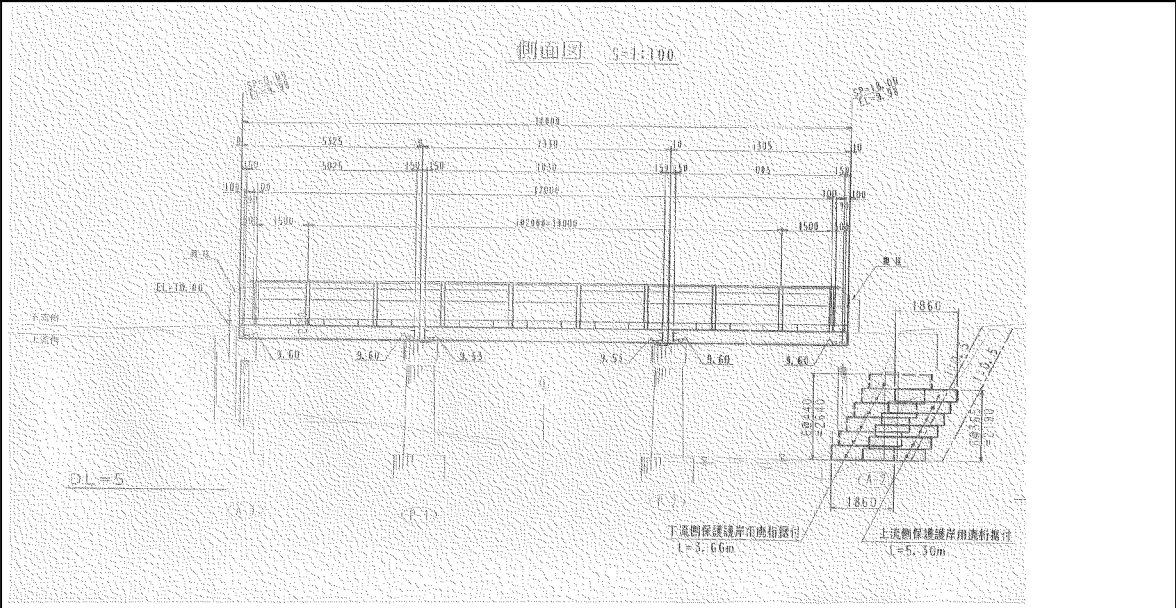


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	鏡橋		路線名	黄金二又線	
所在地	自	芦別市黄金町493番地先	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市 芦別市役所	

供用開始日	2002年9月	活荷重・等級	B活荷重		適用示方書	平成08年	
橋長	18 m	総径間数	3 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 1桁(非合成)		下部構造形式	逆T式橋台/壁式橋脚(RC)		基礎形式	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
有効幅員	5 m	0 m	0 m	2.5 m	0 m	2.5 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

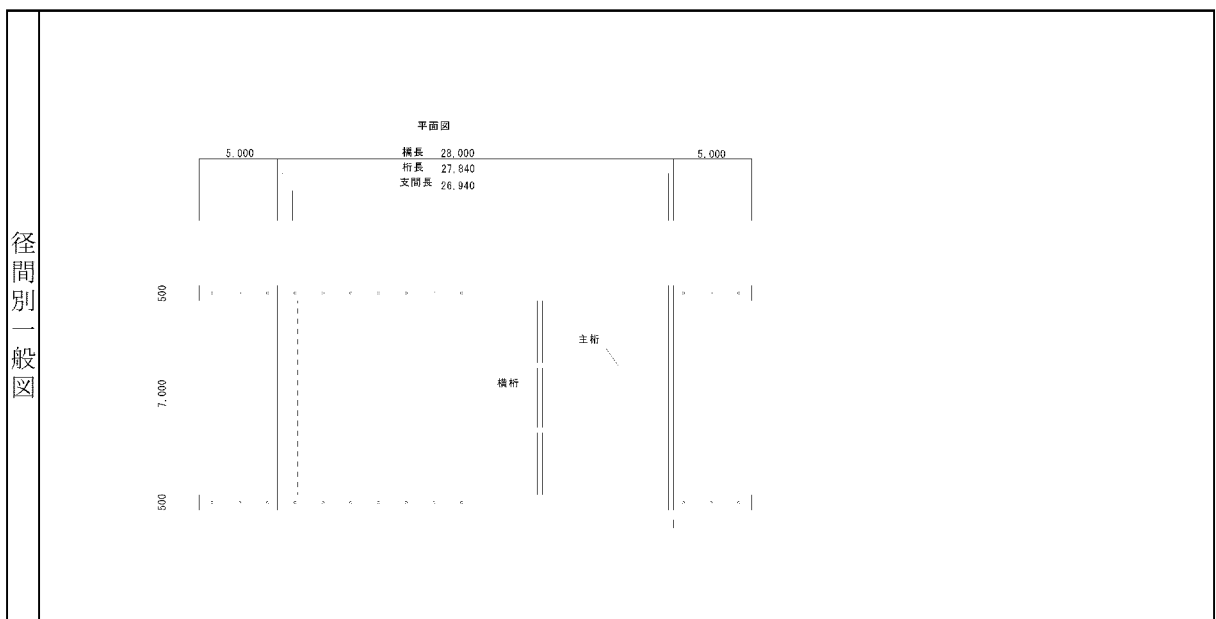


径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

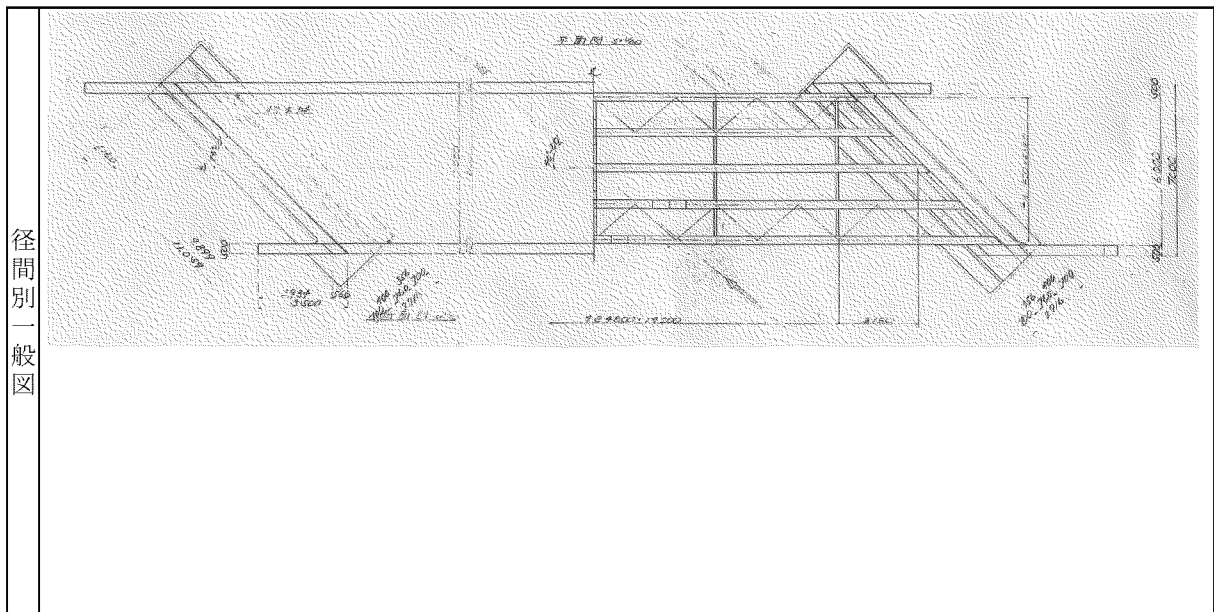
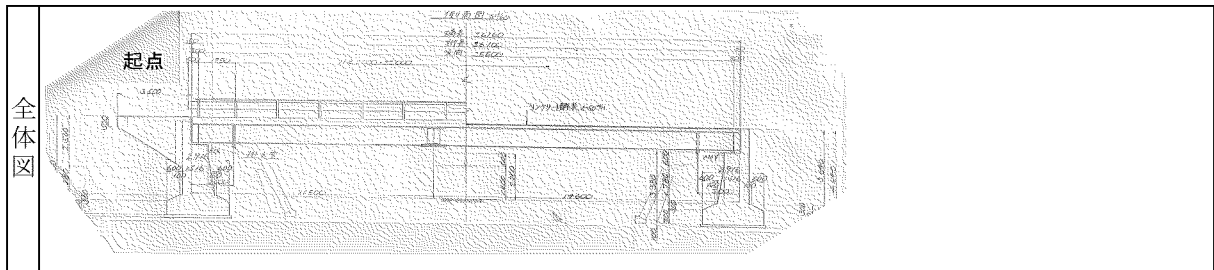
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	東黄金橋		路線名	黄金新城線	
所在地	自	芦別市黄金町583番地 の3	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1977年		活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和48年	
橋長	28 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 ポステンT 桁		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	8 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7 m	0.5 m	m	3.5 m	m	3.5 m	m 0.5 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							



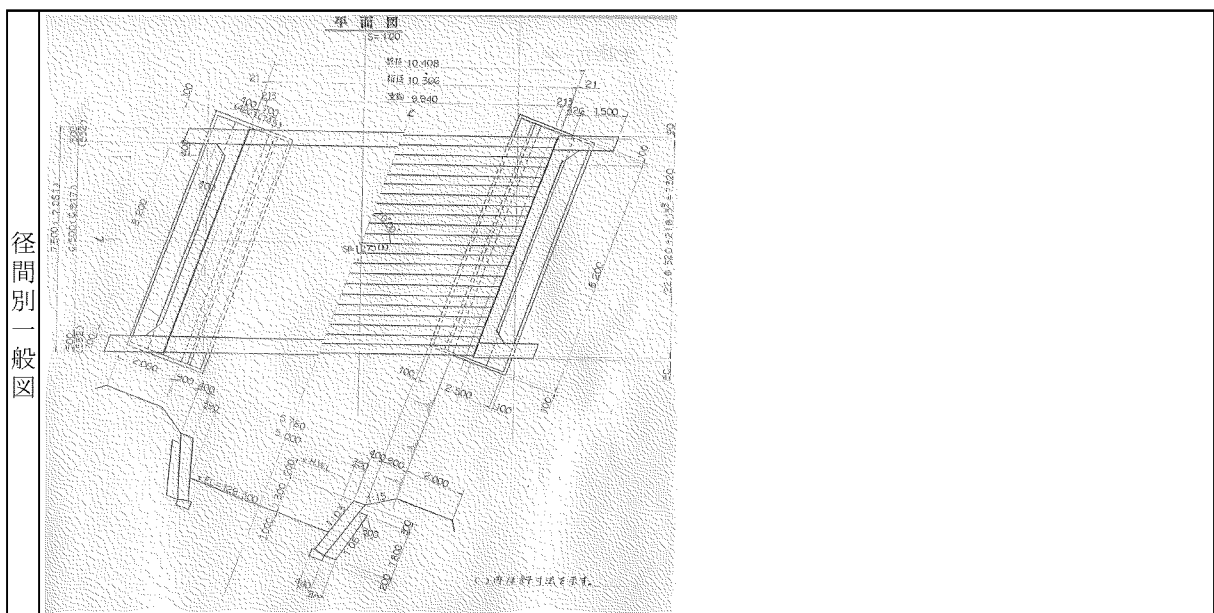
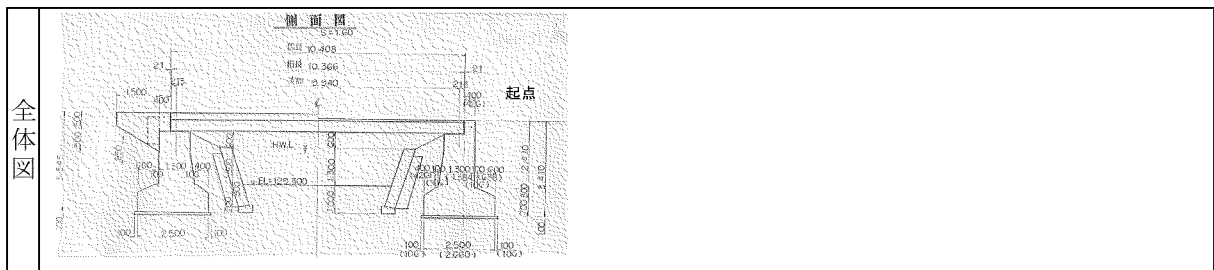
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	豊岡橋		路線名	豊岡本通	
所在地	自	芦別市豊岡町58番地 _{の1}	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

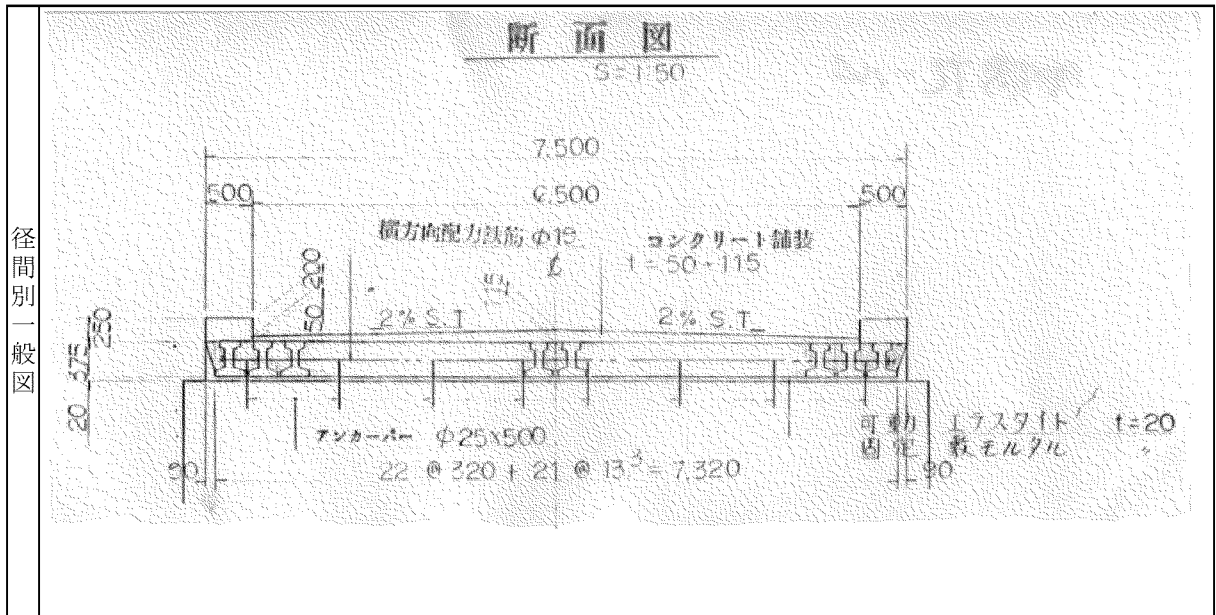
供用開始日	1976年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和47年	
橋長	26.16 m		総径間数	1 径間			
上部構造形式	鋼溶接橋 1桁(非合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6 m	0.5 m	0 m	3 m	0 m	3 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	栄橋		路線名	豊岡本通	
所在地	自	芦別市豊岡町113番地 の6	距離標	自	km
	至			km	管轄

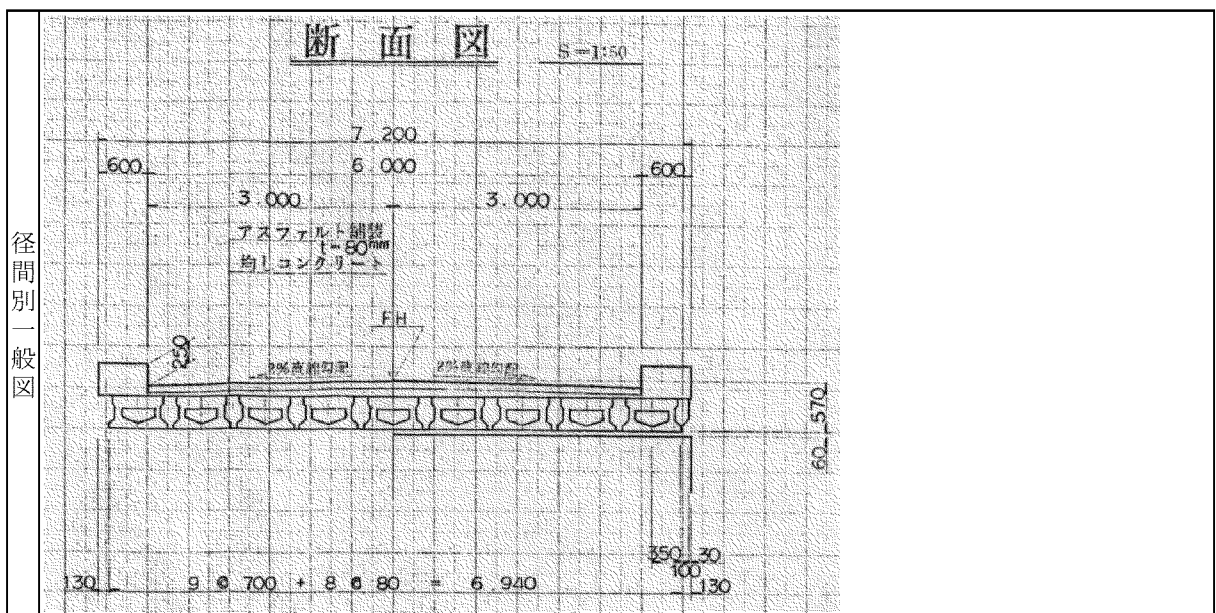
供用開始日	1977年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和48年	
橋長	10.41 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年		大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)	荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	7.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6.5 m	0.5 m	0 m	3.25 m	0.5 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼					

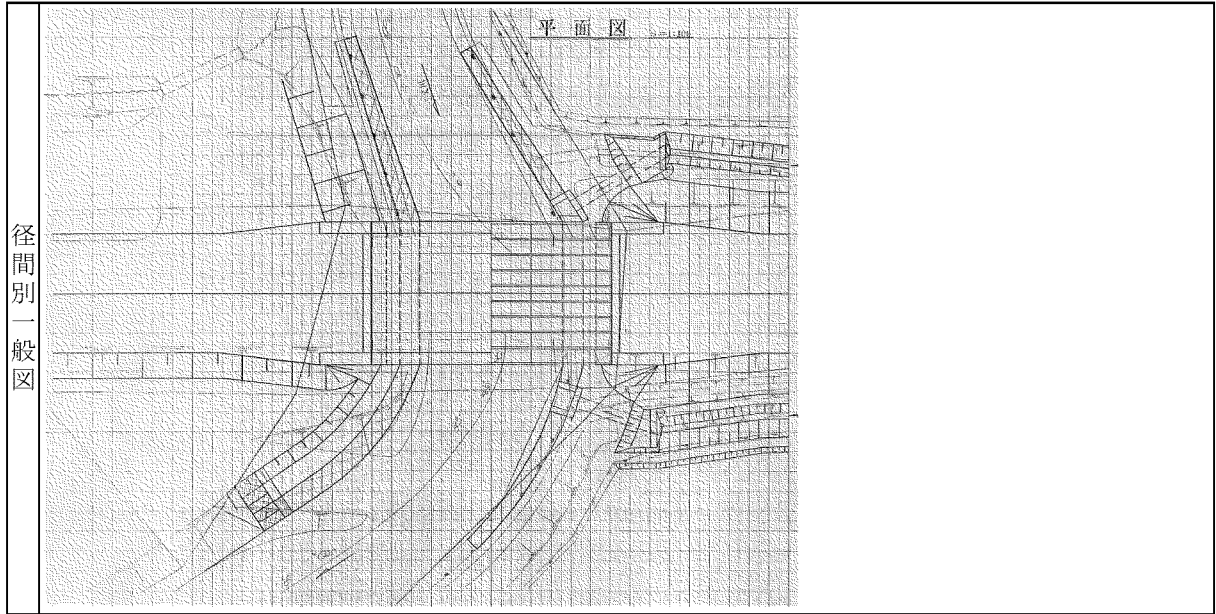




橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	上野橋		路線名	豊岡本通	
所在地	自	芦別市豊岡町1番地の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

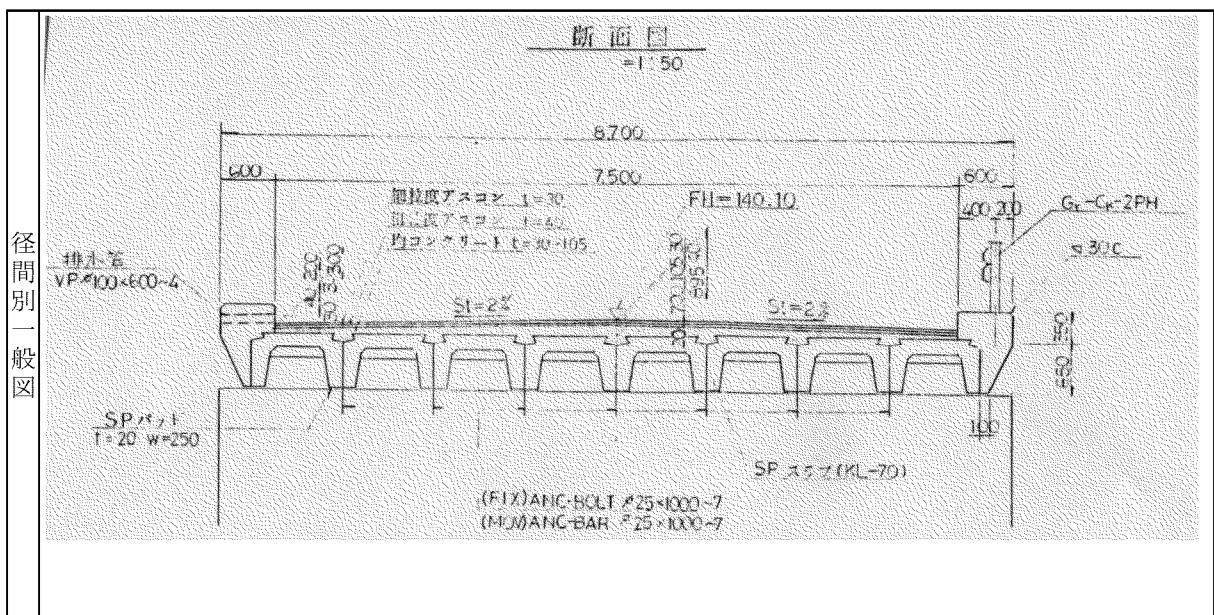
供用開始日	1990年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和55年		
橋長	12.14 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎		
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						





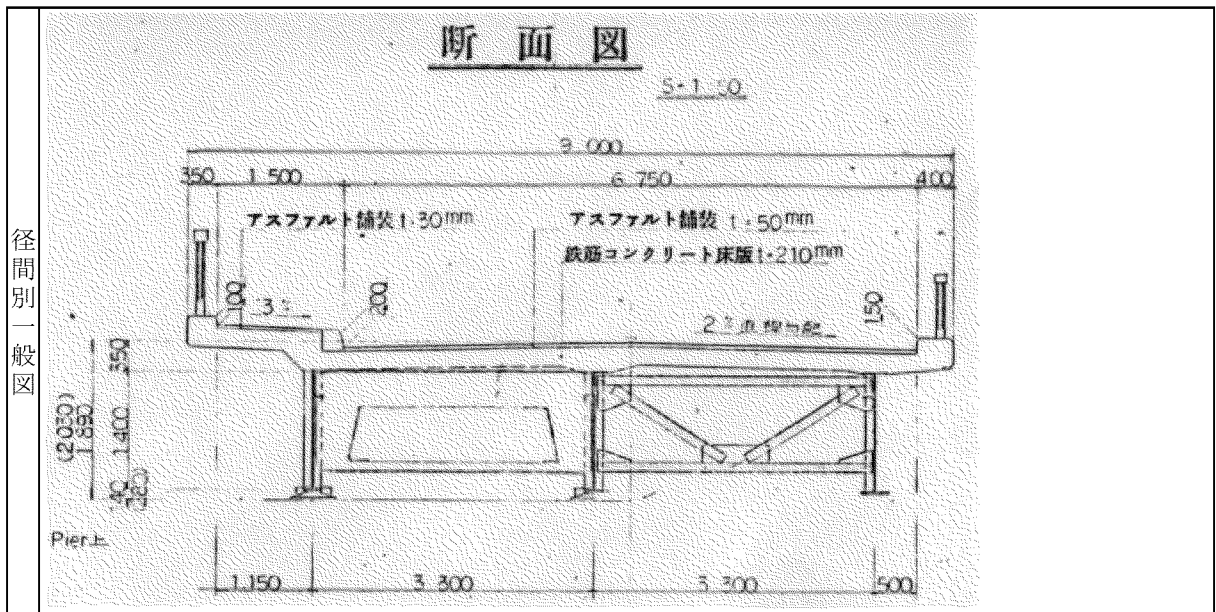
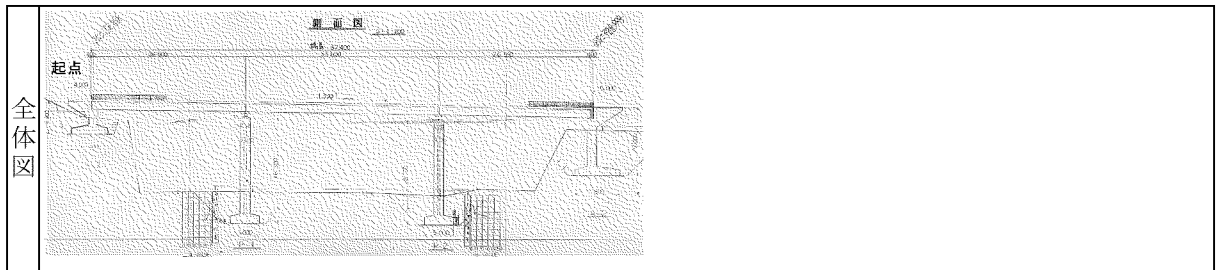
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	6線1号橋		路線名	新城6線	
所在地	自	芦別市新城町211番地の9	距離標	自	km
	至			km	管轄

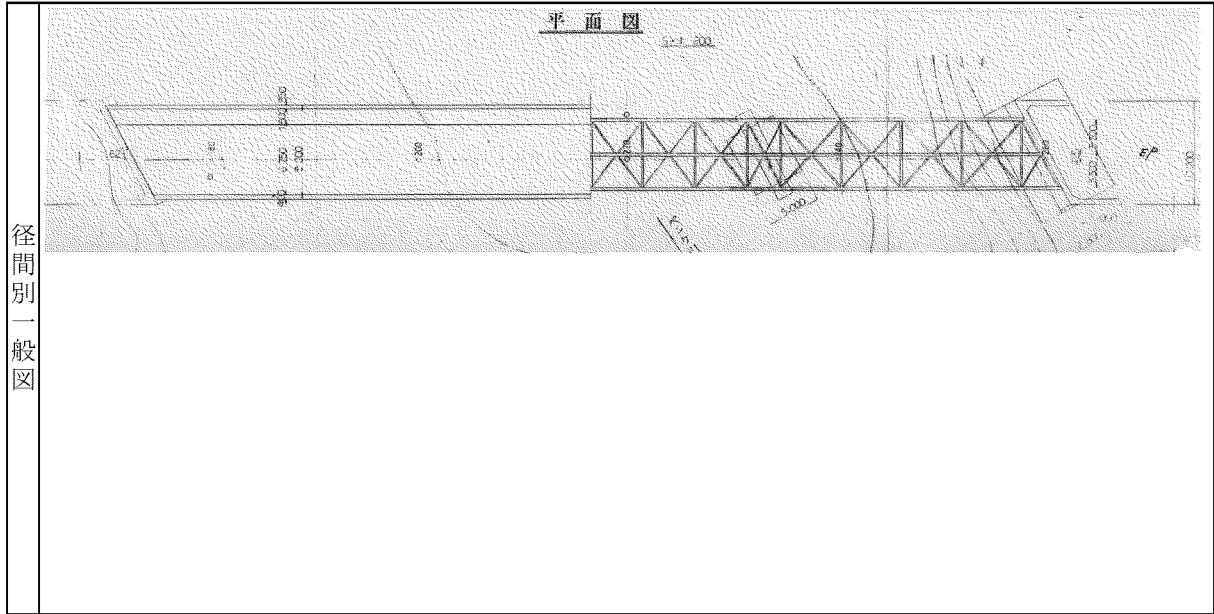
供用開始日	1985年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	14.54 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン床版		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m	
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	見返橋		路線名	旭公園線	
所在地	自	芦別市旭町639番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道	
				芦別市	
				芦別市役所	

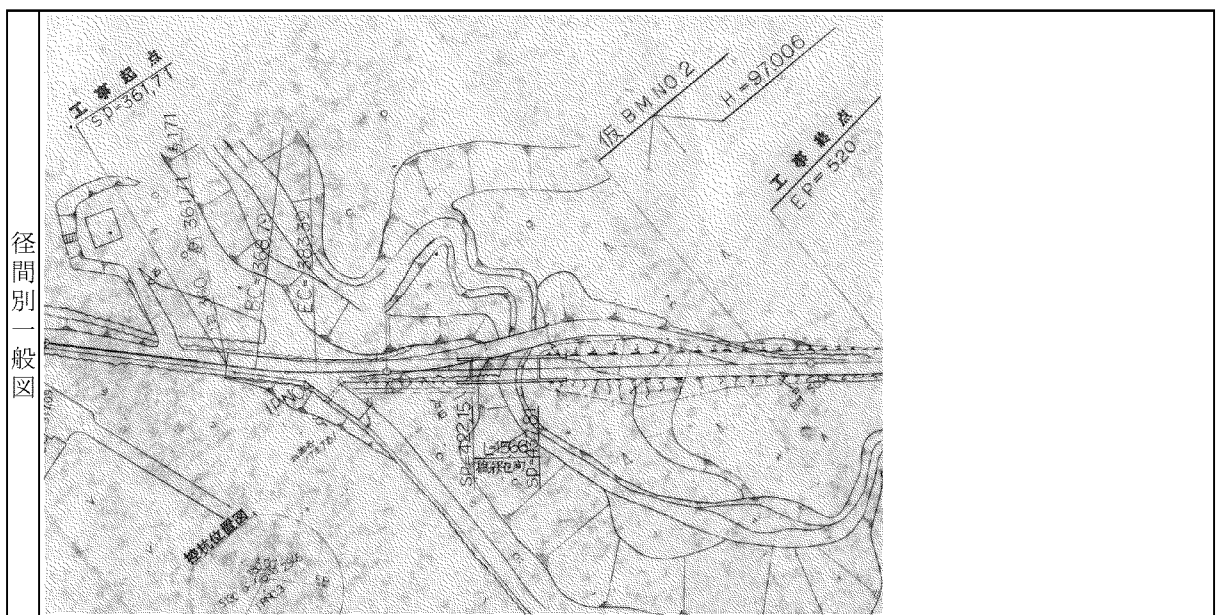
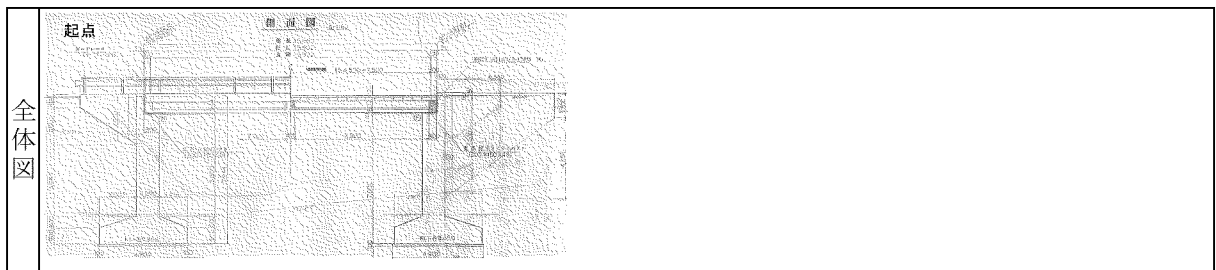
供用開始日	1972年10月	活荷重・等級	T20・L14(S31)		適用示方書	昭和42年	
橋長	87.4 m	総径間数	3 径間				
上部構造形式	鋼(鉄)リベット橋 I桁(非合成)		下部構造形式	逆T式橋台／壁式橋 脚(RC)		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	9 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	8.25 m	0.35 m	1.5 m	3.38 m	0 m	3.37 m 0 m 0.4 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート		の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						





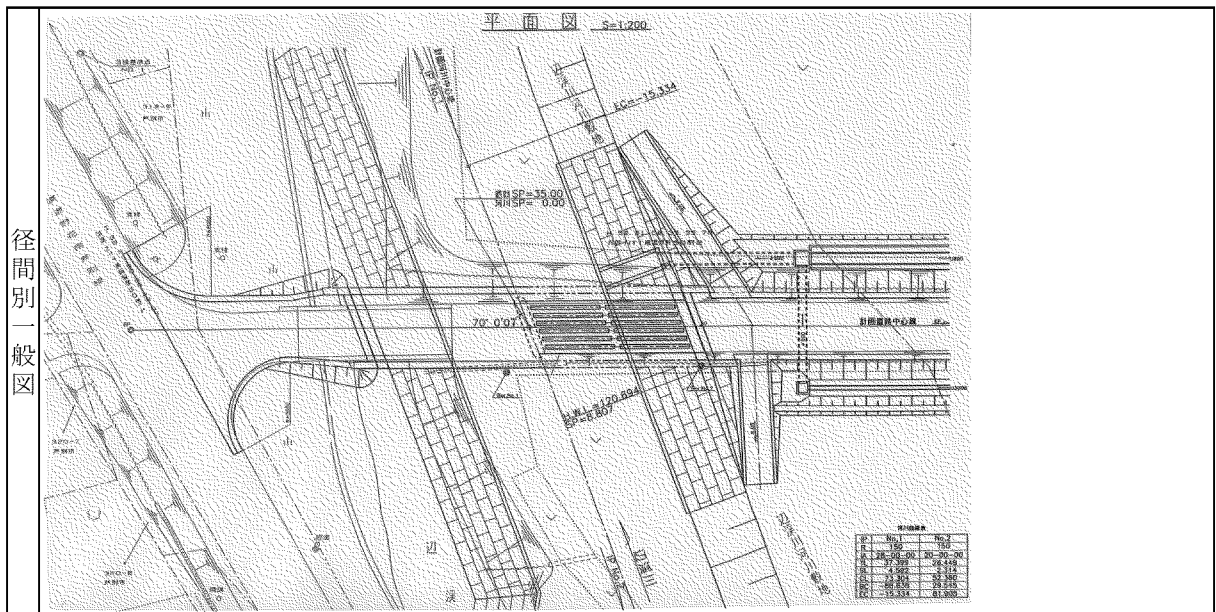
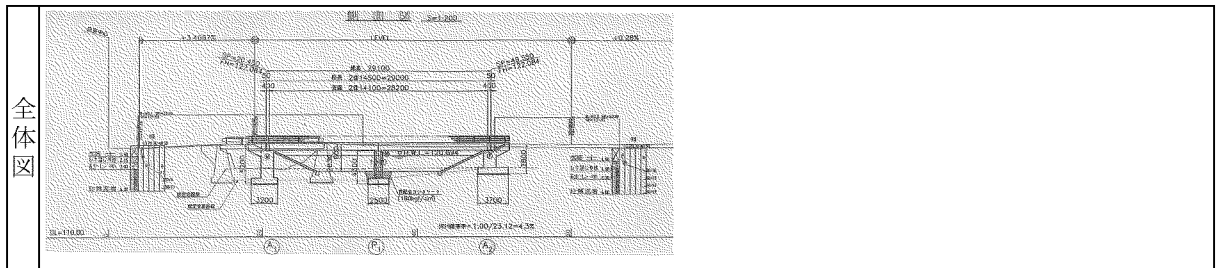
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	班溪橋		路線名	班溪山線	
所在地	自	旭町国有林94	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

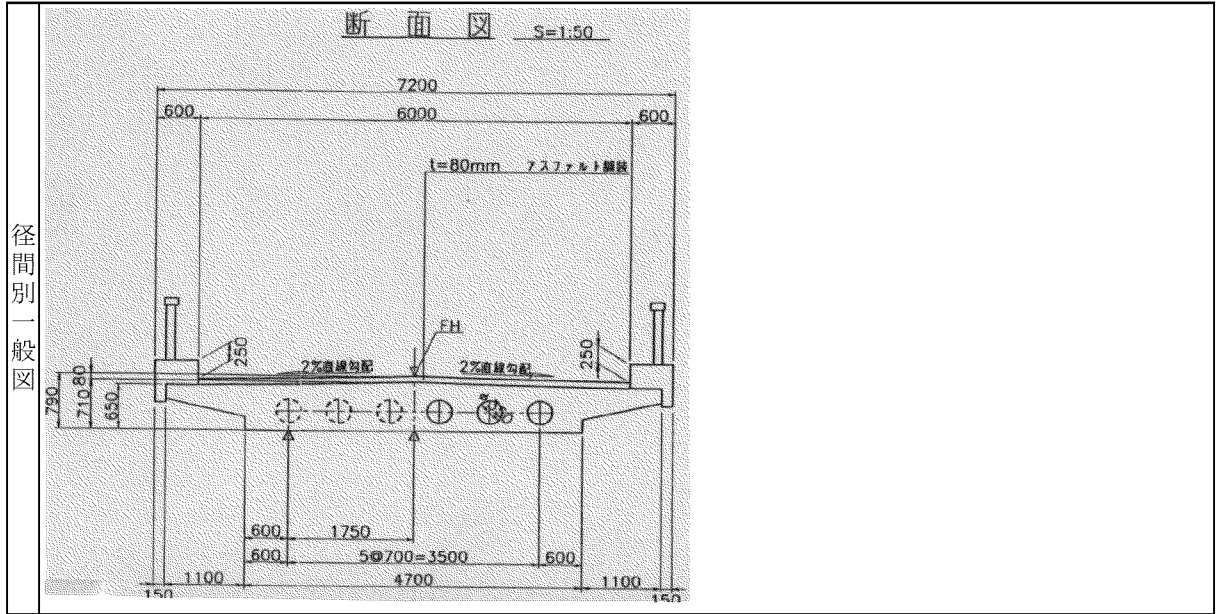
供用開始日	1978年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和48年	
橋長	15.66 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテンT桁		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	5 m	0.5 m	0 m	2.5 m	0 m	0.5 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	晩成橋		路線名	旭本通東線	
所在地	自	旭町312番地の2	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

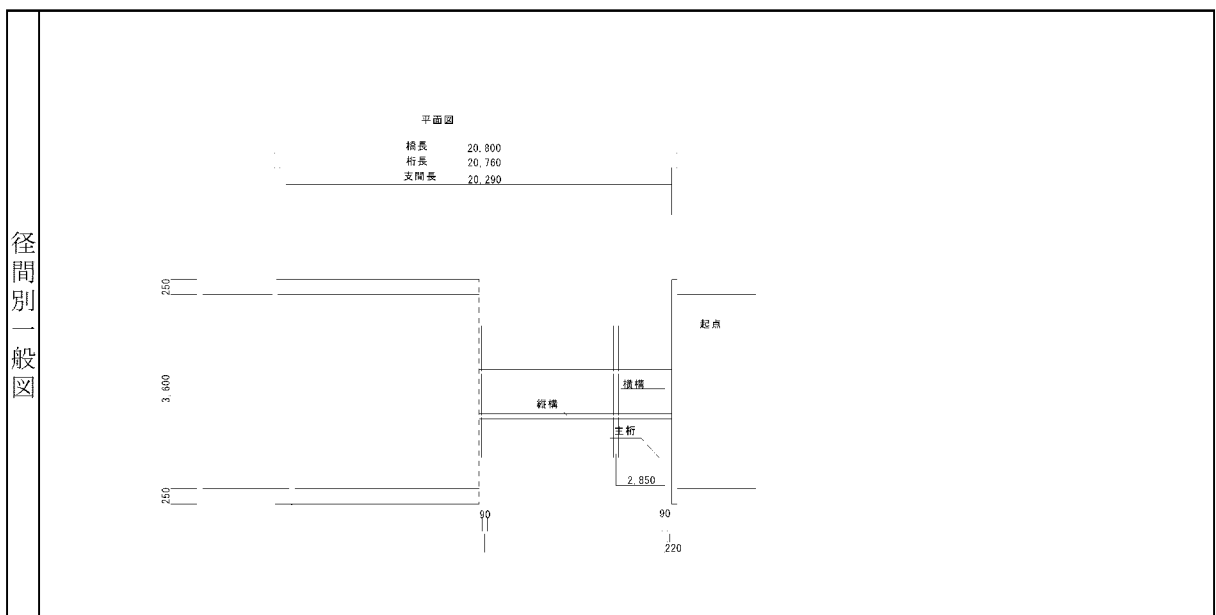
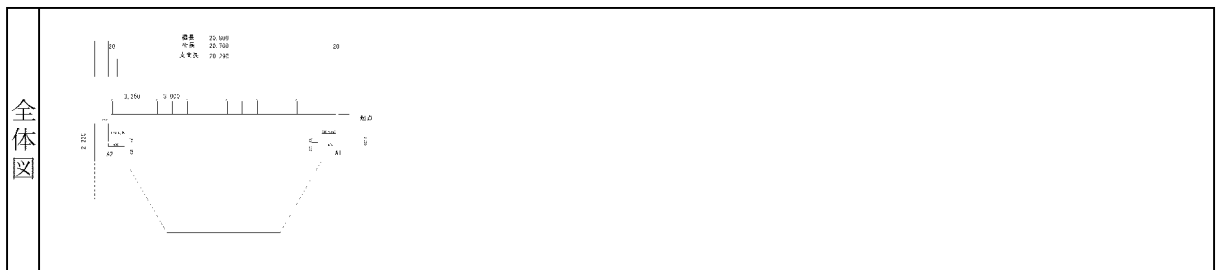
供用開始日	2000年	活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成08年			
橋長	29.1 m	総径間数	2 径間						
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台／壁式橋脚(RC)		基礎形式	直接基礎			
交通条件	調査年				大型車混入率				
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限				
幅員	左側		中央帯		右側				
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	中央帯	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m	3 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートの指定				
路下条件	河川・開水路・湖沼								





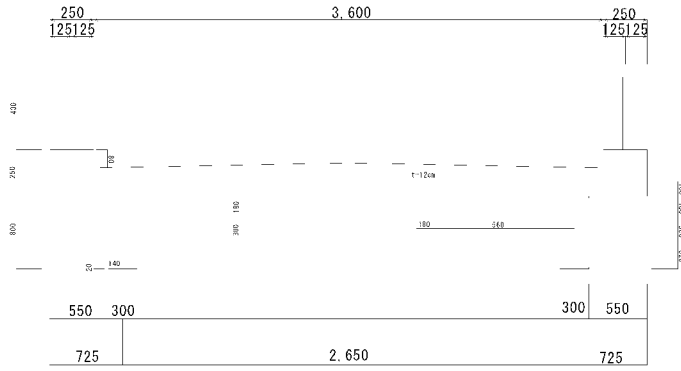
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	辺溪橋		路線名	旭本通東線	
所在地	自	芦別市旭町507番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1968年	活荷重・等級	TL-10		適用示方書	昭和42年
橋長	20.8 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式
交通条件	調査年				大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限	
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員	4.1 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					



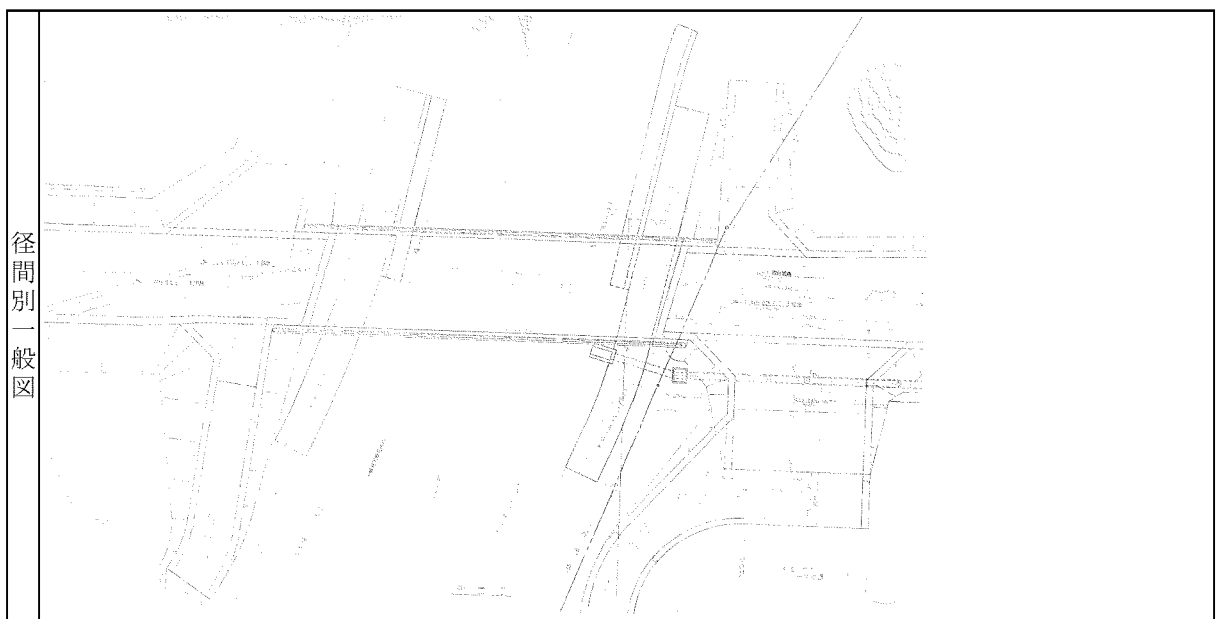
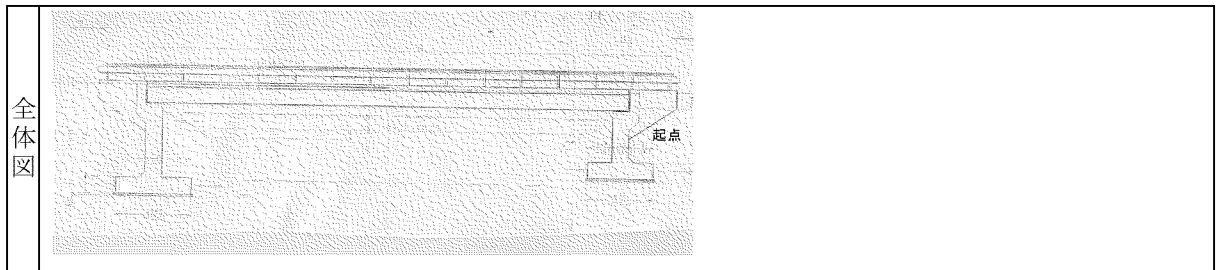
径間別一般図

断面図

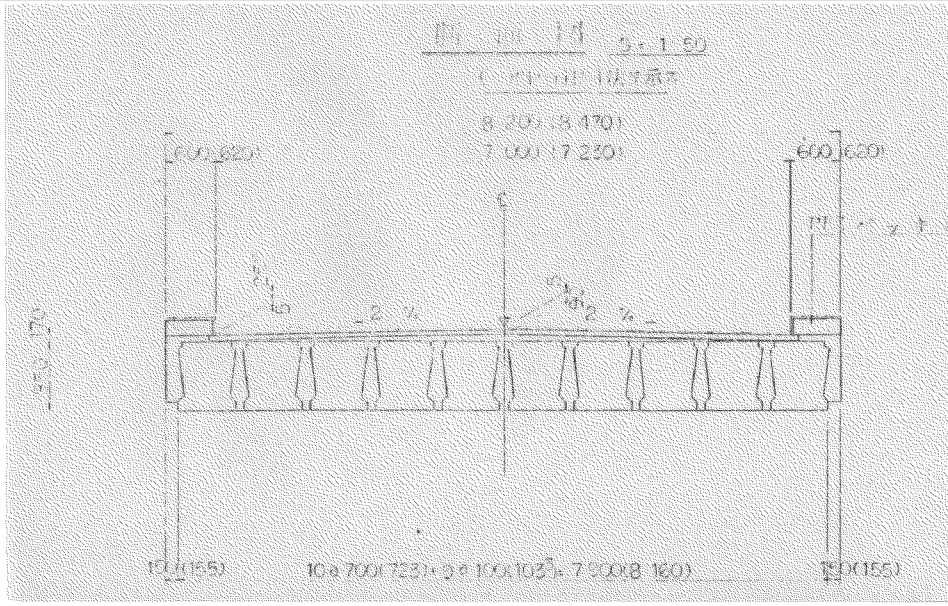


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	野花南1号橋		路線名	野花南中央線	
所在地	自	芦別市野花南町422番地の3	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1988年		活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	25.7 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m	3 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							

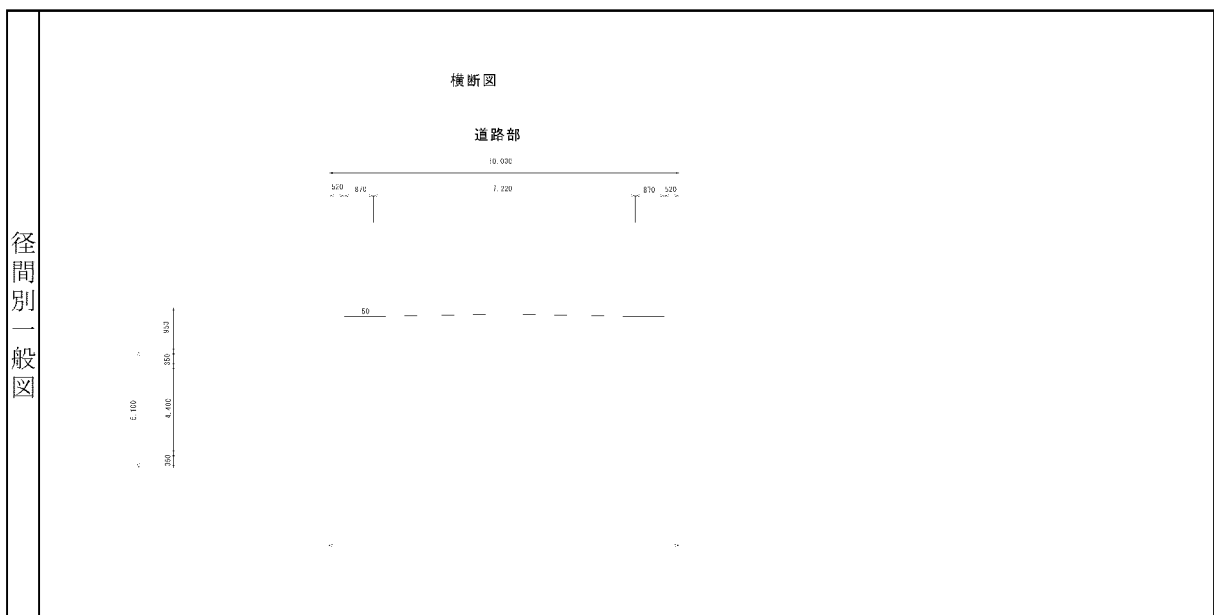
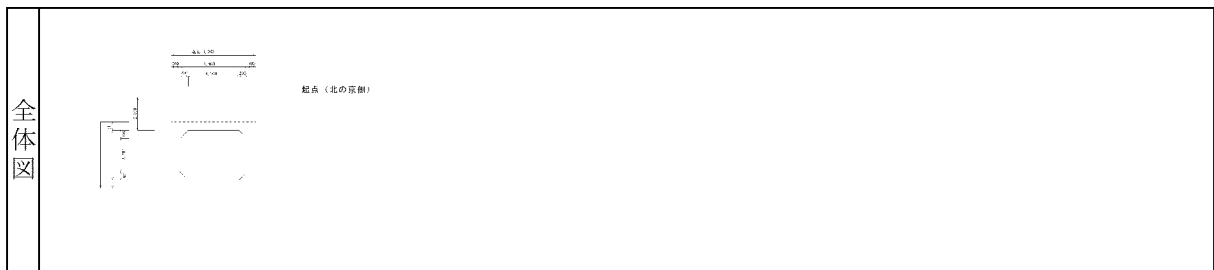


径間別一般図

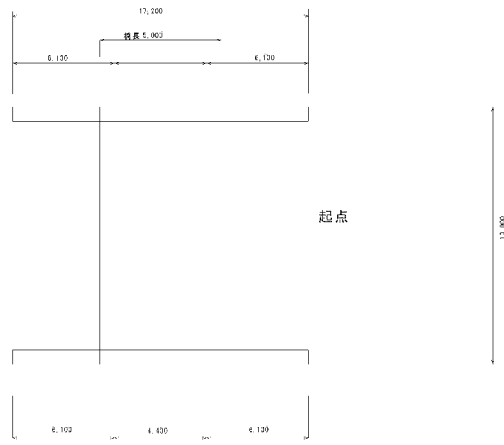


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	有倉橋		路線名	旭本通	
所在地	自	旭町124番地の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1981年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年
橋長	5 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式
交通条件	調査年				大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限	
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員	10 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	8.96 m	0.52 m	m	4.48 m	m 0.52 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	道路の上にある					



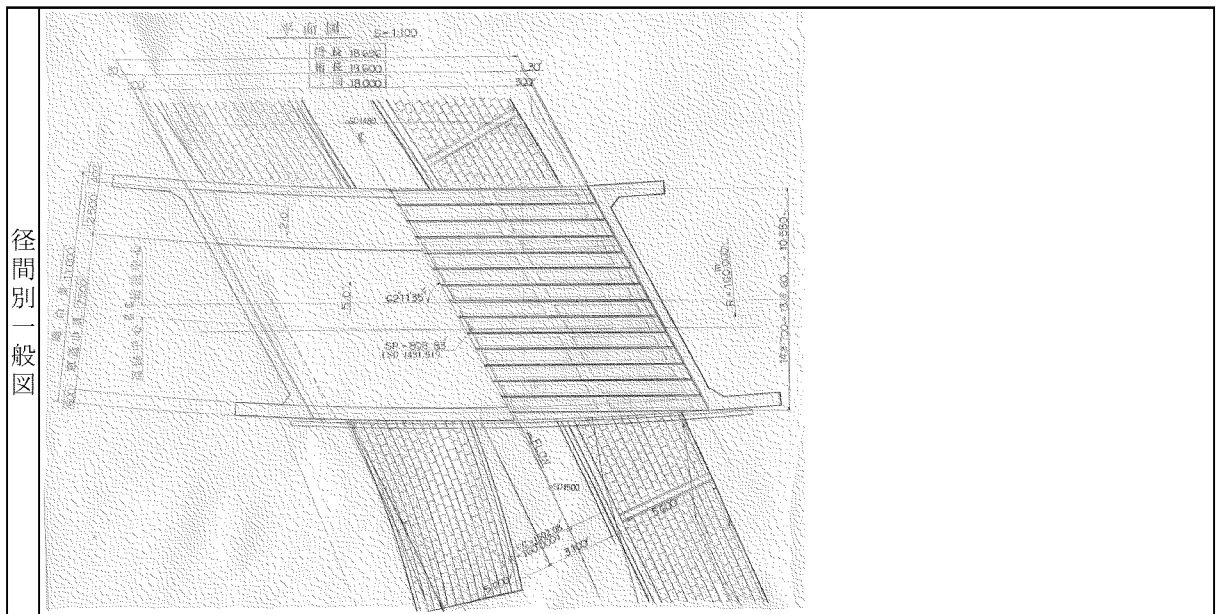
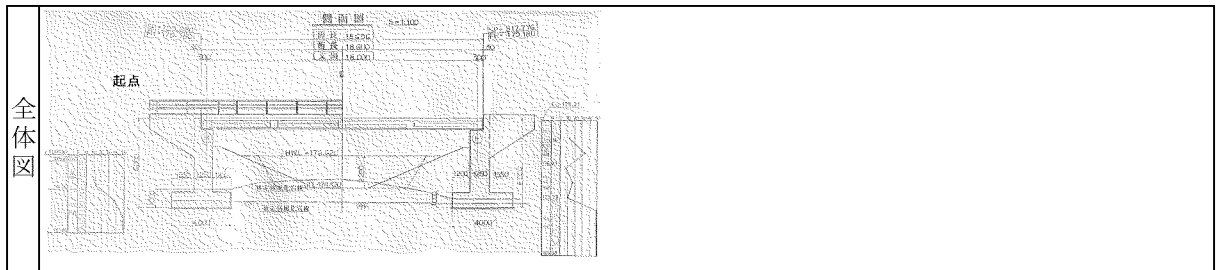
径間別一般図

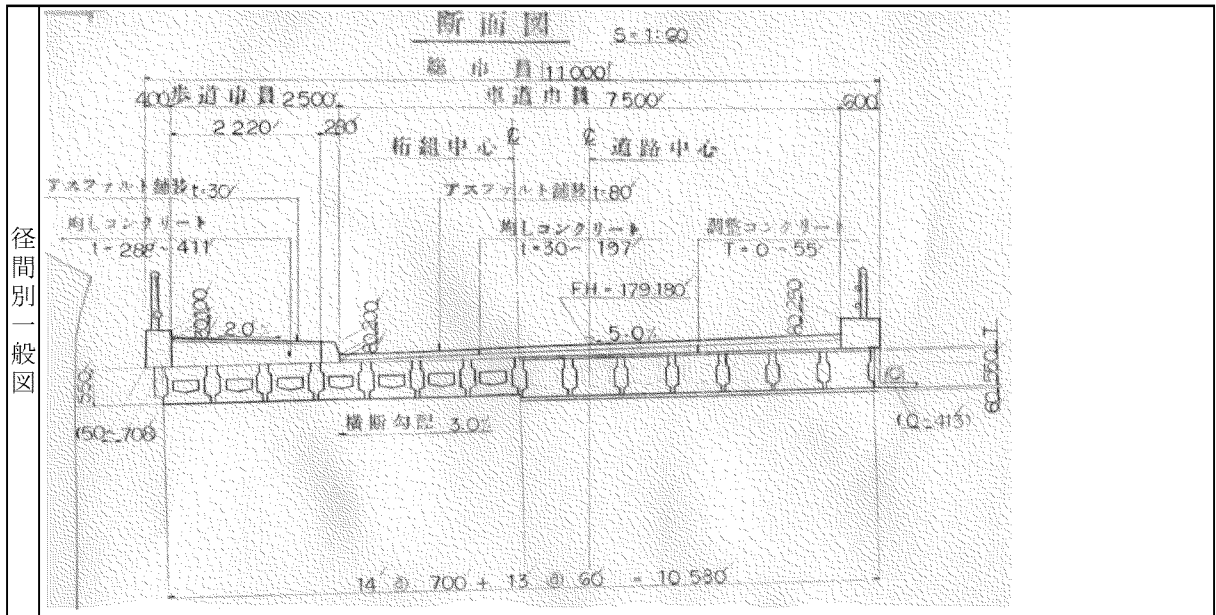


橋梁諸元と総合検査結果

橋梁名	苗畑橋		路線名	油谷本通		管轄	北海道
所在地	自	芦別事業区114林班	距離標	自	km		芦別市
	至			至	km		

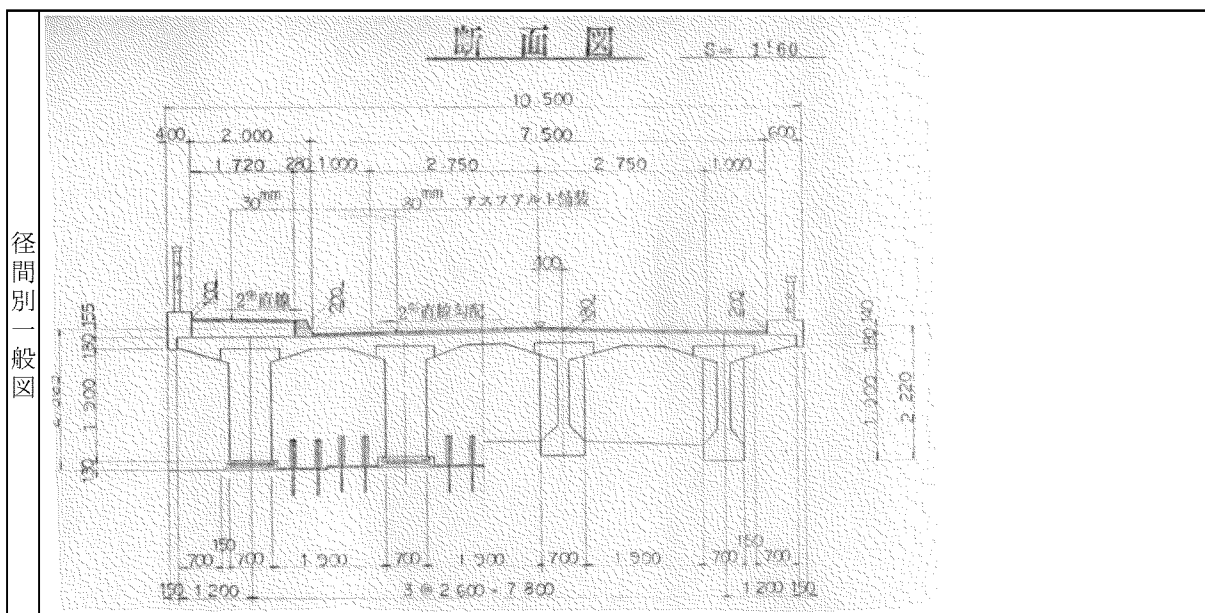
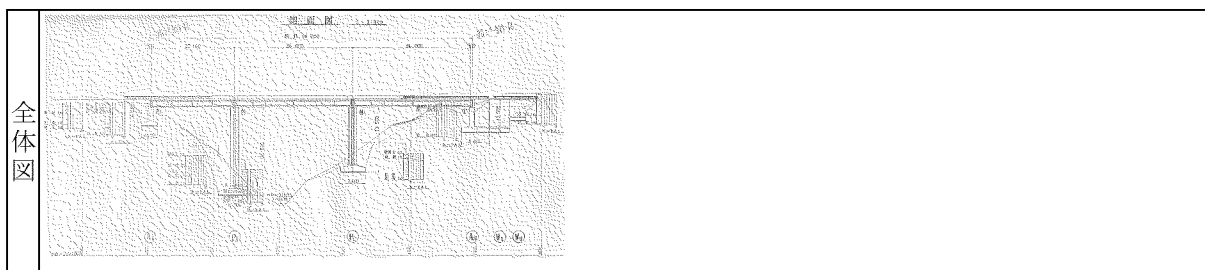
供用開始日	1982年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和55年				
橋長	18.7 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎				
交通条件	調査年		大型車混入率						
	交通量	(昼間12時間)	荷重制限						
幅員	左側			中央帯	右側				
	全幅員	11 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	中央帯	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	10 m	0.4 m	2.5 m	3.75 m	0 m	3.75 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定				
路下条件	河川・開水路・湖沼								



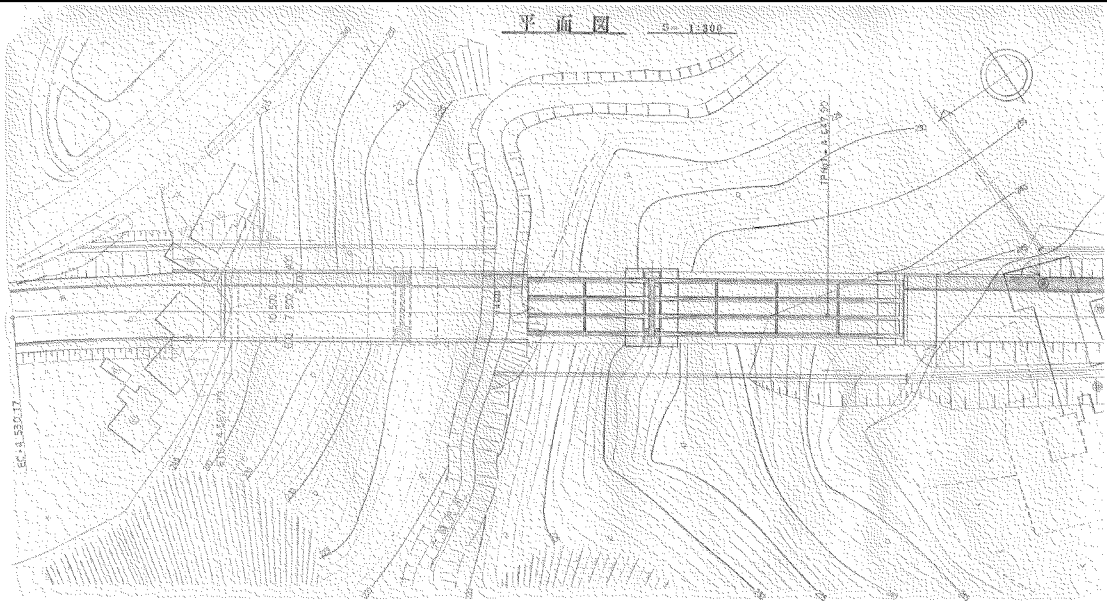


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	緑泉橋		路線名	東頼城本通	
所在地	自	六線川河川敷	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1986年		活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	98 m		総径間数	3 径間				
上部構造形式	PC橋 ポステンT桁		下部構造形式	逆T式橋台／壁式橋脚(RC)		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯			右側		
	全幅員	10.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線		地覆幅
	有効幅員	9.5 m	0.4 m	2 m	3.75 m	0 m	3.75 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							

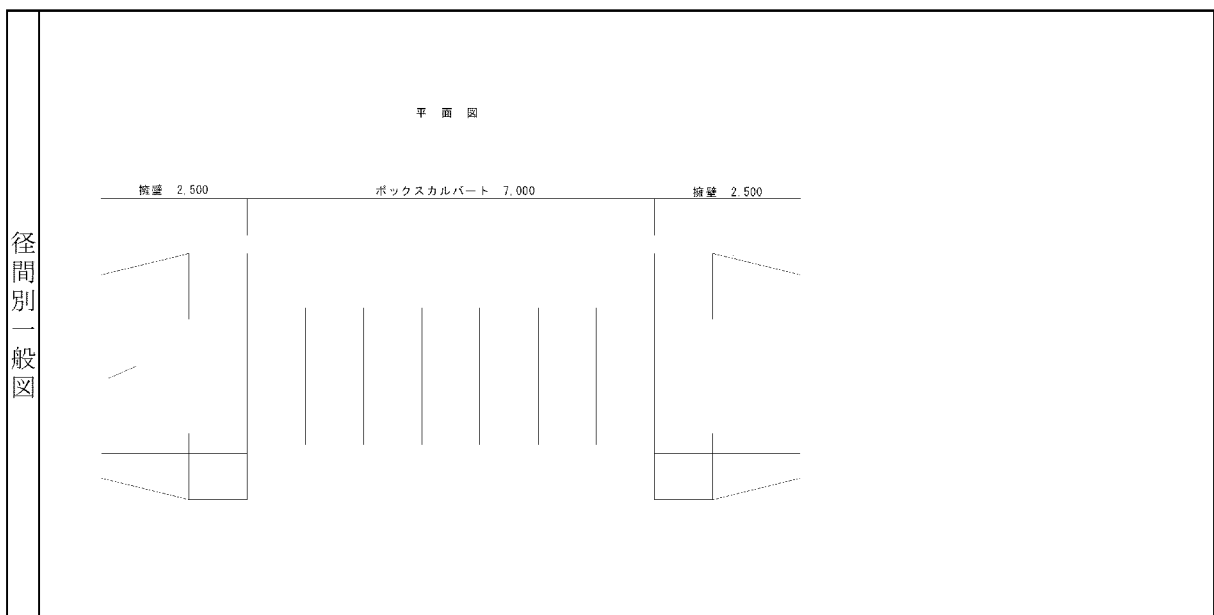


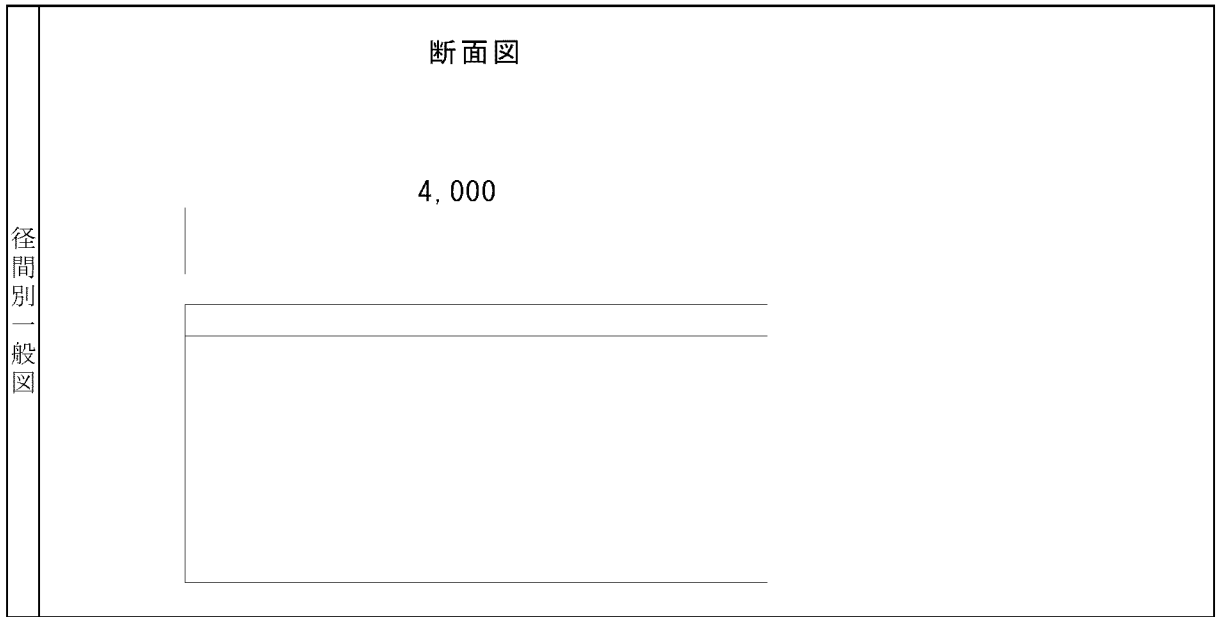
径間別一般図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	増田の沢橋		路線名	本町9号増田沢線	
所在地	自	芦別市本町1445番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

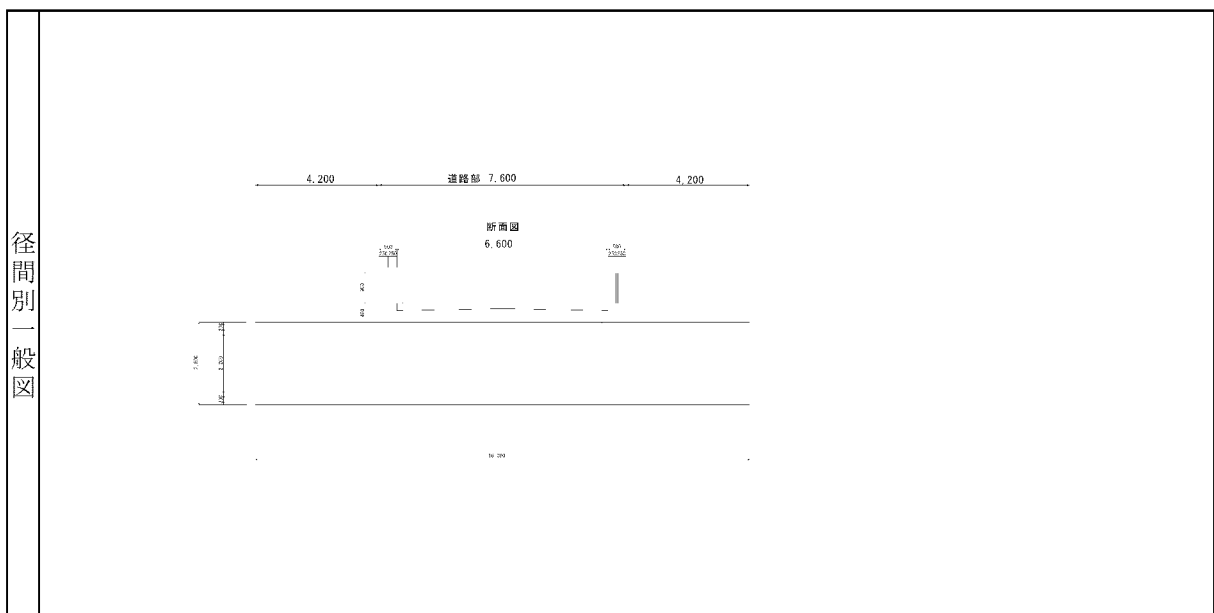
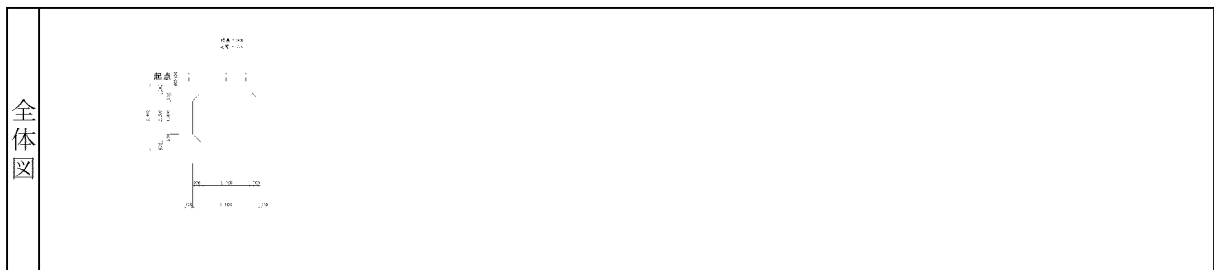
供用開始日	1975年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和48年		
橋長	2.4 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			右側		
	全幅員	4 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	中央帯	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							



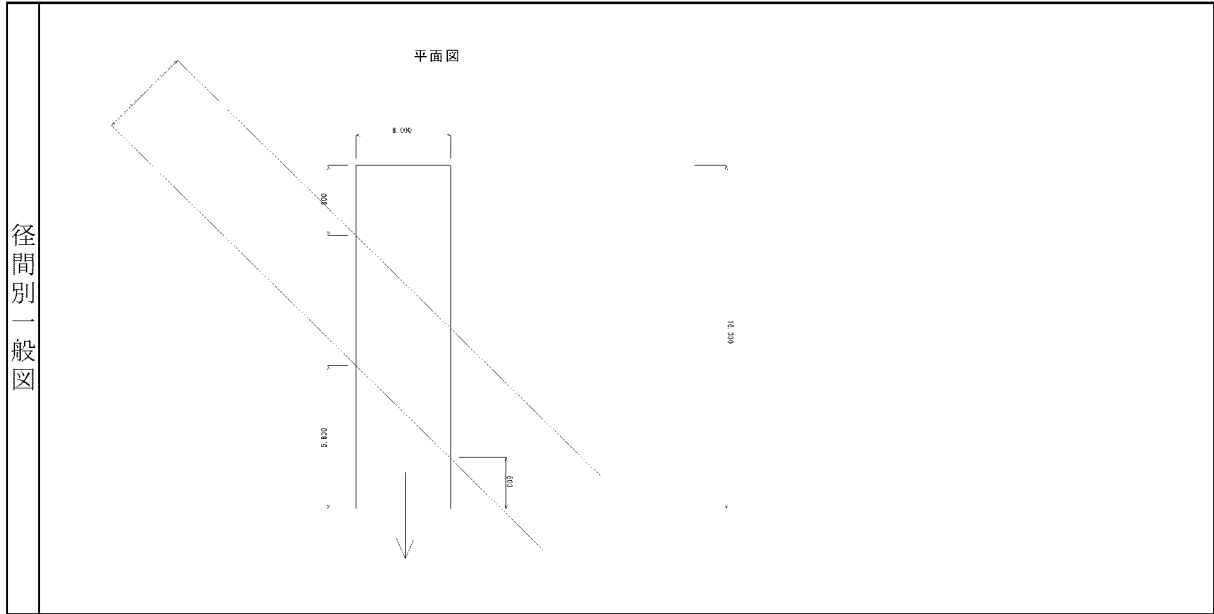


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	平和橋		路線名	上芦別40線	
所在地	自	上芦別町7番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1986年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	昭和55年
橋長	8 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	7.6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	6.6 m	0.5 m	m	3.3 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

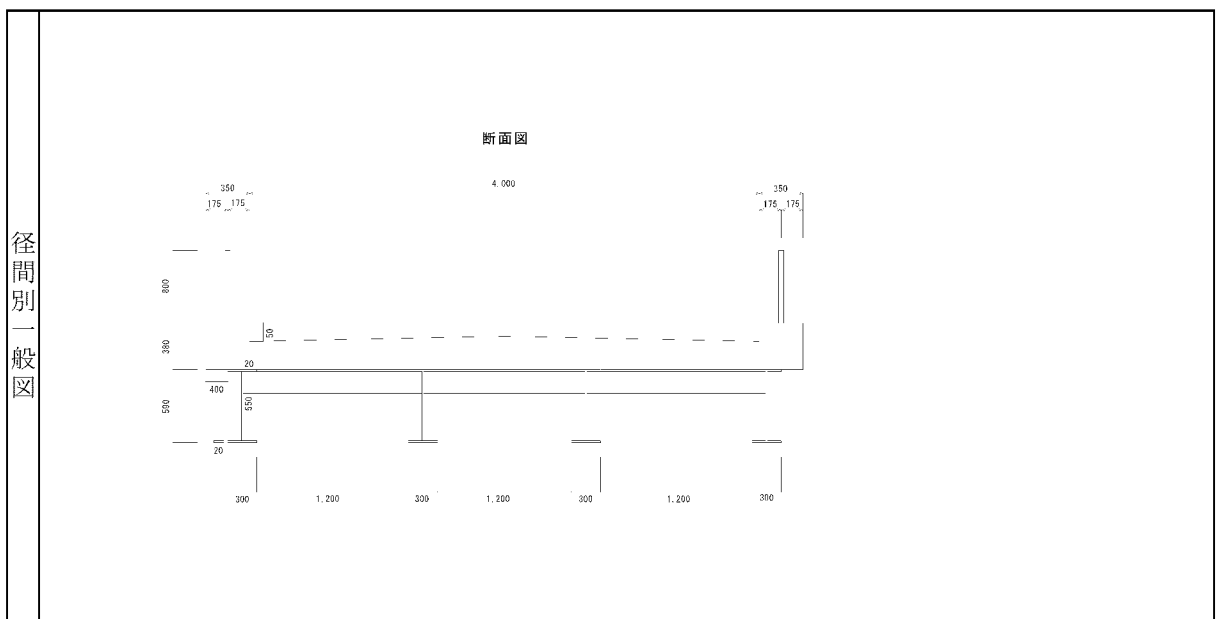


径間別一般図

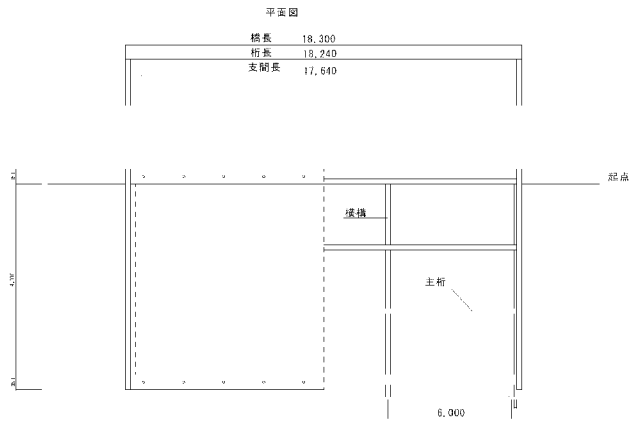


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	三角橋		路線名	常磐三角線	
所在地	自	芦別市常磐町30番地 の3	距離標		管轄
	至				
				km	北海道
				km	芦別市

供用開始日	1964年		活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和31年	
橋長	18.3 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	4.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0.35 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							

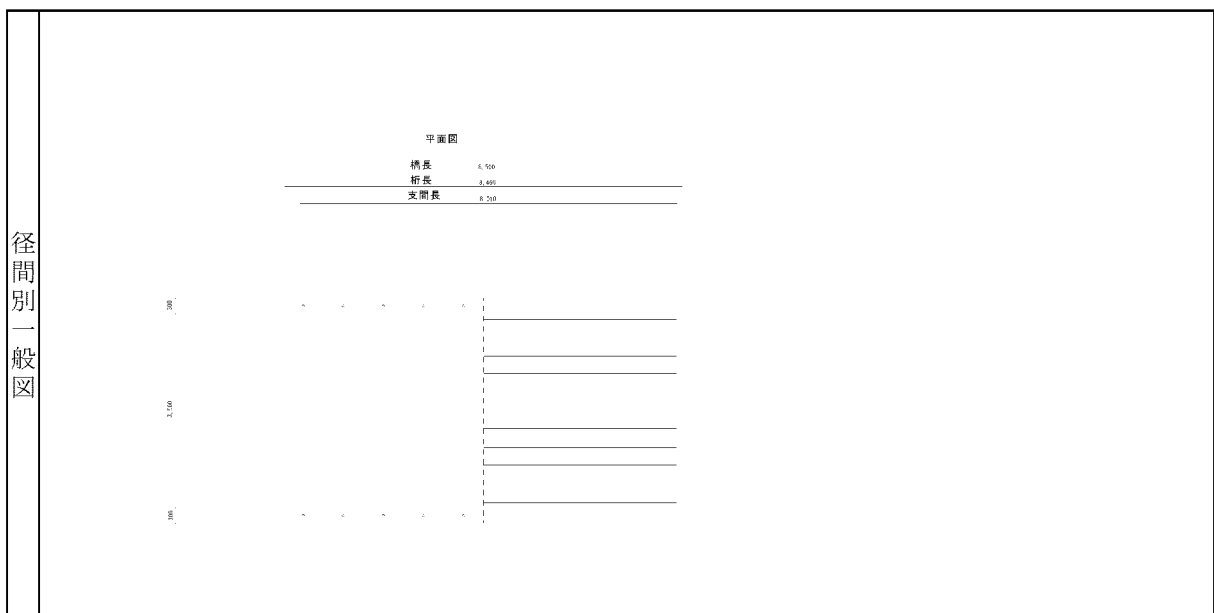
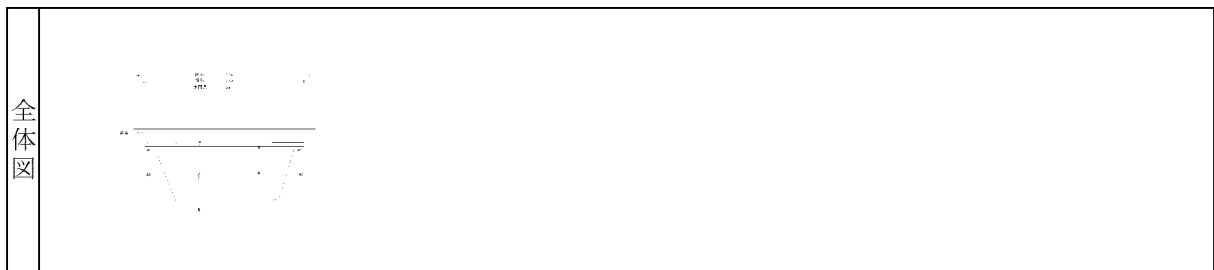


径間別一般図

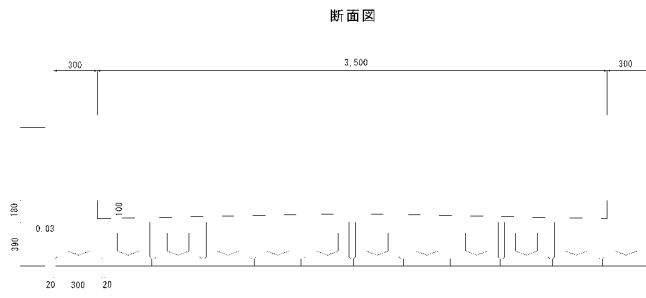


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	三角2号橋		路線名	常磐三角線	
所在地	自	常磐町696番地の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1961年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	昭和31年
橋長	8.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	4.1 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	3.5 m	0.3 m	m	1.75 m
			m	m	0.3 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

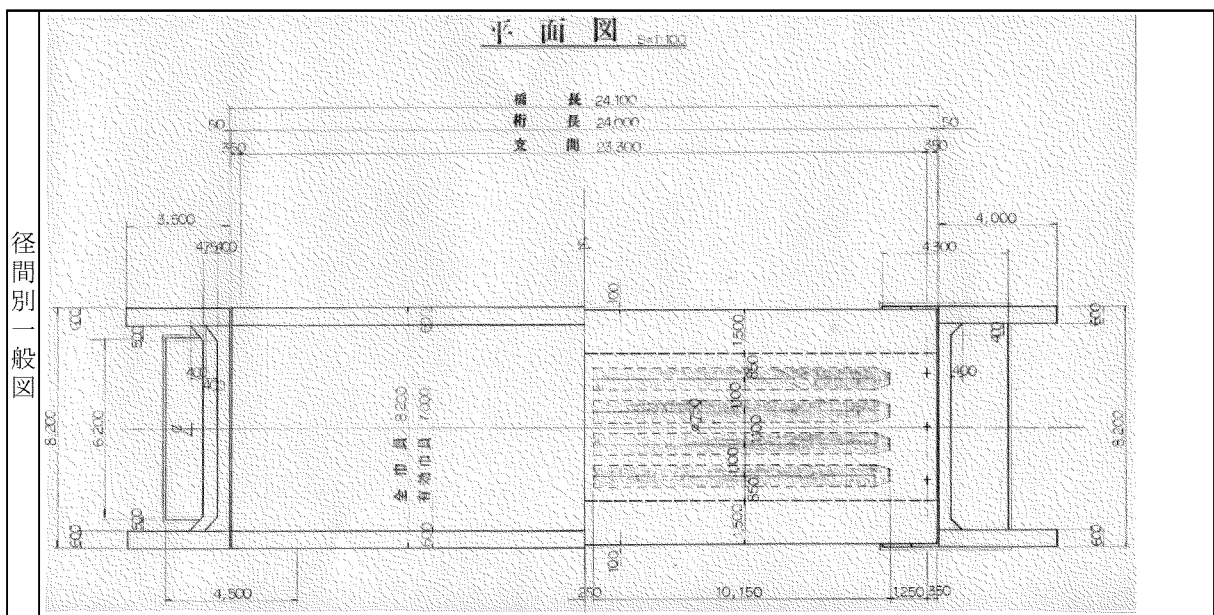
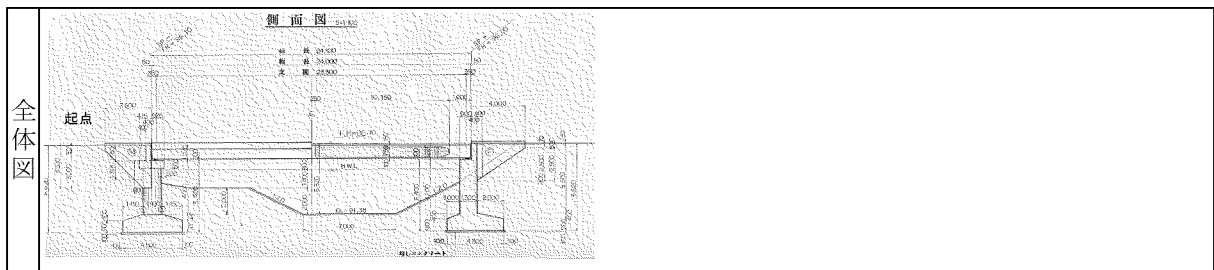


径間別一般図



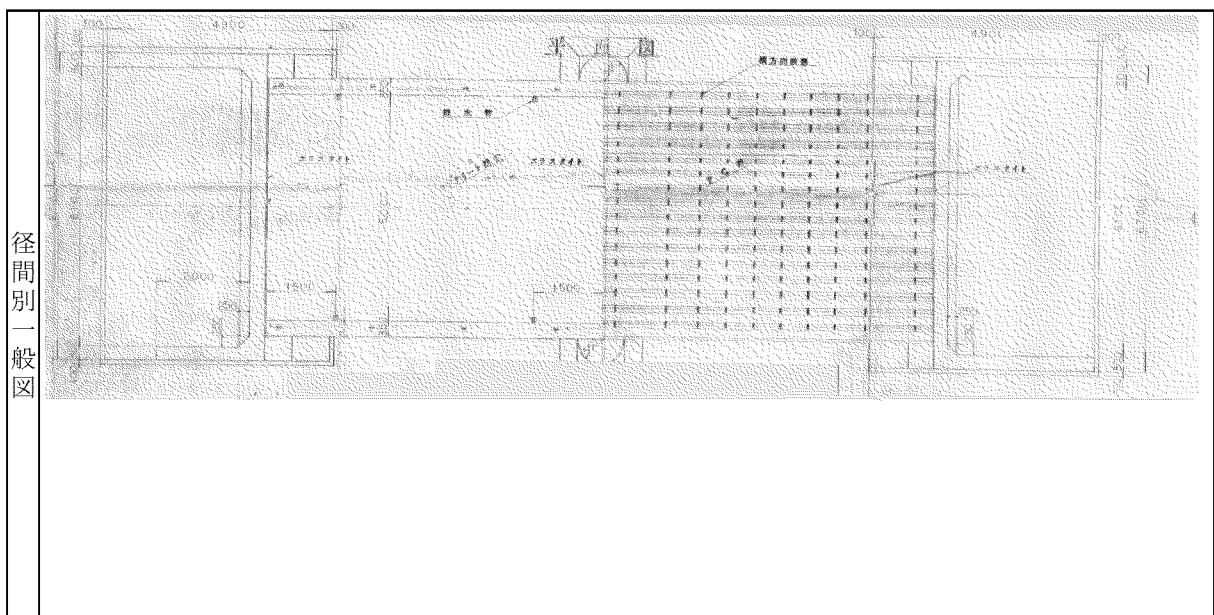
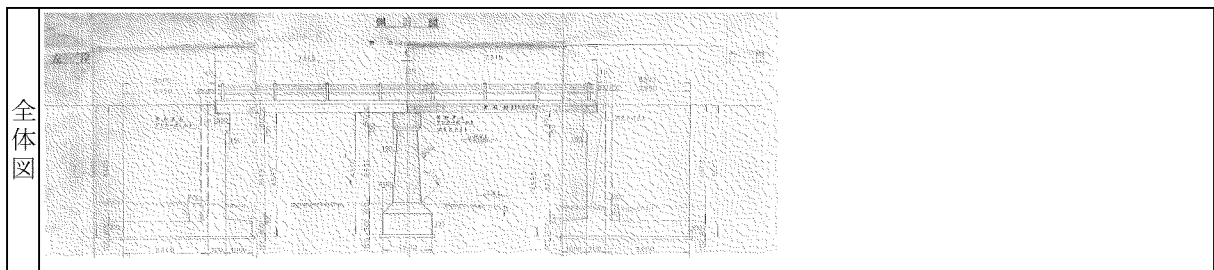
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	二股橋		路線名	常磐新城線	
所在地	自	芦別市黄金町399番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1981年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和53年	
橋長	24.1 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	8.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					

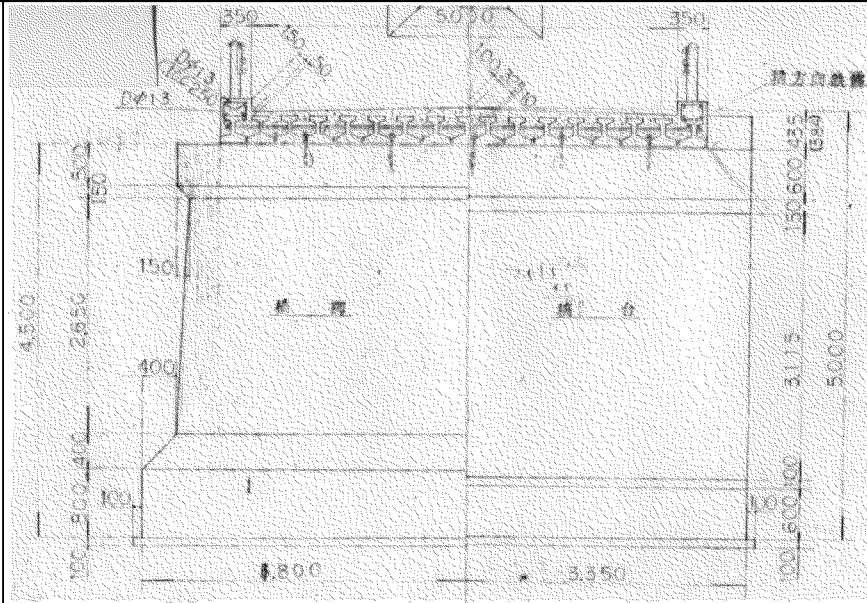


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	二又4号橋		路線名	黄金本通東線	
所在地	自	芦別市黄金町543番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1971年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和42年	
橋長	14.63 m	総径間数	2 径間				
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他		下部構造形式	逆T式橋台／柱橋脚1 柱小判(RC)		基礎形式	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	5.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	5 m	0.35 m	0 m	2.5 m	0 m	2.5 m 0 m 0.35 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

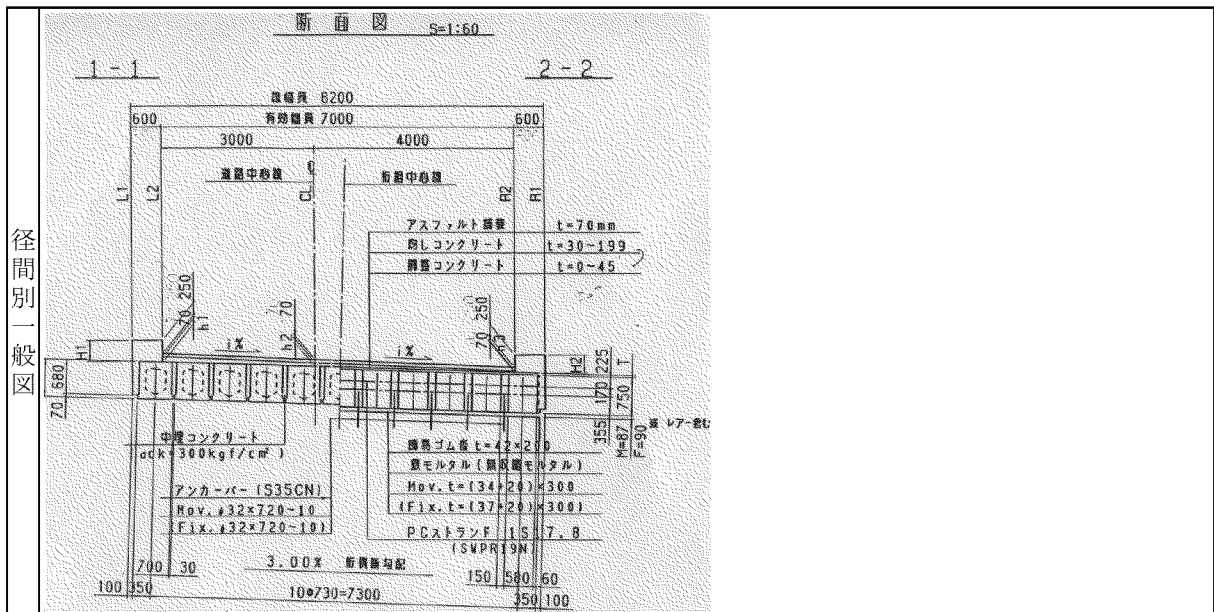
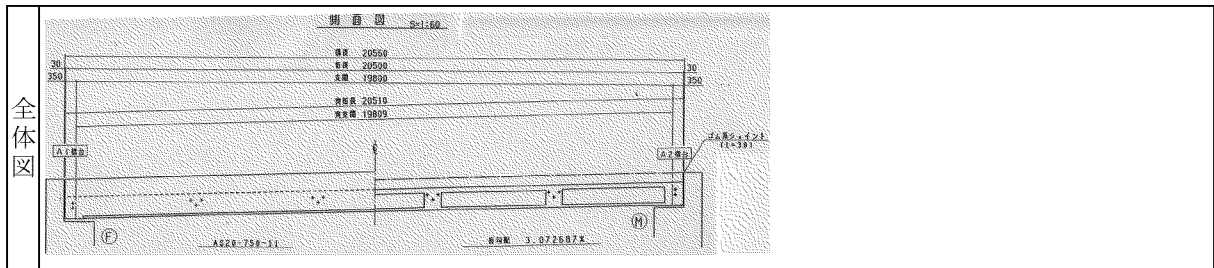


径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

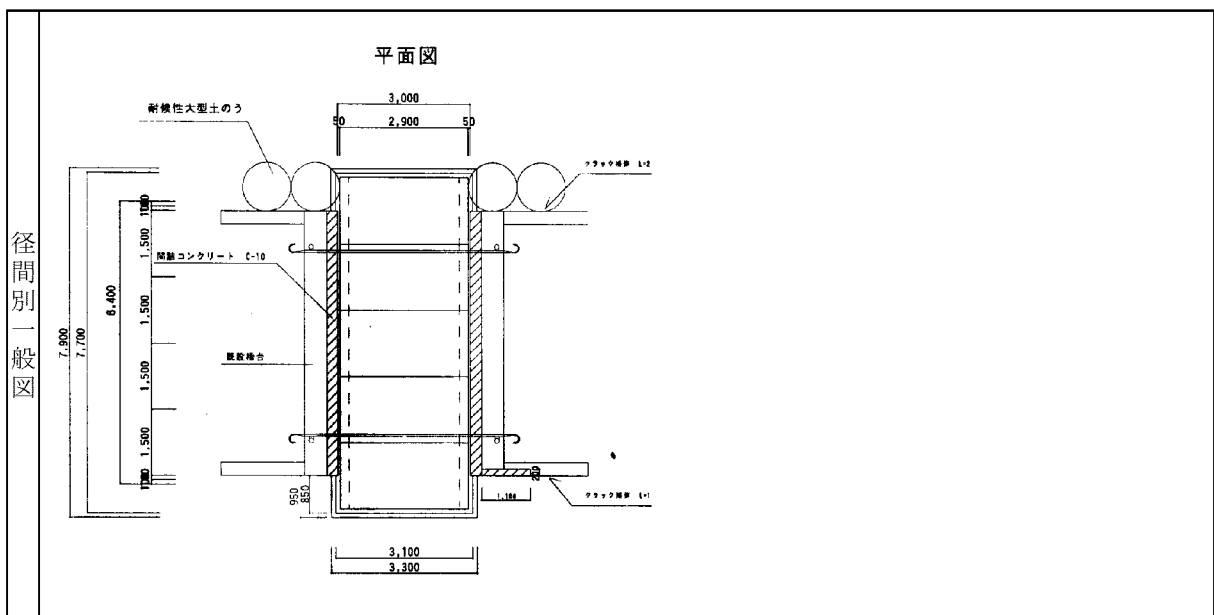
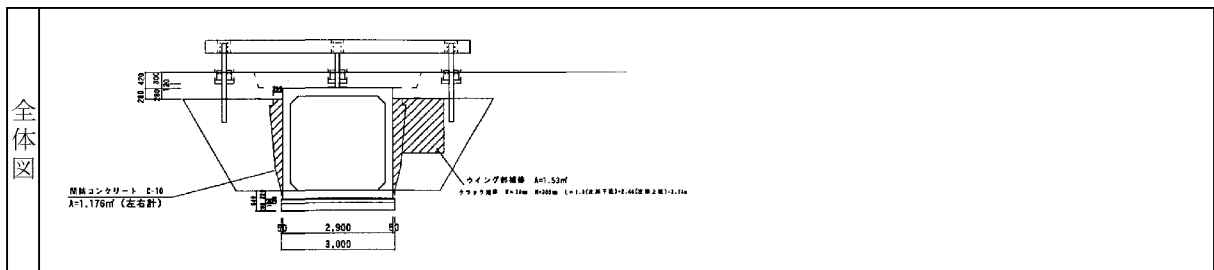
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	ゆたか橋		路線名	新城北線	
所在地	自	芦別市新城町1192番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

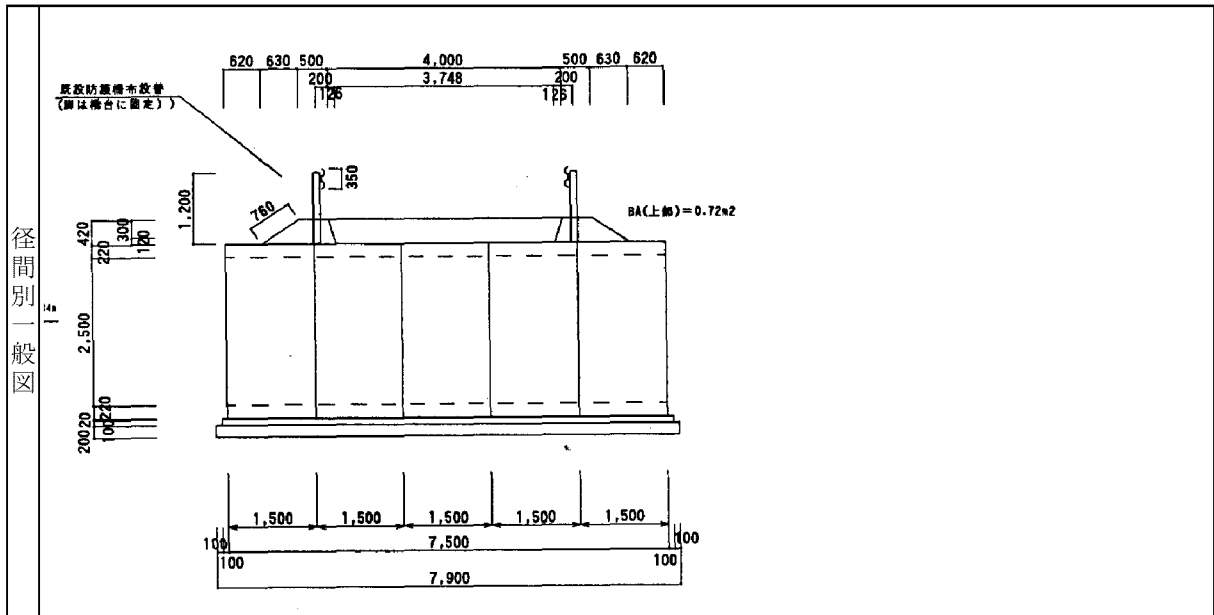
供用開始日	2000年	活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成08年	
橋長	20.56 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	8.2 m	地覆幅		歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						



橋梁諸元と総合検査結果						
橋梁名	新城2線橋		路線名	新城2線		北海道
所在地	自	芦別市黄金町54番地	距離標	自	km	管轄
	至			至	km	芦別市

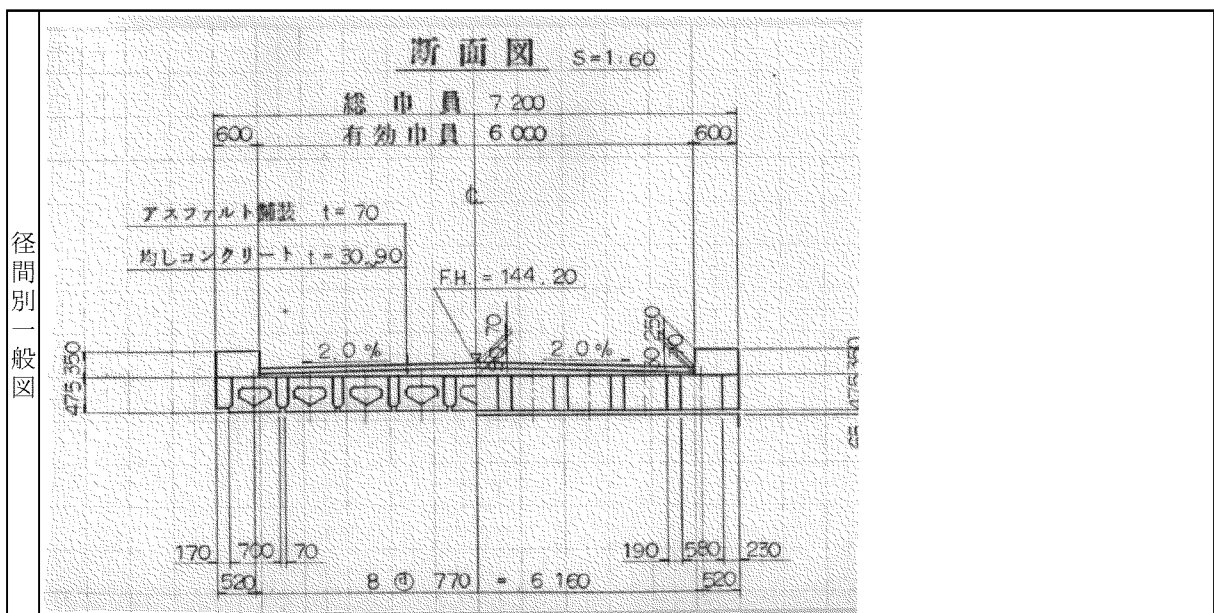
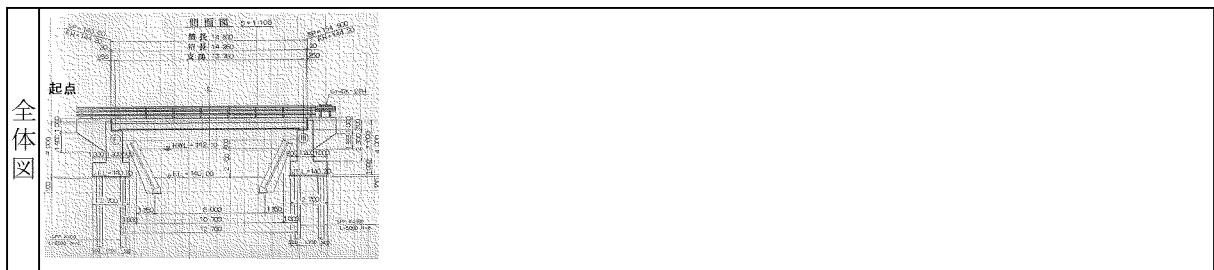
供用開始日	2012年		活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成14年	
橋長	3 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側				中央帯	右側		
	全幅員	5 m	地覆幅	歩道幅		車道幅・車線	車道幅・車線	
	有効幅員	4 m	0.5 m	m	2 m	m	2 m	m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							





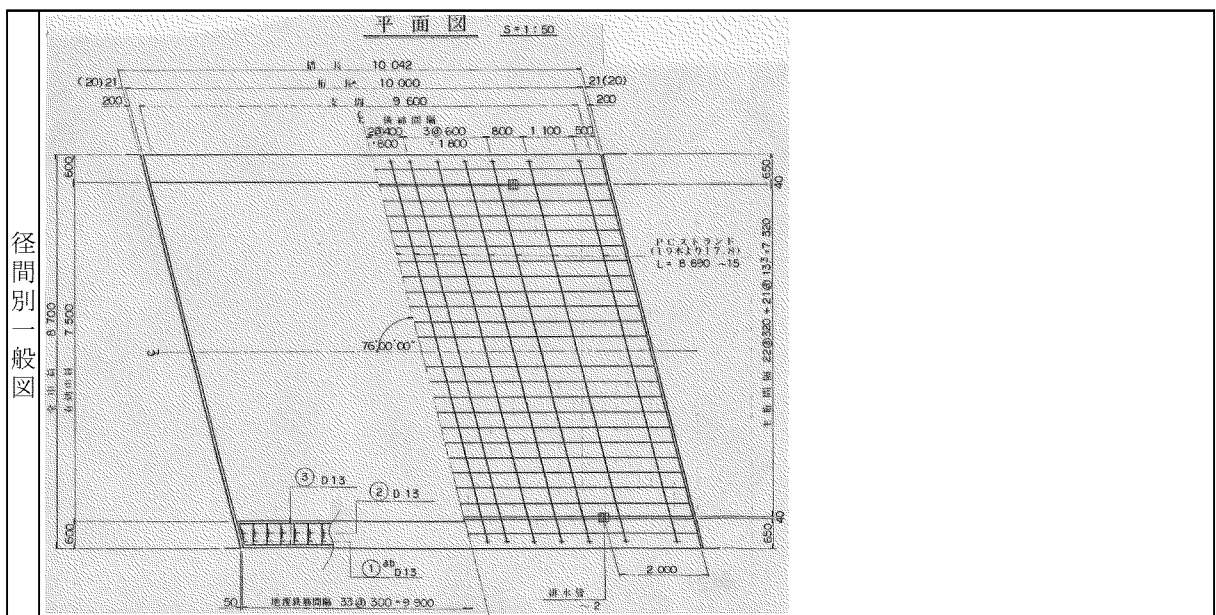
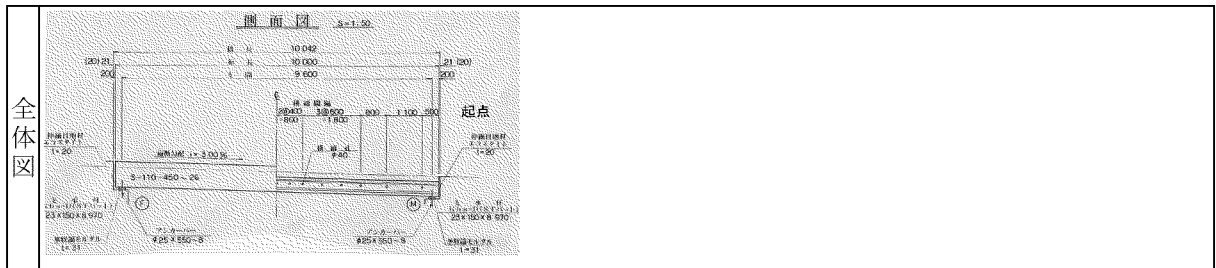
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	新城7線橋		路線名	新城7線	
所在地	自	新城町384番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1996年	活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成07年	
橋長	14.3 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式 杭基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m	3 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						



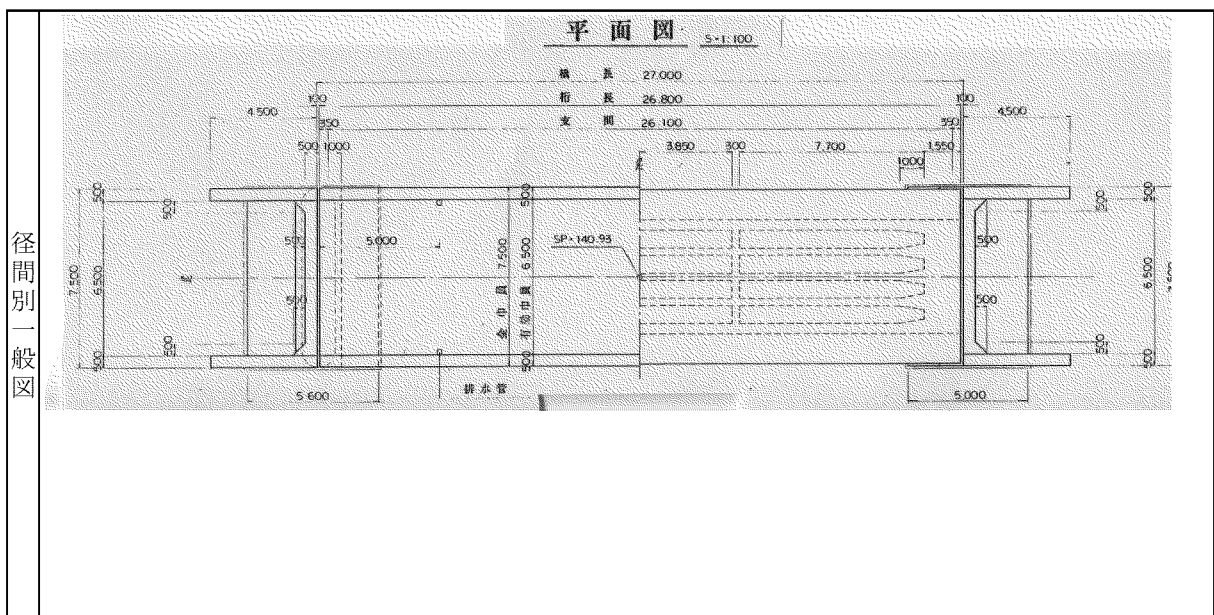
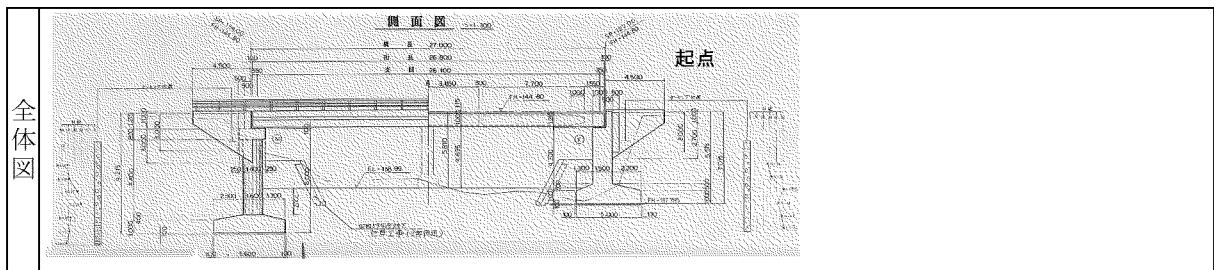
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	山本橋		路線名	新城東1番線	
所在地	自	芦別市新城町269番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

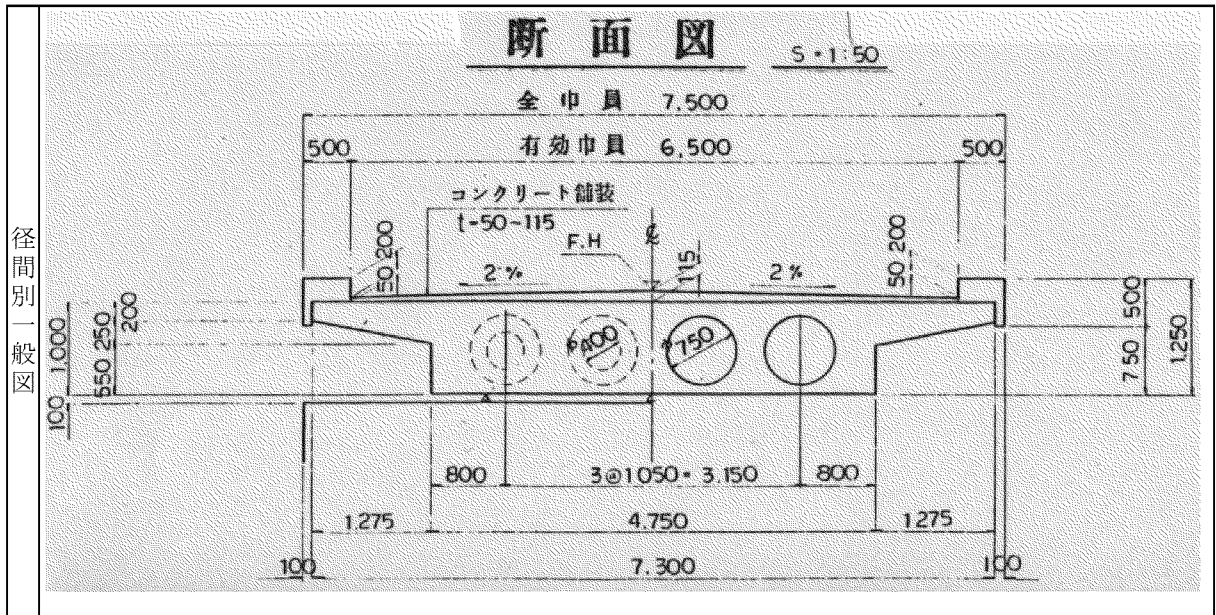
供用開始日	1990年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	平成02年	
橋長	10.04 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	7.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6.5 m	0.6 m	0 m	3.25 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	東1番橋		路線名	新城東1番線	
所在地	自	芦別市新城町160番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

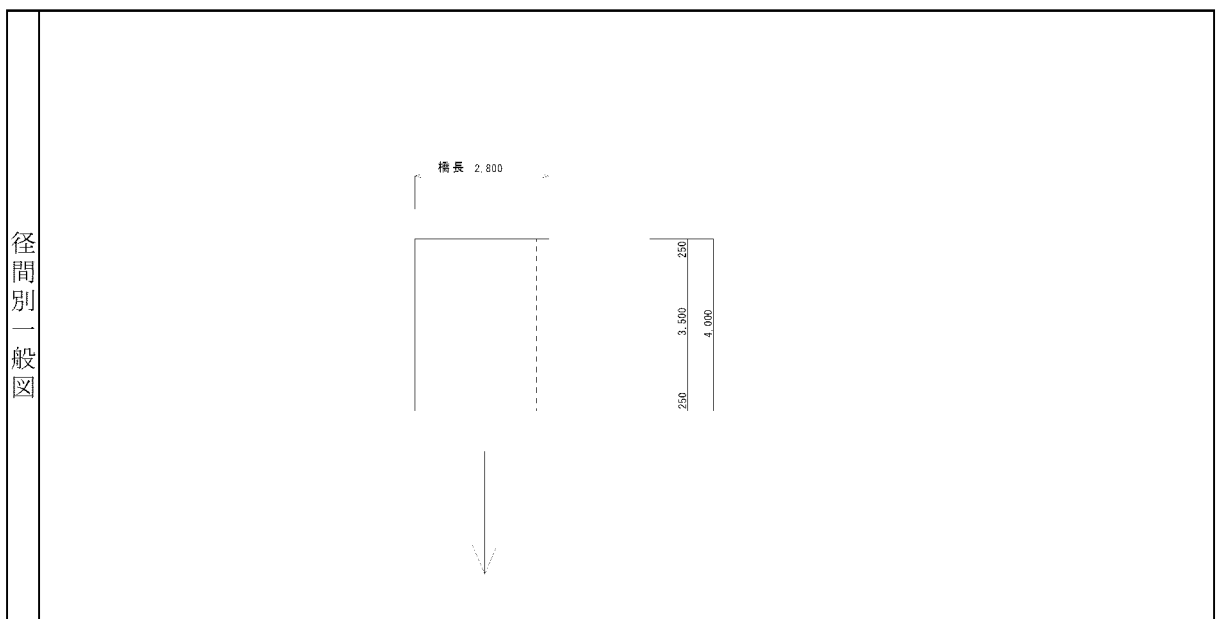
供用開始日	1982年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和53年	
橋長	27 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	14.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	6.5 m	0.5 m	0 m	3.25 m	0 m 7.5 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	
路下条件	河川・開水路・湖沼					

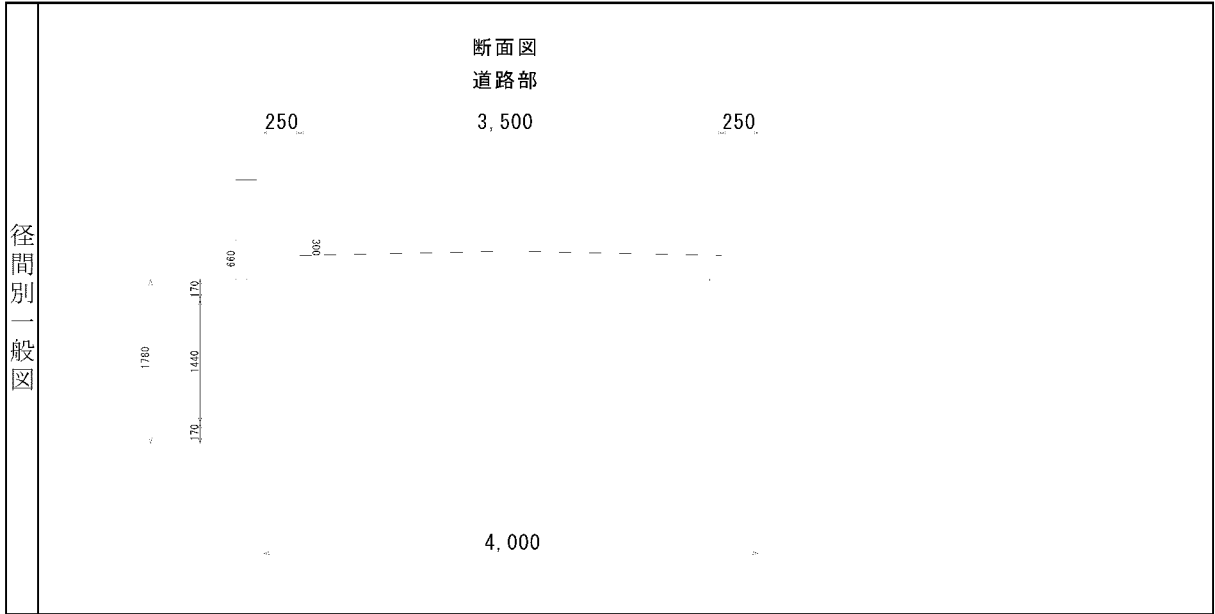




橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	田中橋		路線名	新城東1番線	
所在地	自	新城町153番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

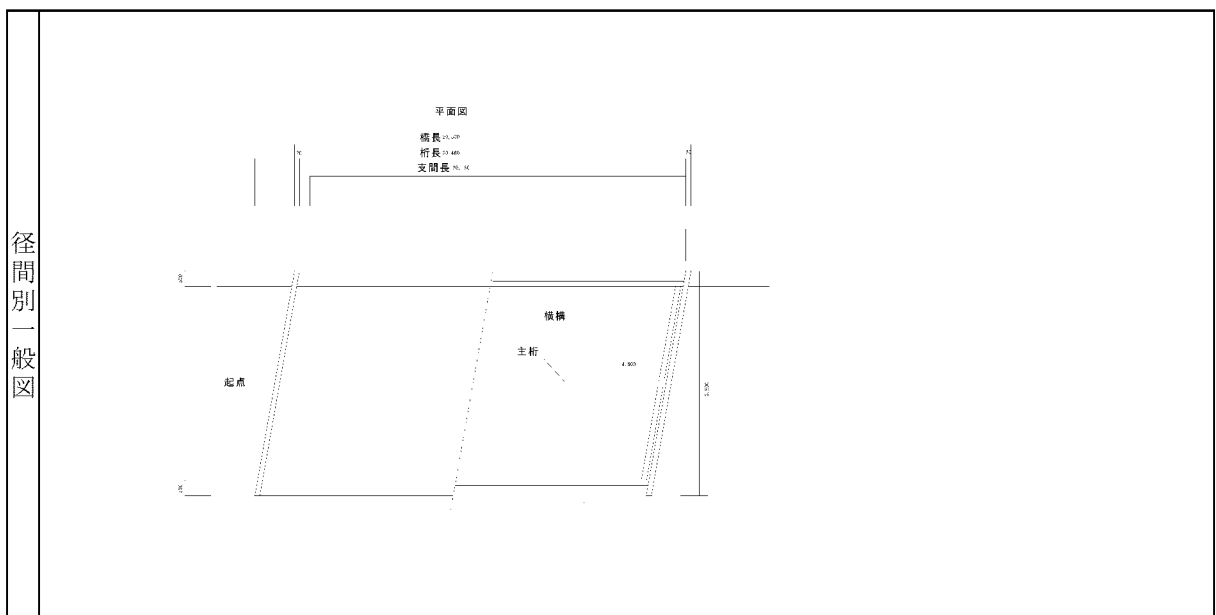
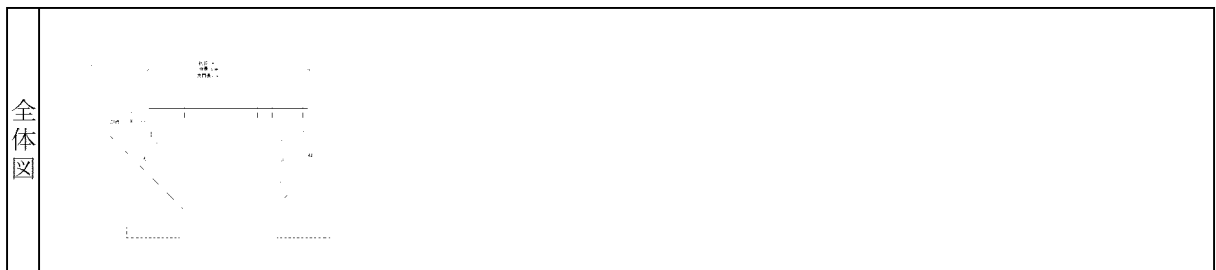
供用開始日	1986年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	昭和55年
橋長	2.13 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	4 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	3.5 m	0.25 m	m	1.75 m
海岸からの距離		m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート
路下条件	河川・開水路・湖沼				



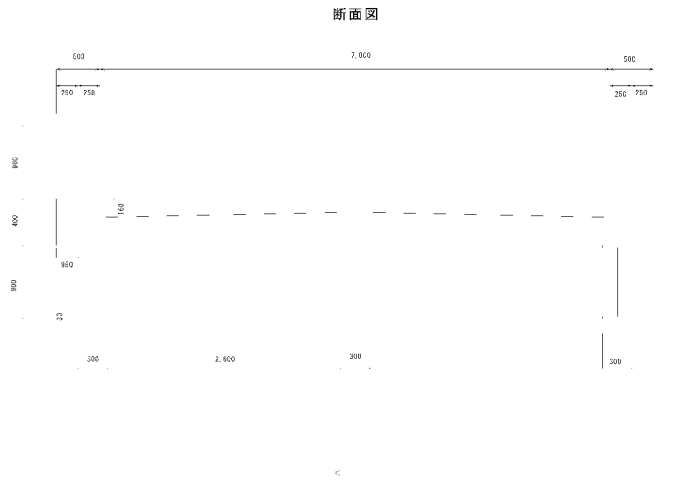


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	野花南橋		路線名	野花南44線	
所在地	自	芦別市野花南町580番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1975年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和48年	
橋長	21.4 m		総径間数	1 径間			
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員			左側			右側	
	全幅員	8 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	中央帯	車道幅・車線
	有効幅員	7 m	0.5 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

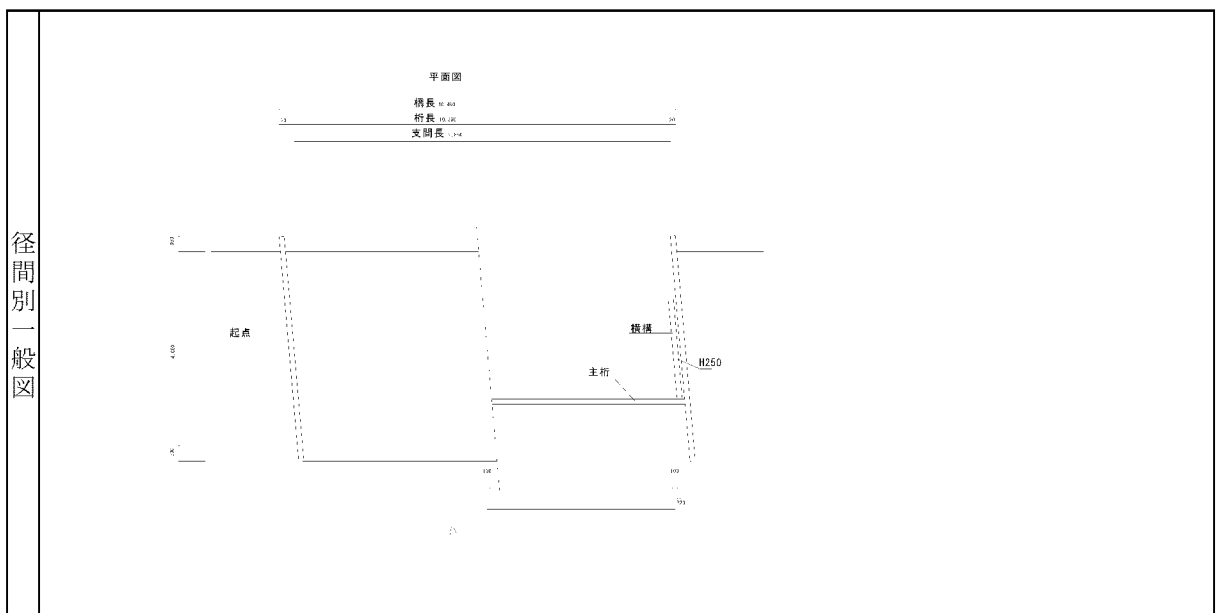
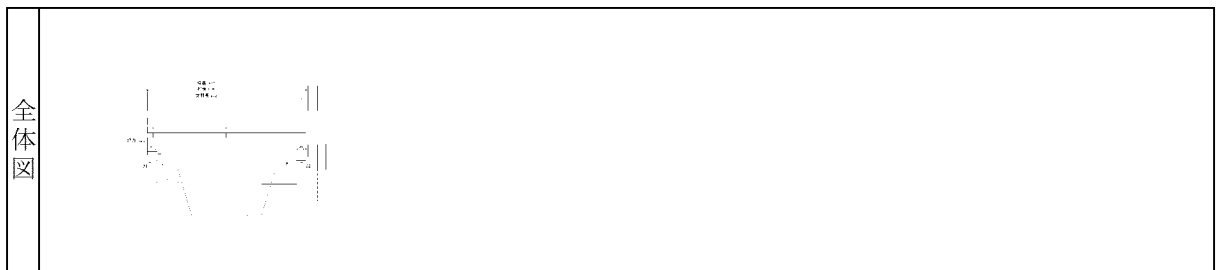


径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

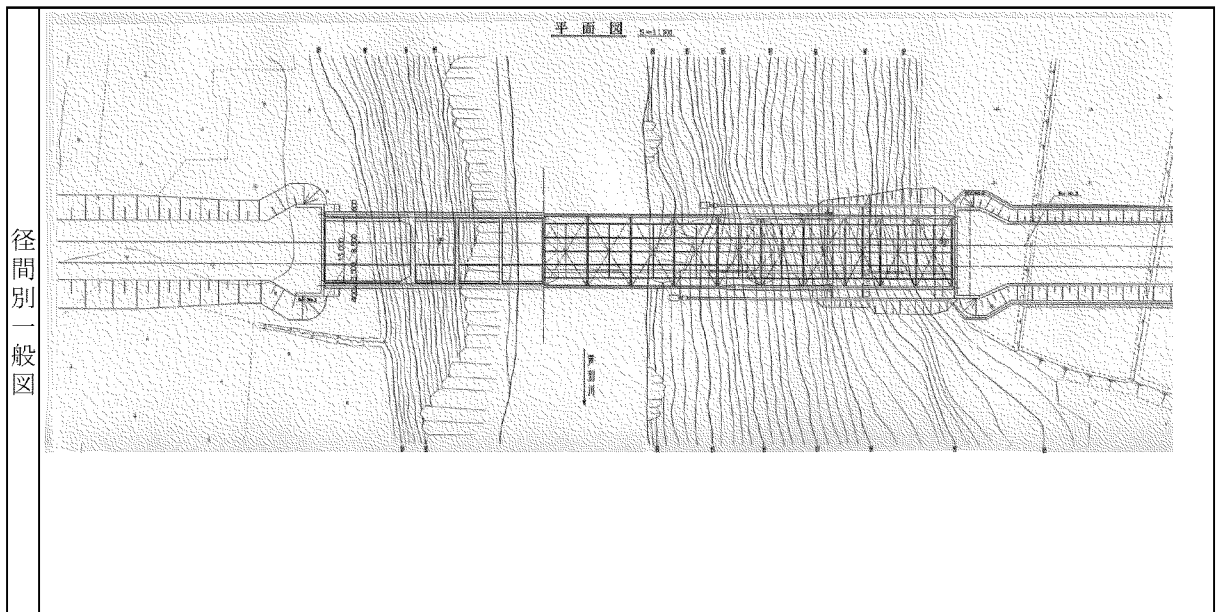
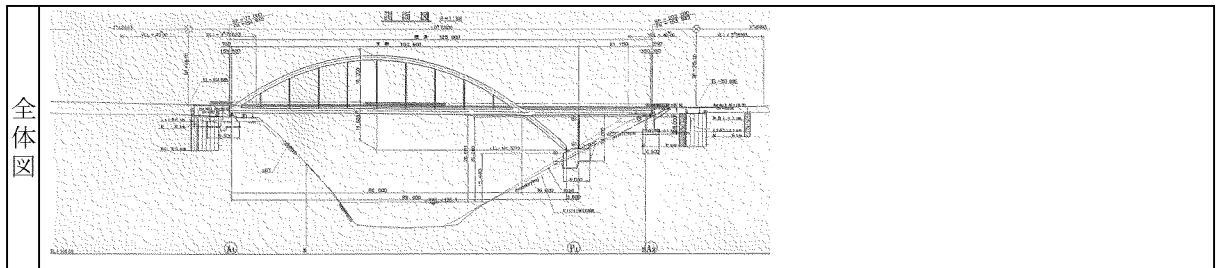
橋梁諸元と総合検査結果							
橋梁名	矢野橋		路線名	野花南47線		北海道	
所在地	自	野花南町1084番地の5	距離標	自	km	管轄	芦別市
	至			至	km		

供用開始日	1961年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和39年	
橋長	10.4 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	4.6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0.3 m	m	2 m	m	2 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



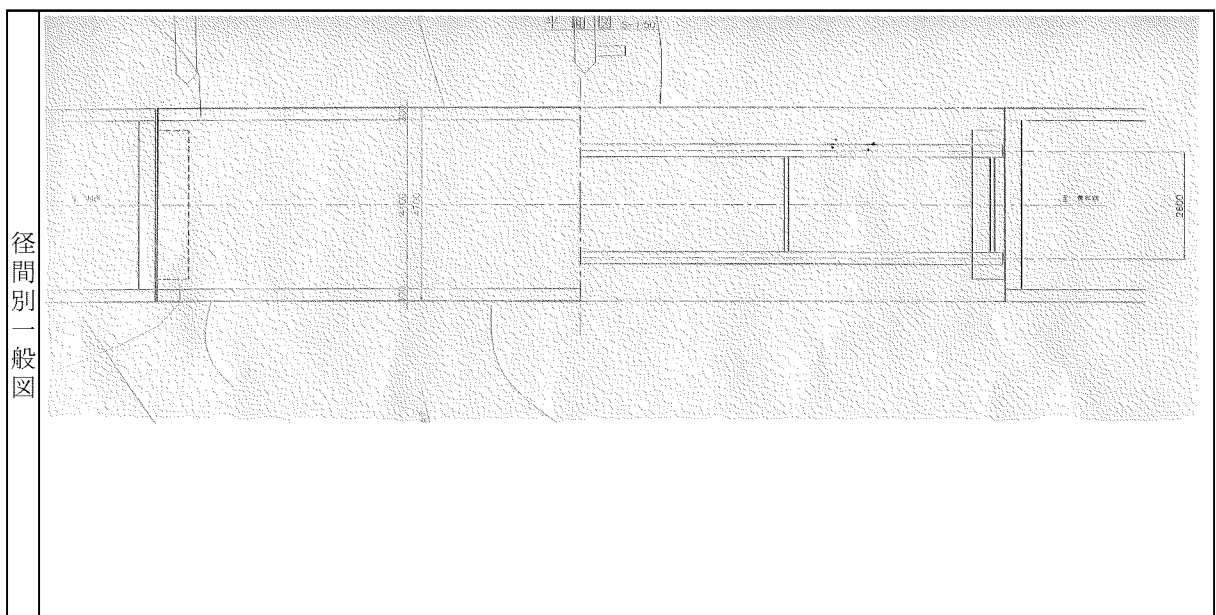
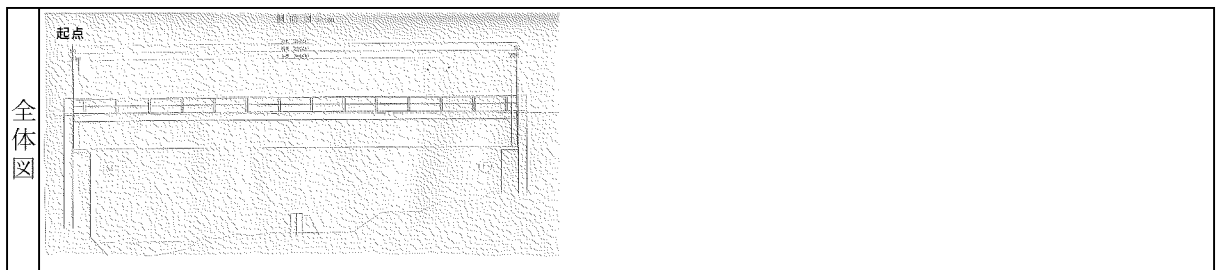
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	川岸大橋		路線名	頼城川岸線	
所在地	自	芦別市頼城町117番地 の1	距離標	自	km
	至			km	管轄

供用開始日	1999年	活荷重・等級	B活荷重		適用示方書	平成07年	
橋長	125 m	総径間数	2 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 ローゼ (アーチ橋)	下部構造形式	逆T式橋台／その他 (橋脚)		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	13 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	12 m	0.6 m	0 m	4.25 m	0 m	4.25 m 3.5 m 0.4 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						

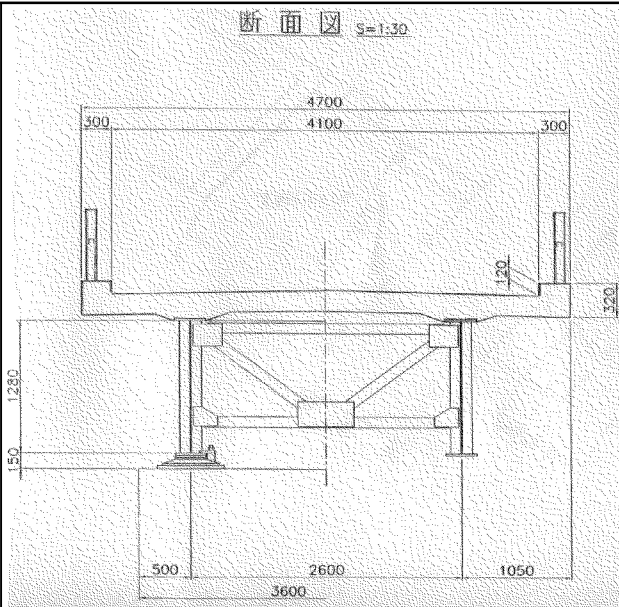


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	八月橋		路線名	頼城川岸線	
所在地	自	上芦別国有林24林班	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1960年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和31年		
橋長	20.6 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	鋼溶接橋 1桁(非合成)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式 直接基礎		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	4.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	4.1 m	0.3 m	0 m	2.05 m	0 m	2.05 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定			
路下条件	河川・開水路・湖沼							



径間別一般図

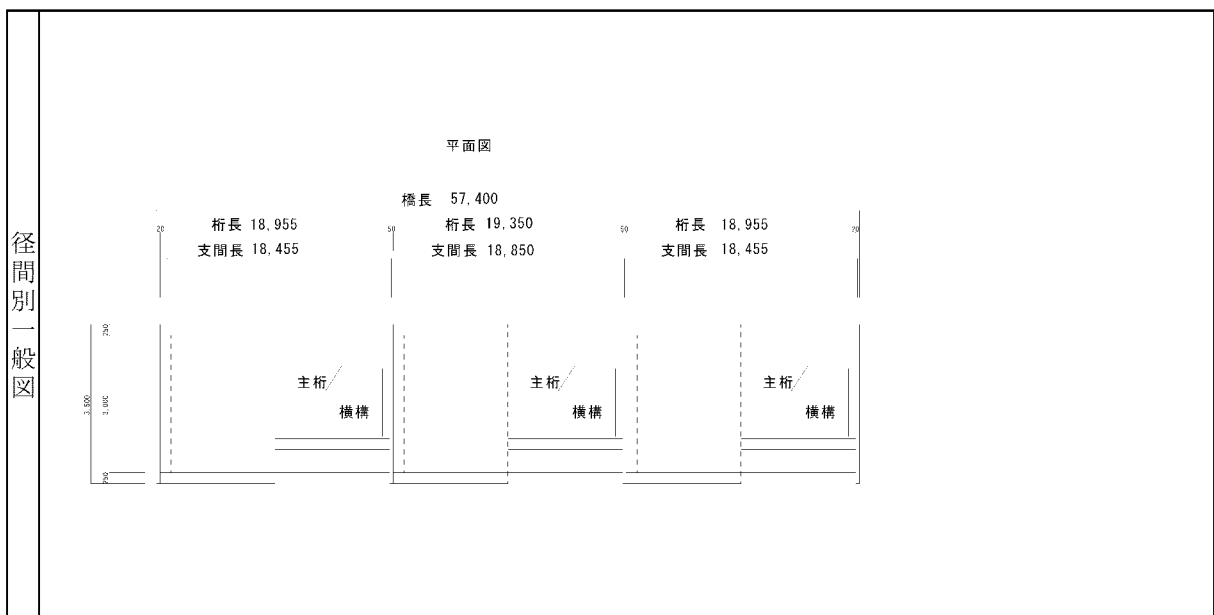
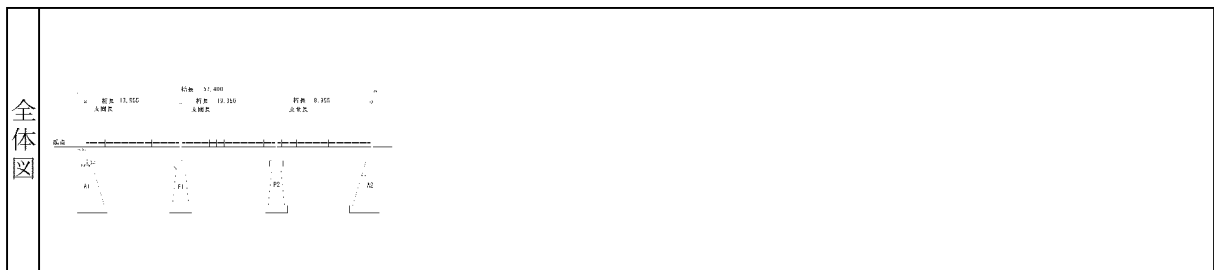


径間別一般図

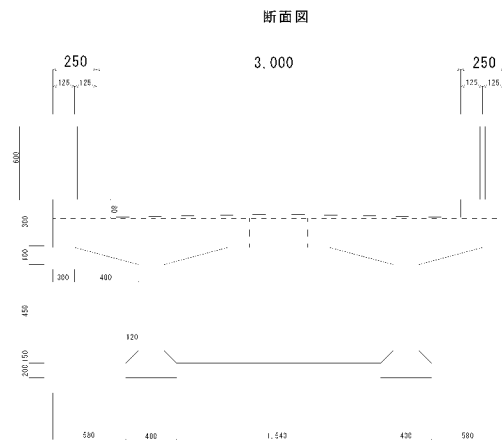
注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	大進橋		路線名	頼城川岸線	
所在地	自	上芦別国有林24林班	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1960年	活荷重・等級	TL-10		適用示方書	昭和31年	
橋長	57.4 m	総径間数	3 径間				
上部構造形式	PC橋 ポステンT桁		下部構造形式	重力式橋台／柱橋脚 1柱小判(RC)		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	3.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3 m	0.25 m	m	1.5 m	m	0.25 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

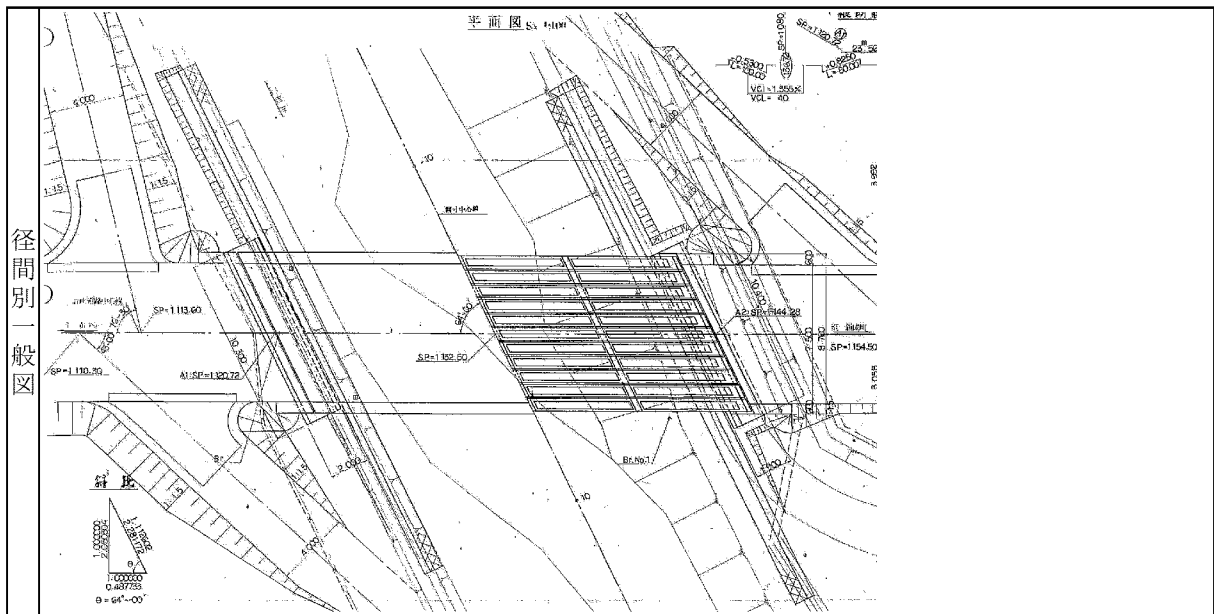
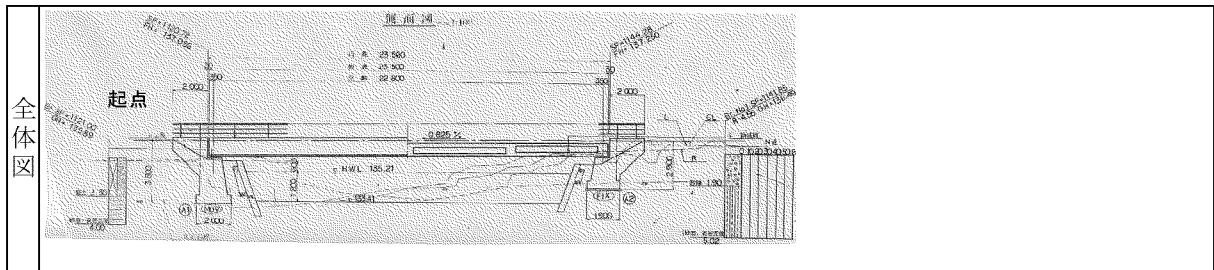


径間別一般図

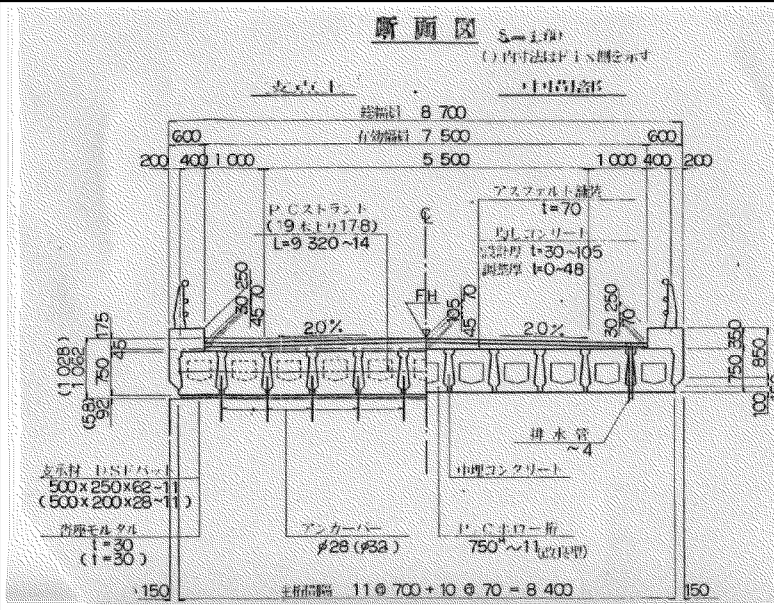
注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	黄金水松橋		路線名	黄金本通東線	
所在地	自	芦別市黄金町583番地 の3	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1991年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	平成02年	
橋長	23.56 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					

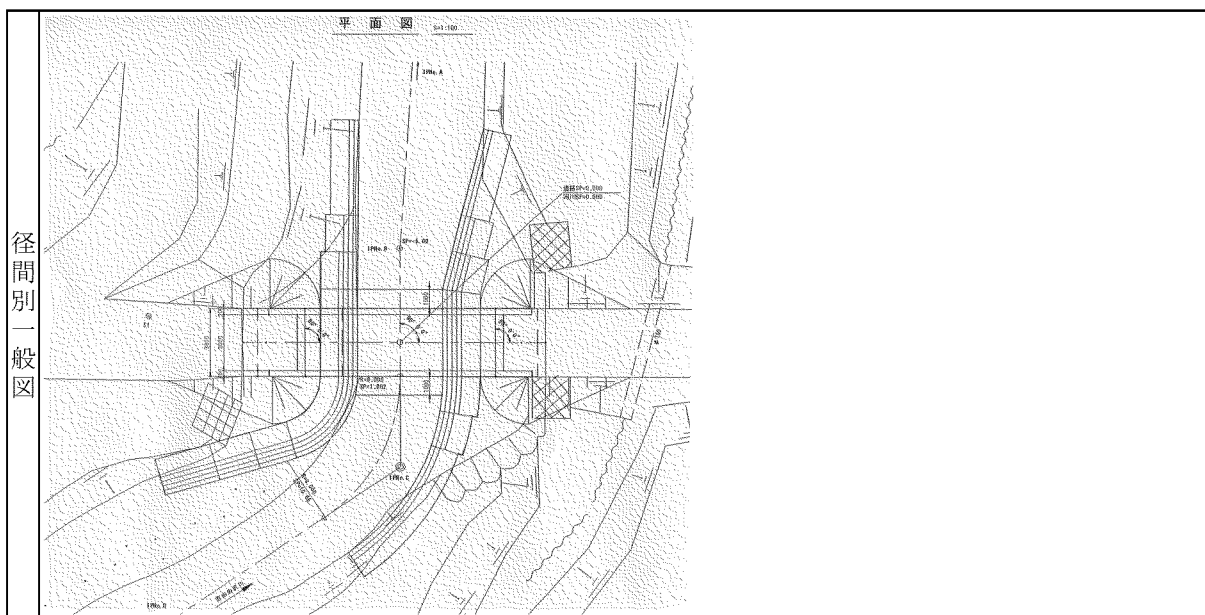
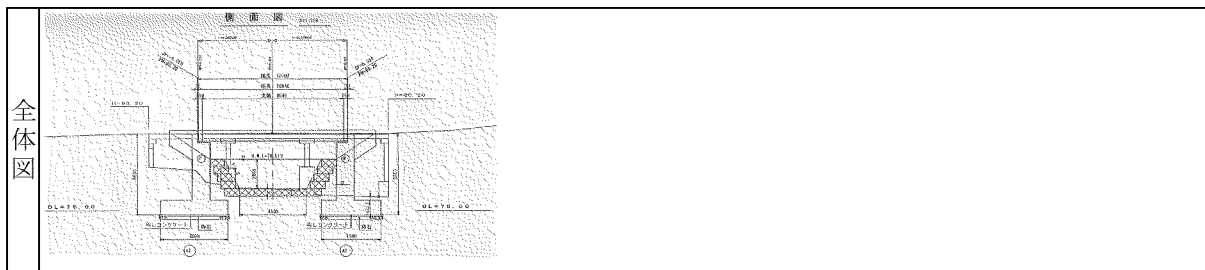


径間別一般図

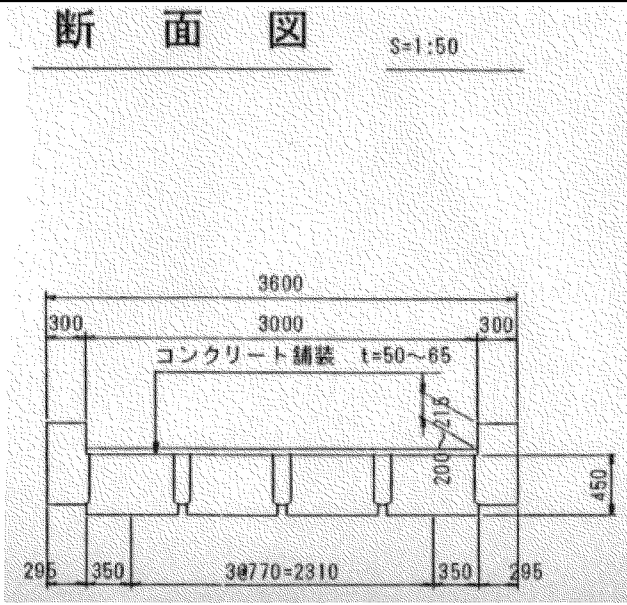


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	吉田の沢橋		路線名	常磐小林の沢線	
所在地	自	芦別市常磐町627番地 の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	2004年		活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成14年	
橋長	10.1 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員			左側			中央帯	右側	
	全幅員	3.6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3 m	0.3 m	0 m	1.5 m	0 m	1.5 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							

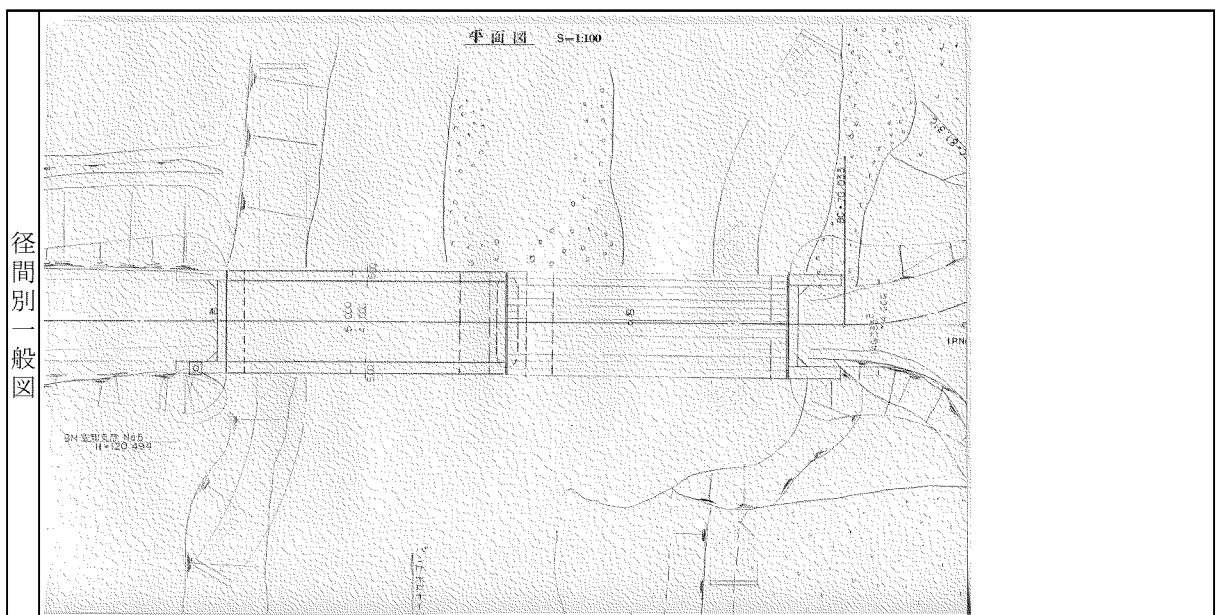
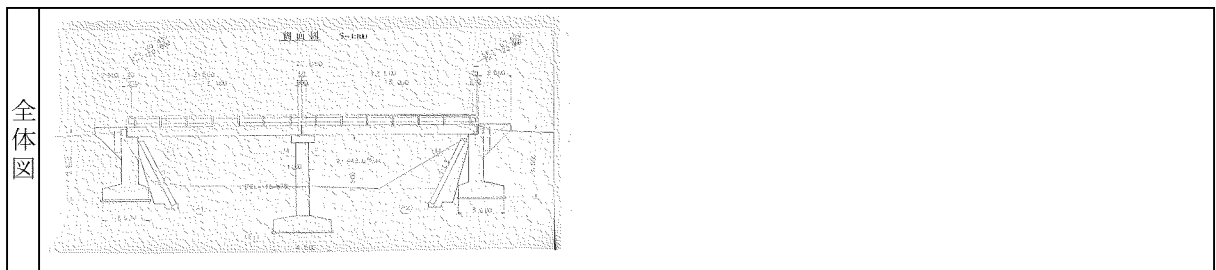


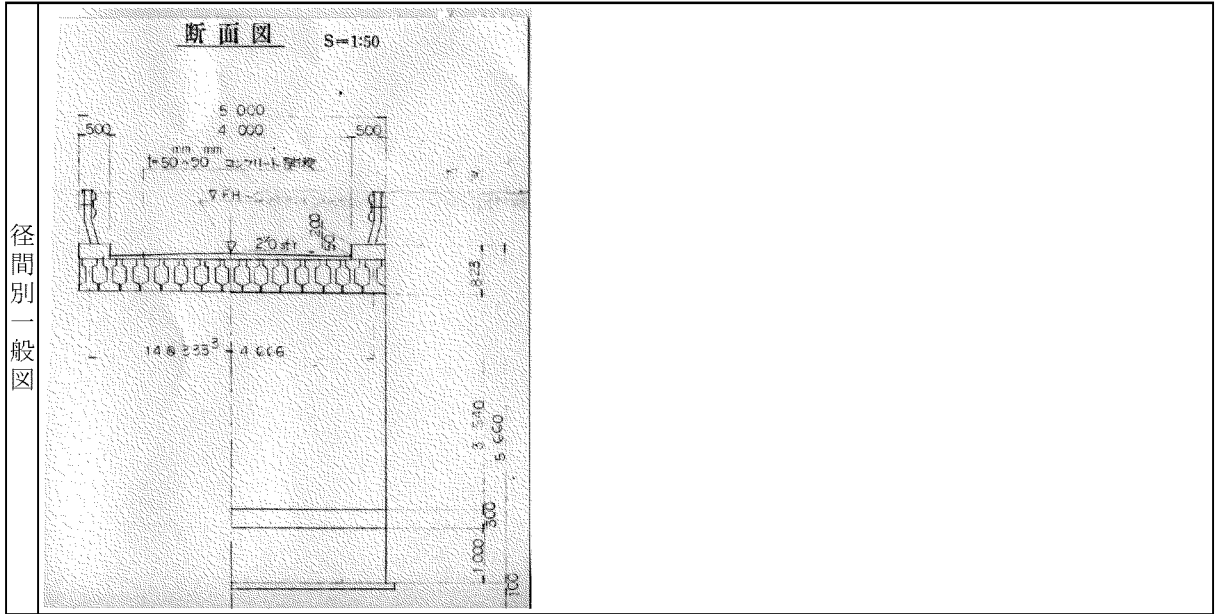
径間別一般図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	北1線橋		路線名	黄金北1線	
所在地	自	芦別市黄金町284番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

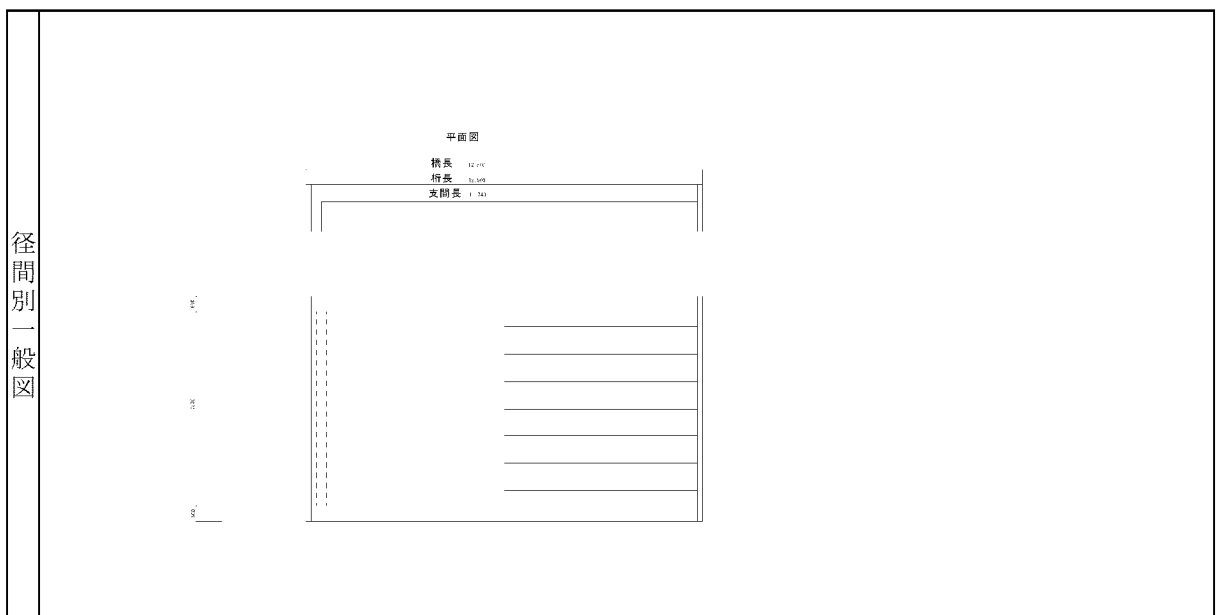
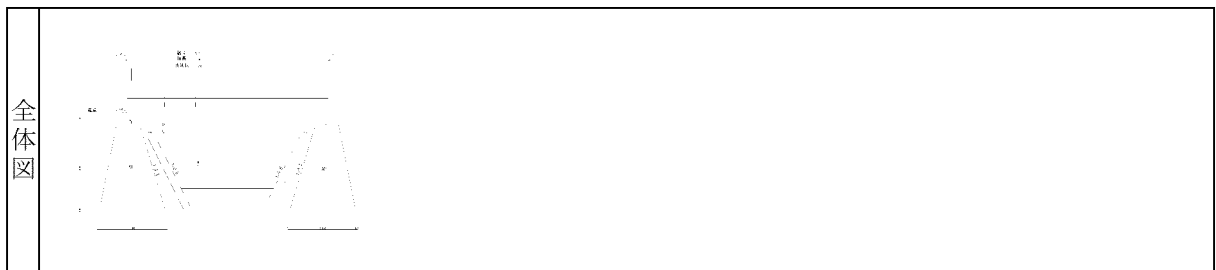
供用開始日	1982年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	27.09 m	総径間数	2 径間				
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他		下部構造形式	逆T式橋台／柱橋脚1 柱小判(RC)		基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0.5 m	0 m	2 m	0 m	2 m 0 m 0.5 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						





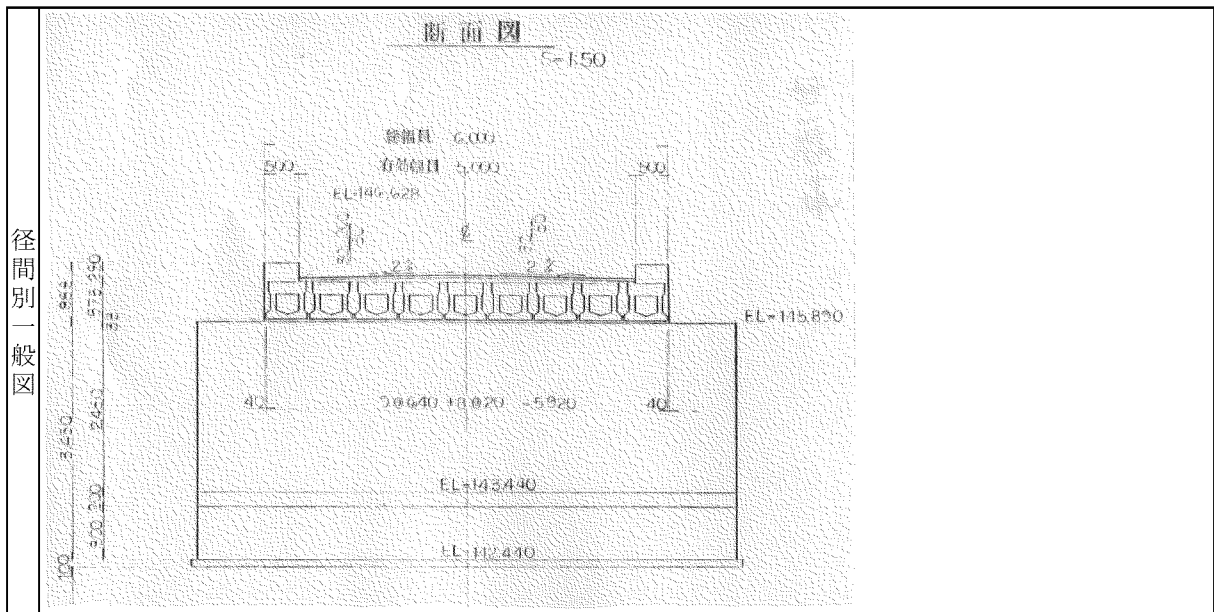
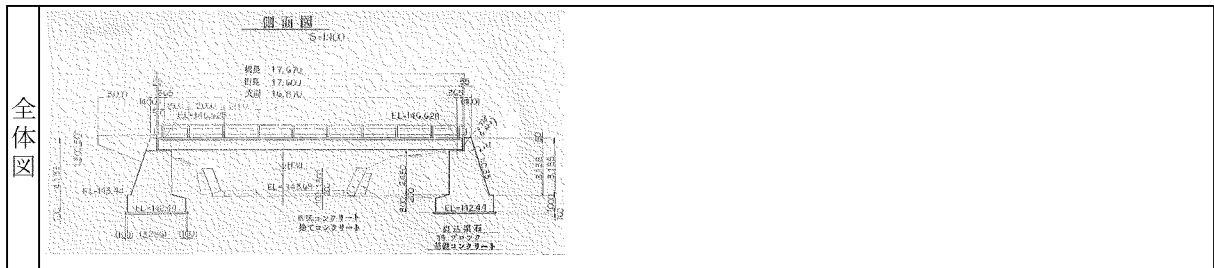
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	菅原橋		路線名	黄金細谷線	
所在地	自	芦別市黄金町1151番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1988年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和55年
橋長	12.54 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 プレテン床版	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				



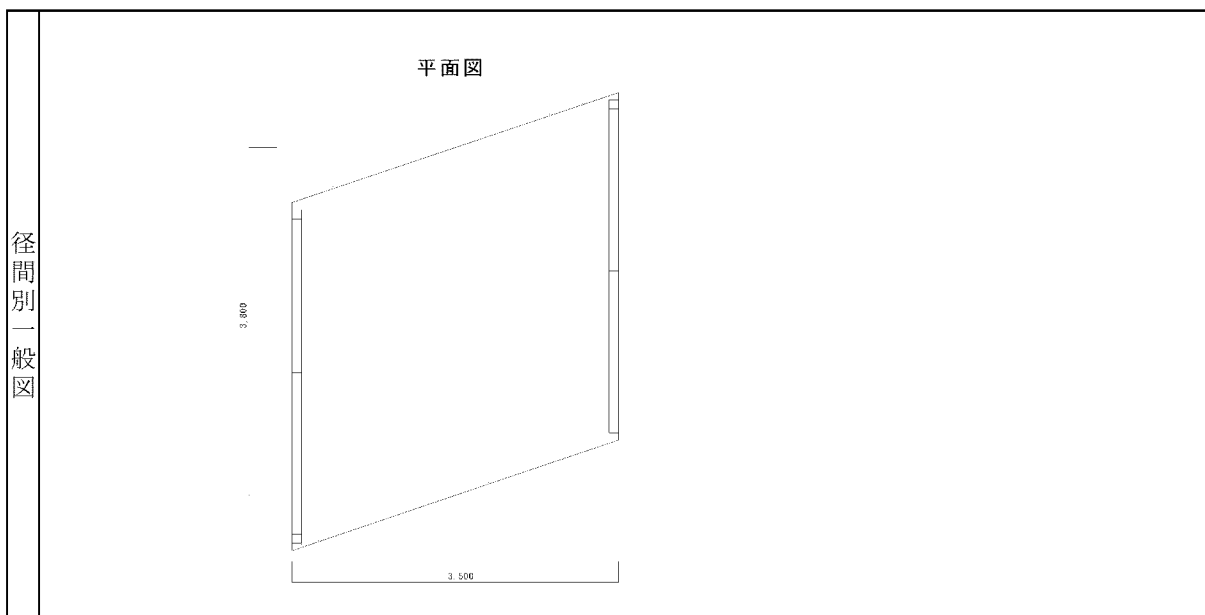
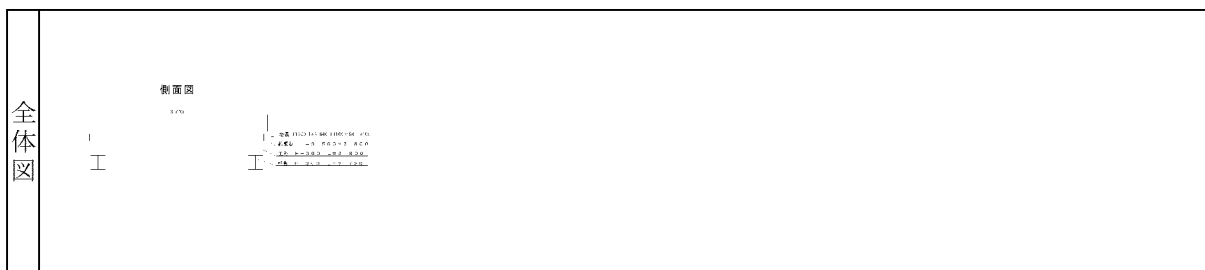
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	南1線1号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	芦別市豊岡町76番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1977年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	昭和48年		
橋長	17.67 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎		
交通条件	調査年			大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限			
幅員	左側			中央帯	右側		
	全幅員	6 m	地覆幅		歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線
	有効幅員	5 m	0.5 m	0 m	2.5 m	0 m	0.5 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼						



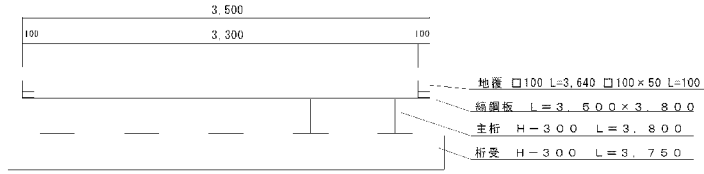
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	南1線2号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	芦別市豊岡町91番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	2010年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	その他	
橋長	3.8 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	H型鋼 H形鋼 (非合成)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	3.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3.3 m	0.1 m	0 m	1.65 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	
路下条件	河川・開水路・湖沼					



径間別一般図

断面図

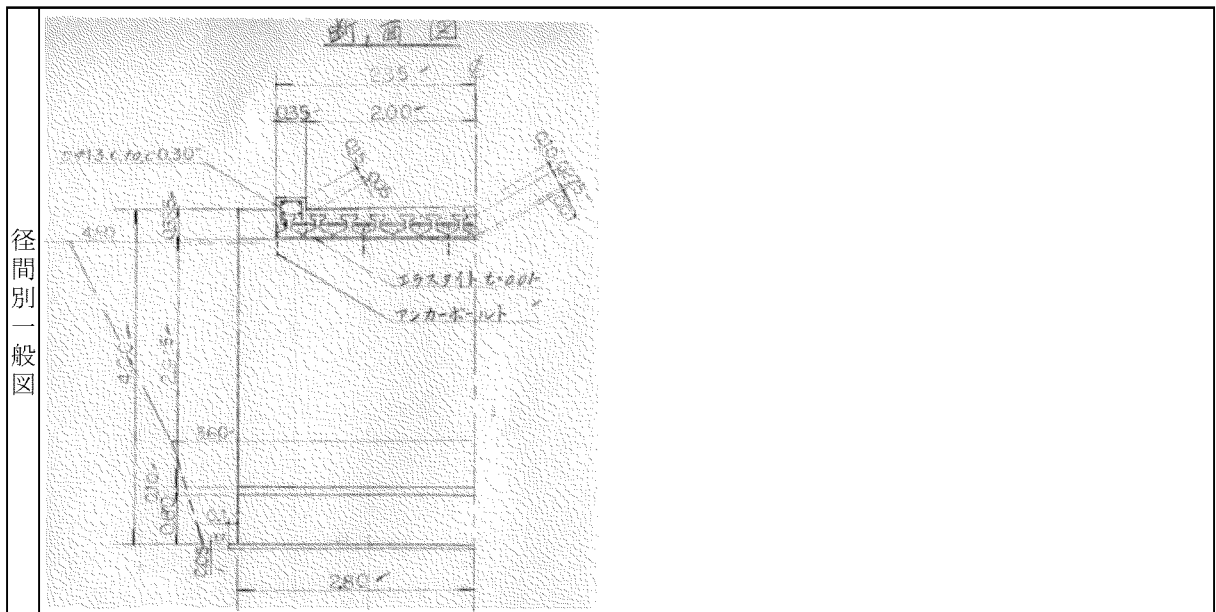


径間別一般図

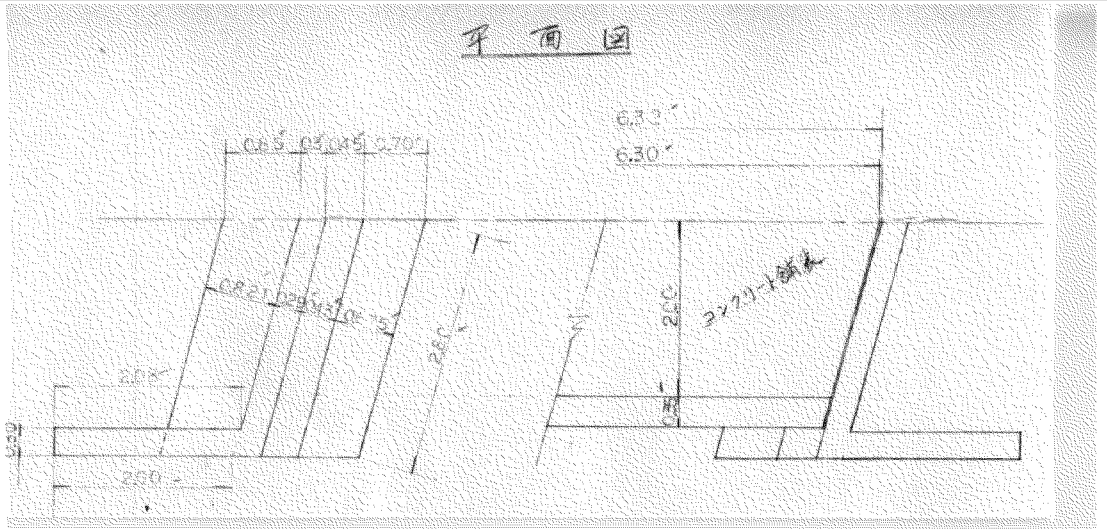
注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	南1線3号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	芦別市豊岡町35番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1976年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和48年
橋長	6.32 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 PC 床版橋その他	下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	4.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	4 m	0.35 m	0 m	2 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

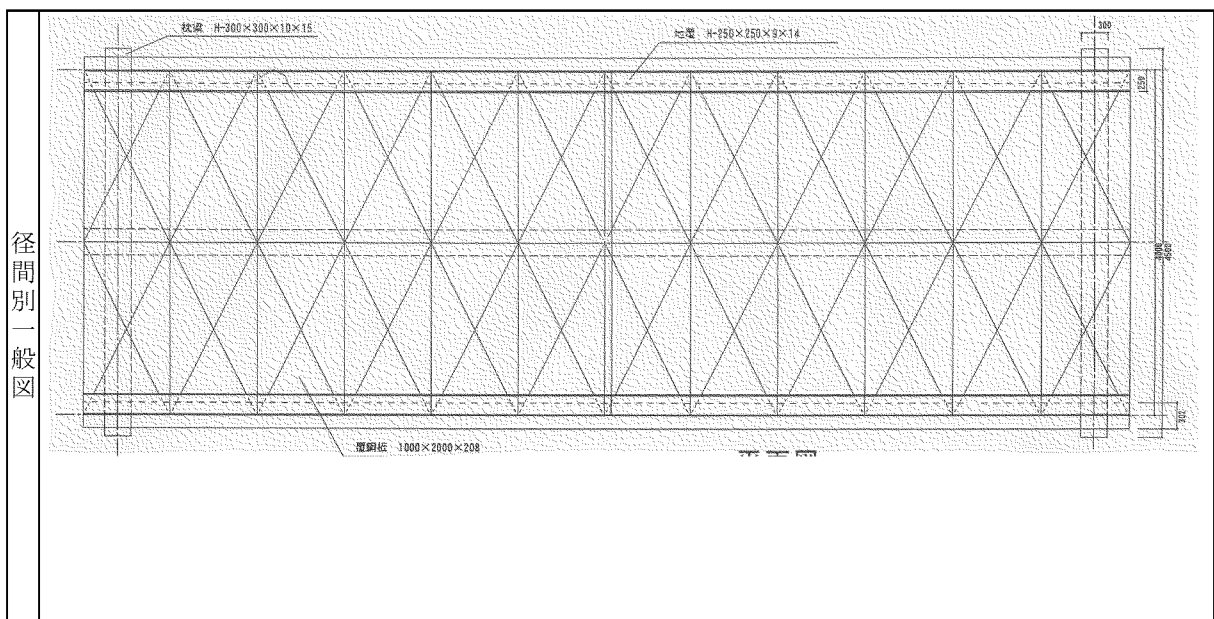
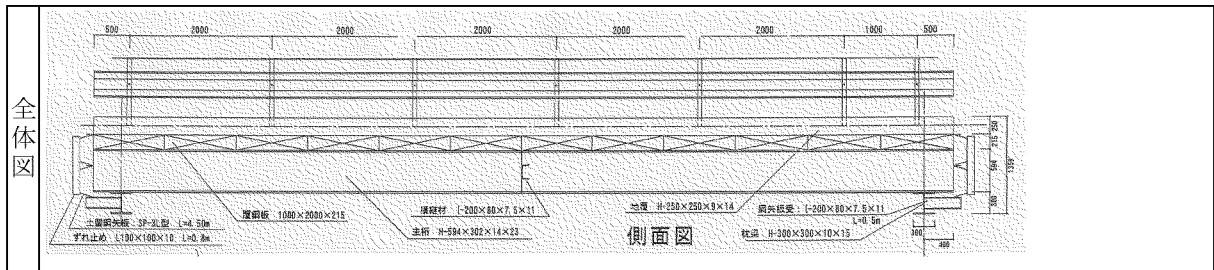


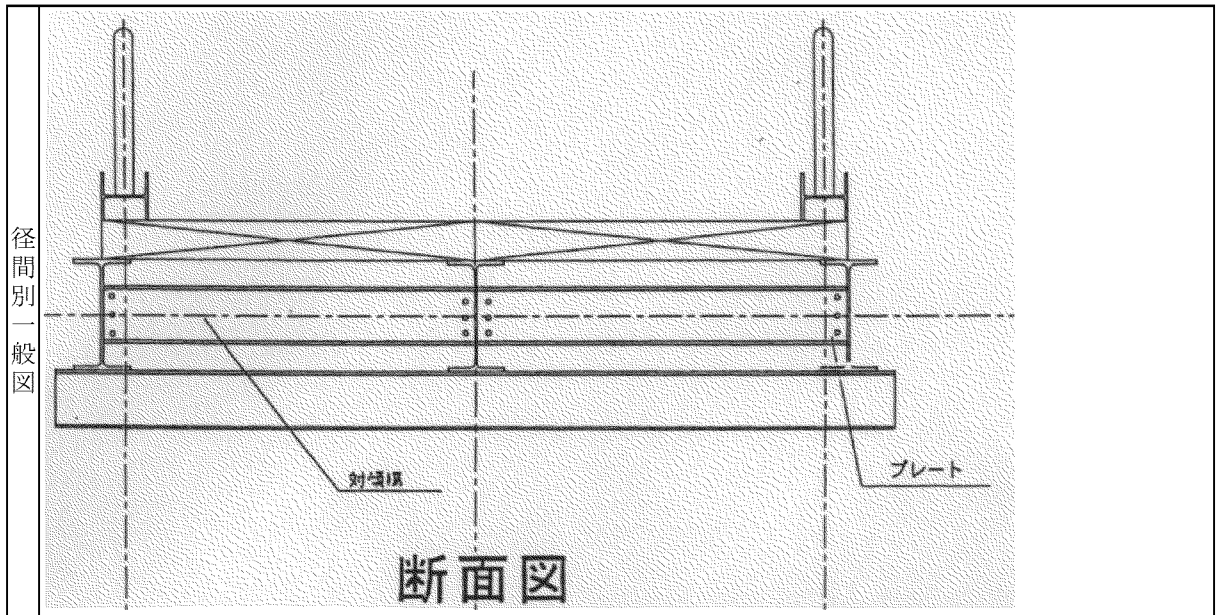
径間別一般図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	南1線4号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	芦別市豊岡町411番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

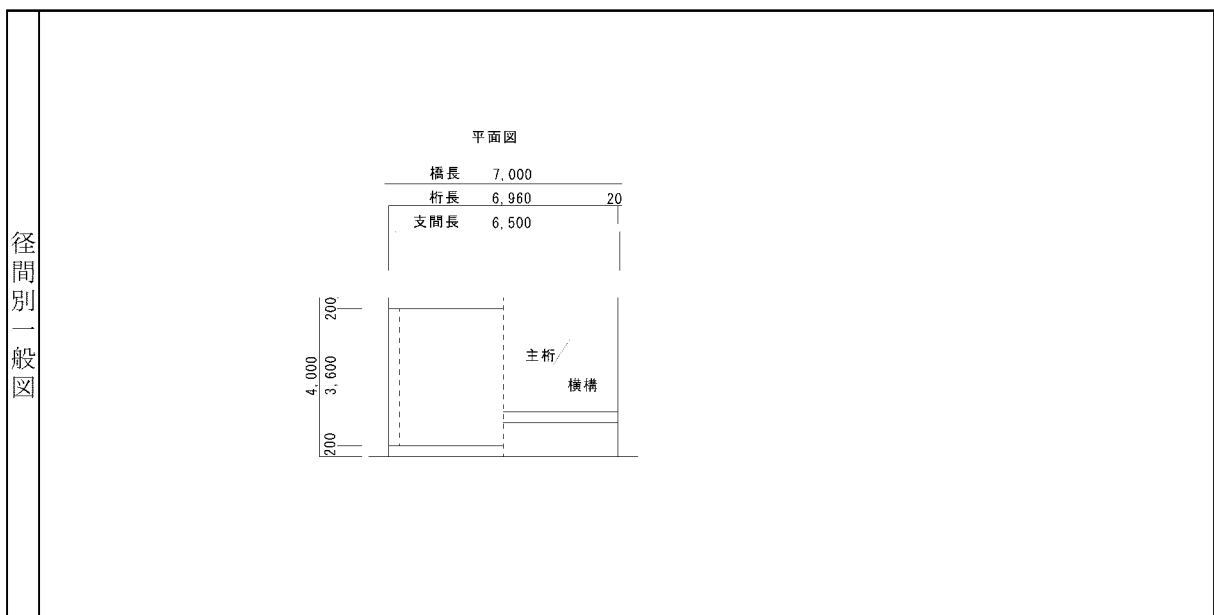
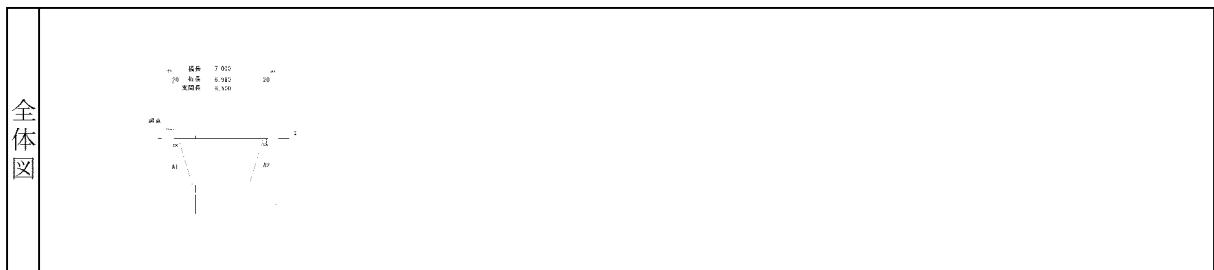
供用開始日	2011年		活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	その他	
橋長	12 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯			右側		
	全幅員	5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線		地覆幅
	有効幅員	4.5 m	0.25 m	0 m	2.25 m	0 m	2.25 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							



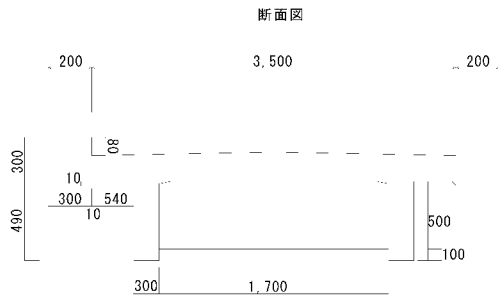


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	豊岡2号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	豊岡町435番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1968年	活荷重・等級	TL-10		適用示方書	昭和42年	
橋長	7 m		総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 プレテンT桁		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	3.9 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3.5 m	0.2 m	m	1.75 m	m	0.2 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

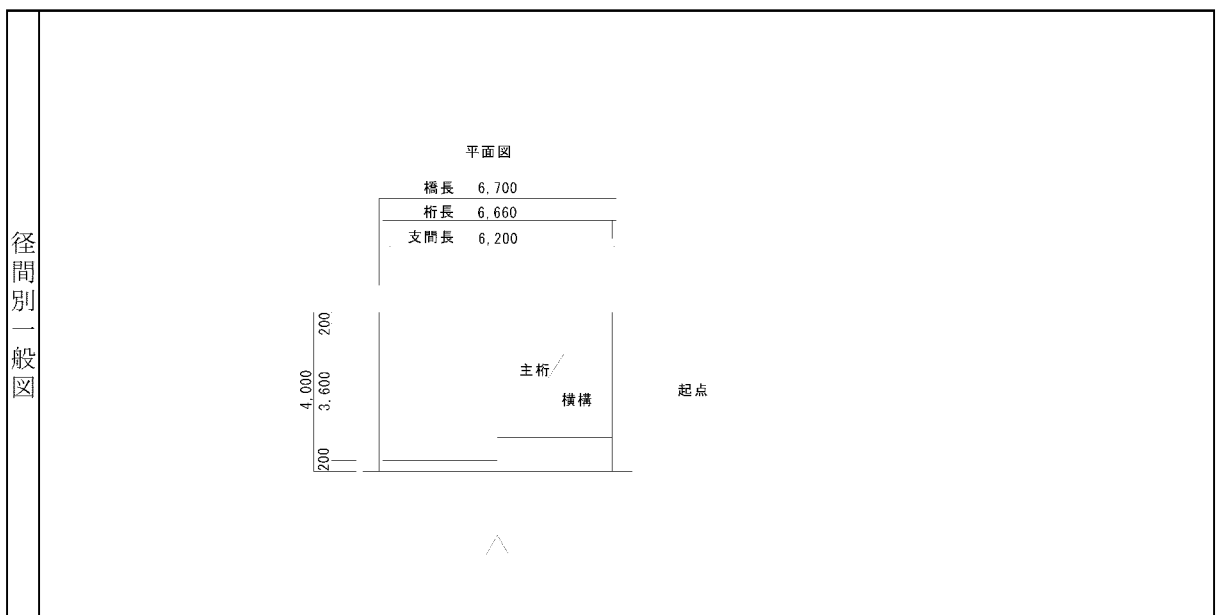
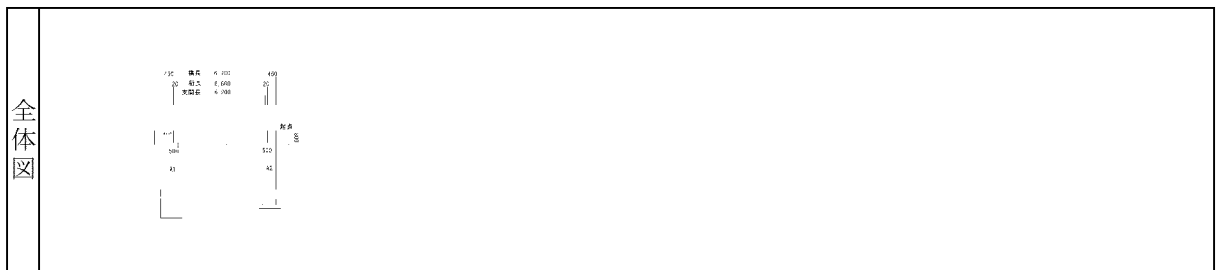


径間別一般図

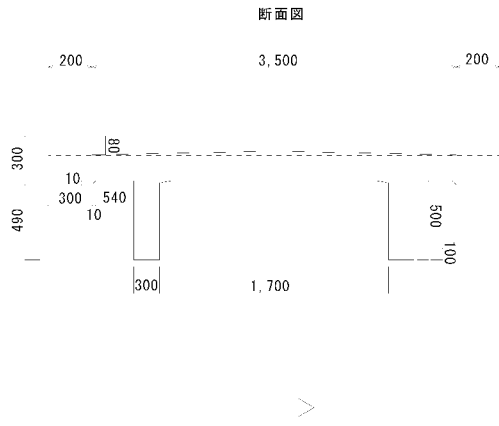
注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	豊岡3号橋		路線名	豊岡南1線	
所在地	自	芦別市豊岡町386番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1968年	活荷重・等級	TL-10		適用示方書	昭和42年	
橋長	6.7 m		総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 プレテンT桁		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	3.9 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3.5 m	0.2 m	m	1.75 m	m	0.2 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						

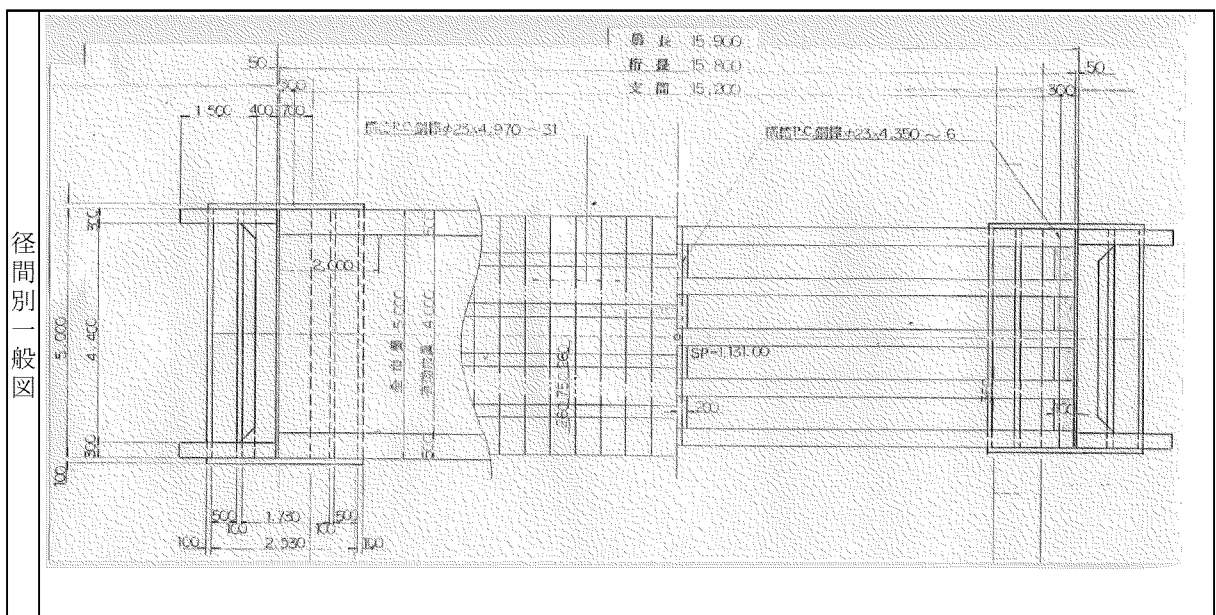
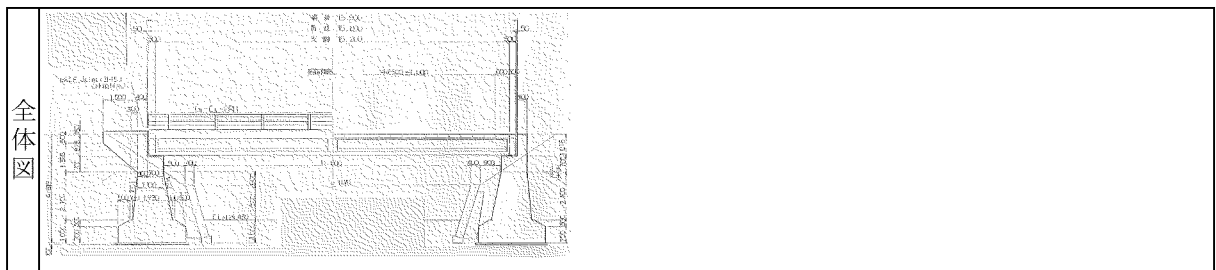


径間別一般図



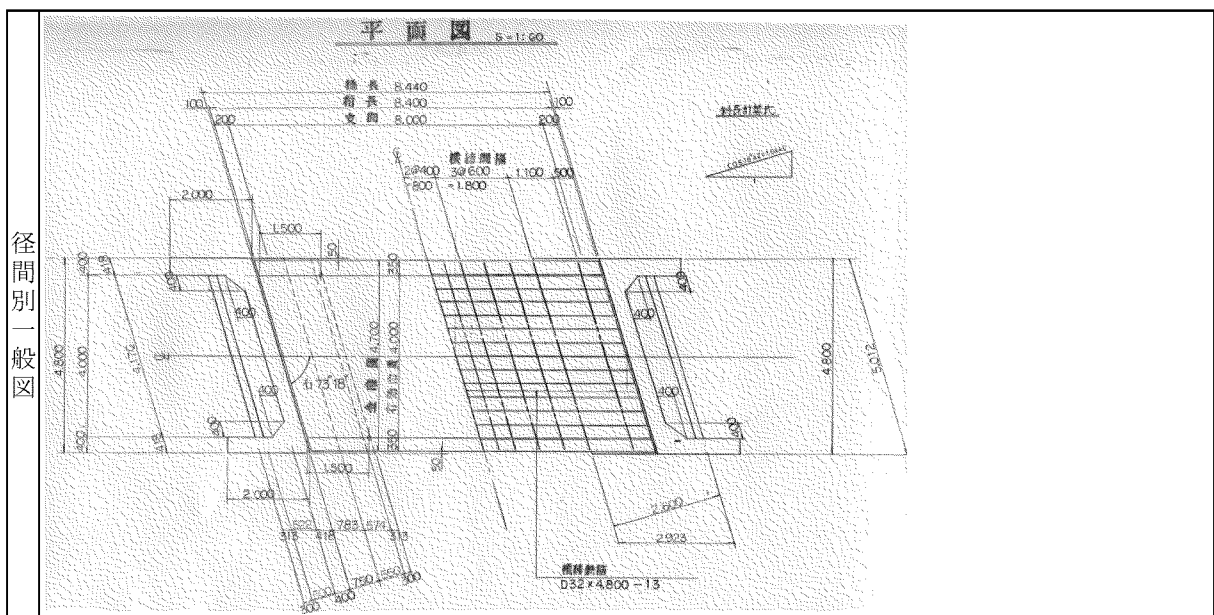
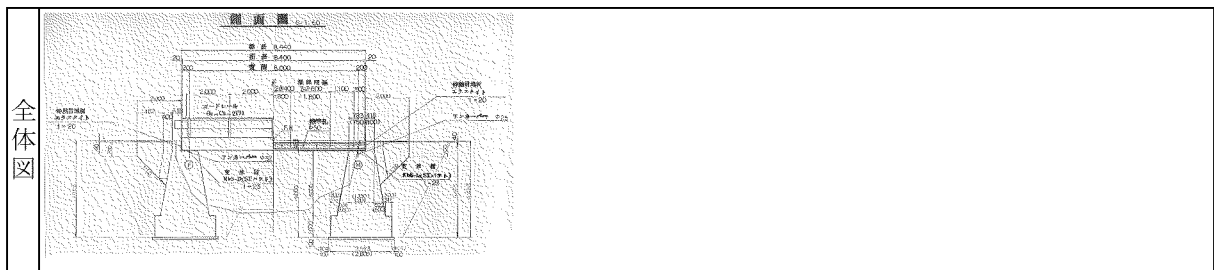
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	三又橋		路線名	豊岡新城線	
所在地	自	芦別市豊岡町121番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1977年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和48年	
橋長	15.9 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 プレテンT桁(合成)	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0.5 m	0 m	2 m	0.5 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					



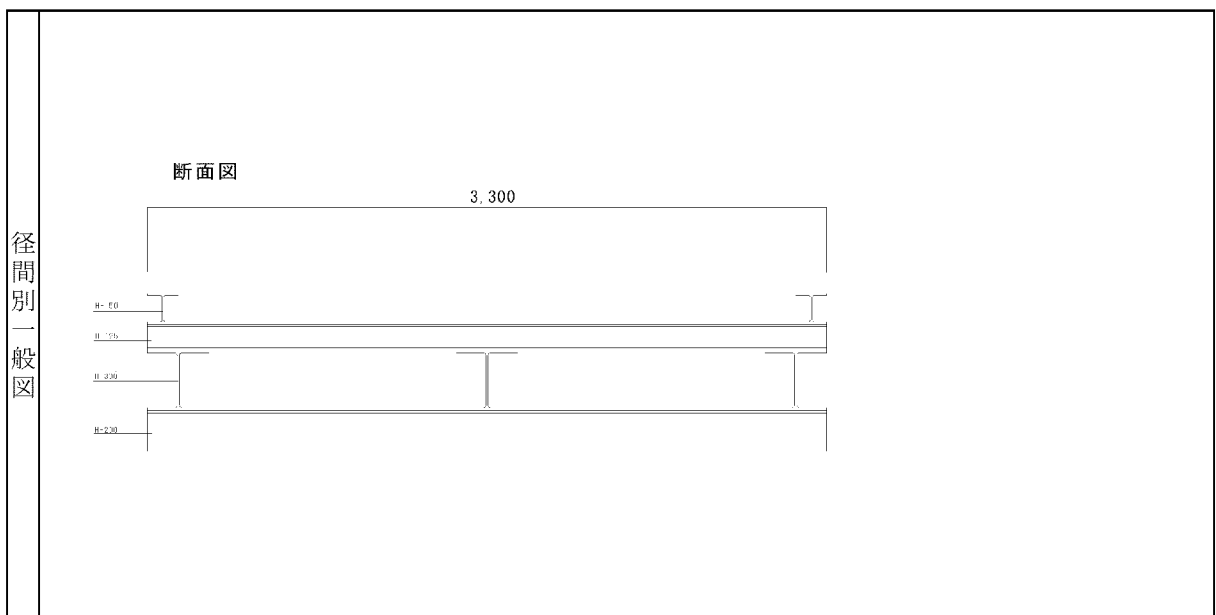
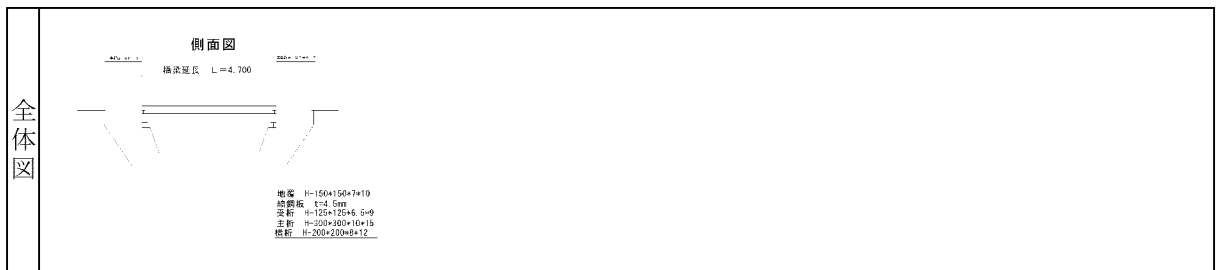
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	橋谷田橋		路線名	豊岡4線	
所在地	自	芦別市豊岡町165番地	距離標	自	km
	至			km	管轄

供用開始日	1982年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和55年	
橋長	8.44 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 PC 床版 橋その他		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式 直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	4.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	4 m	0.35 m	0 m	2 m	0 m	0.35 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼						

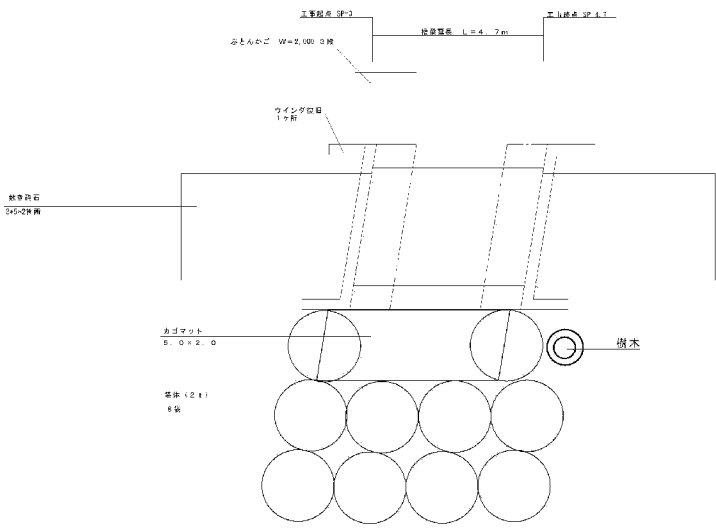


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	今野橋		路線名	豊岡北2線	
所在地	自	豊岡町262番地の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	2005年	活荷重・等級	TL-10	適用示方書	その他
橋長	4.7 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	H型鋼 H形鋼 (非合成)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側			中央帯	右側
	全幅員	3.3 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	3 m	0.15 m	0 m	1.5 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

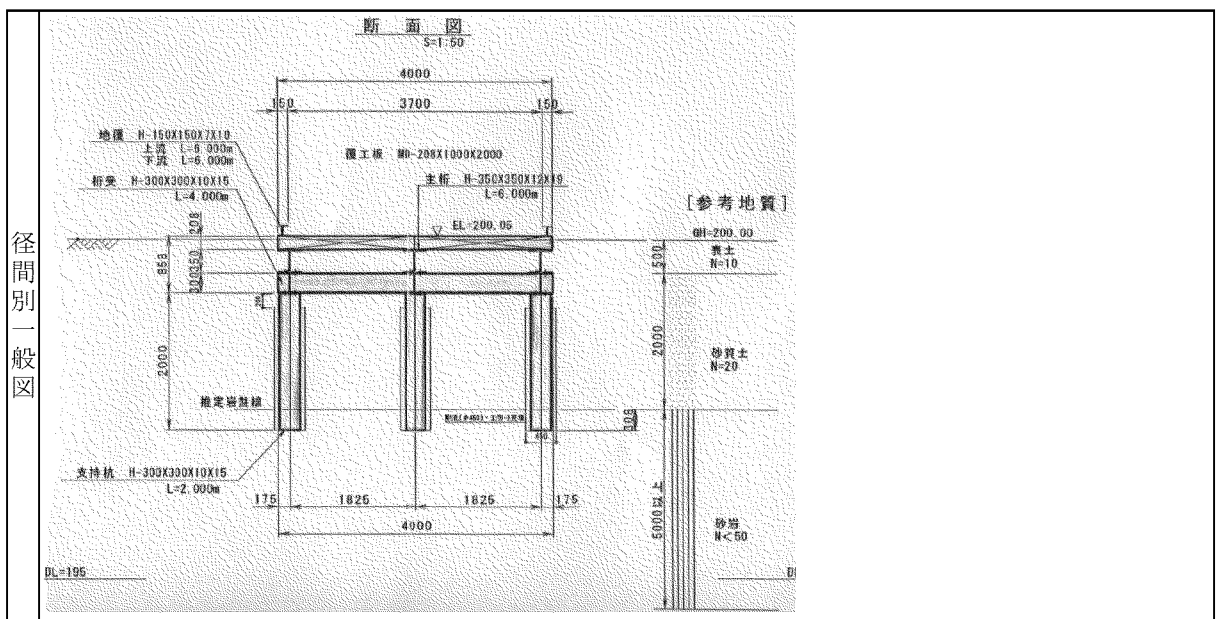
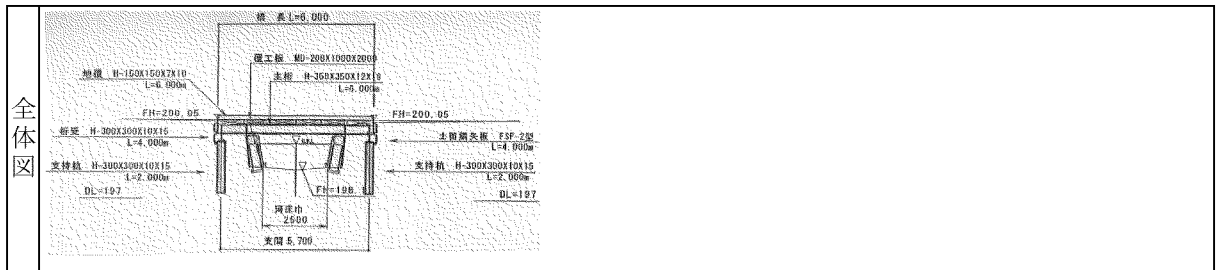


径間別一般図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	茶畑橋		路線名	豊岡5線	
所在地	自	芦別市豊岡町220番地 の2	距離標	自	km
	至			km	管轄

供用開始日	2005年		活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	その他	
橋長	6 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	鋼溶接橋 1桁(鋼床版)		下部構造形式	その他(橋台)		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側				中央帯	右側		
	全幅員	4 m	地覆幅	歩道幅		車道幅・車線	車道幅・車線	
	有効幅員	3.7 m	0.15 m	0 m	1.85 m	0 m	1.85 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定		無		優先確保ルート	
路下条件	河川・開水路・湖沼							



径間別一般図

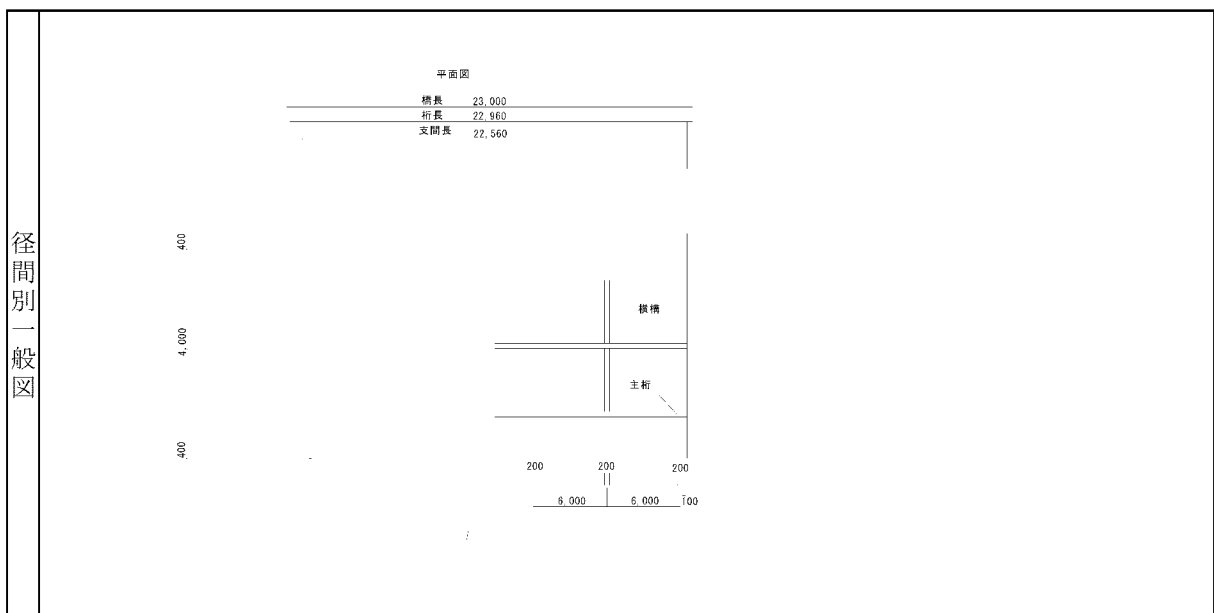
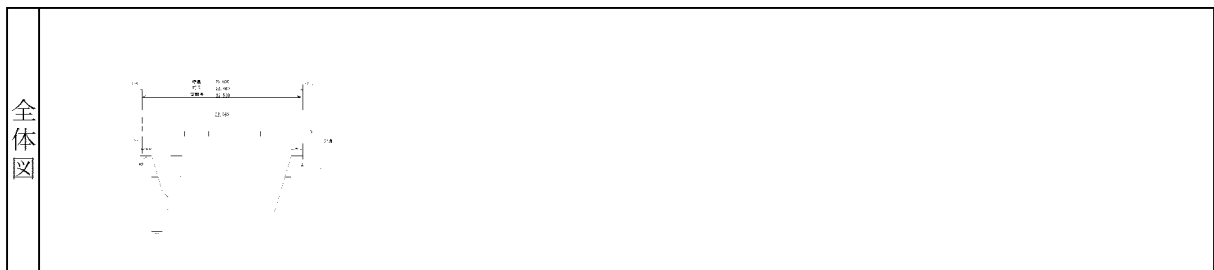


径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

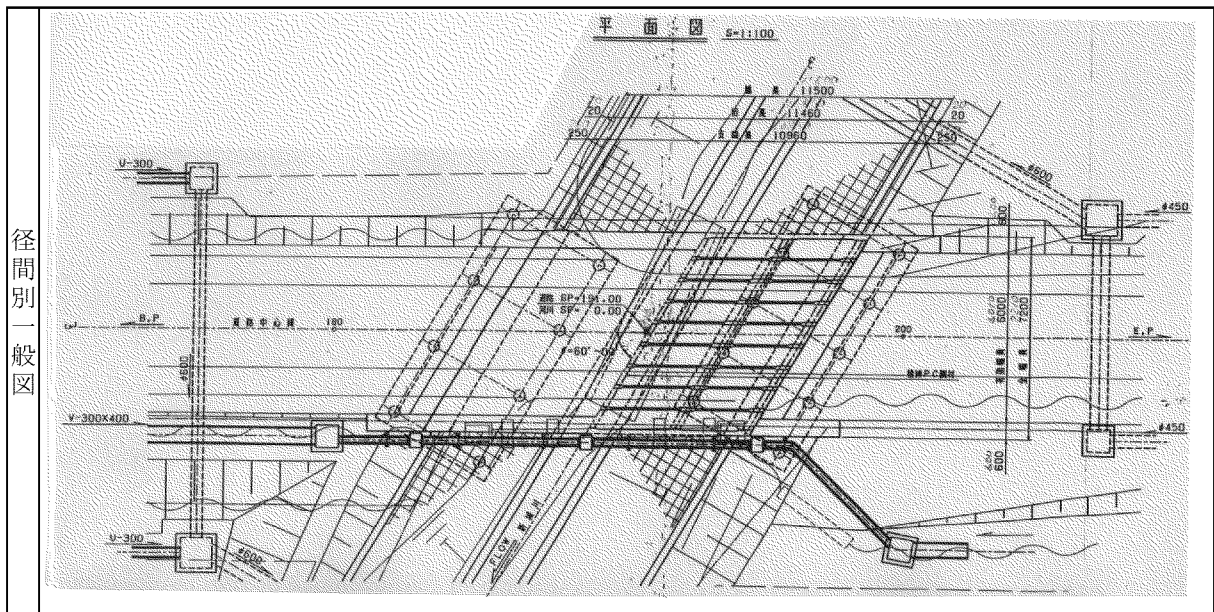
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	雲龍橋		路線名	新城本流線	
所在地	自	芦別市新城町307番地 の6	距離標	自	km
	至			km	管轄

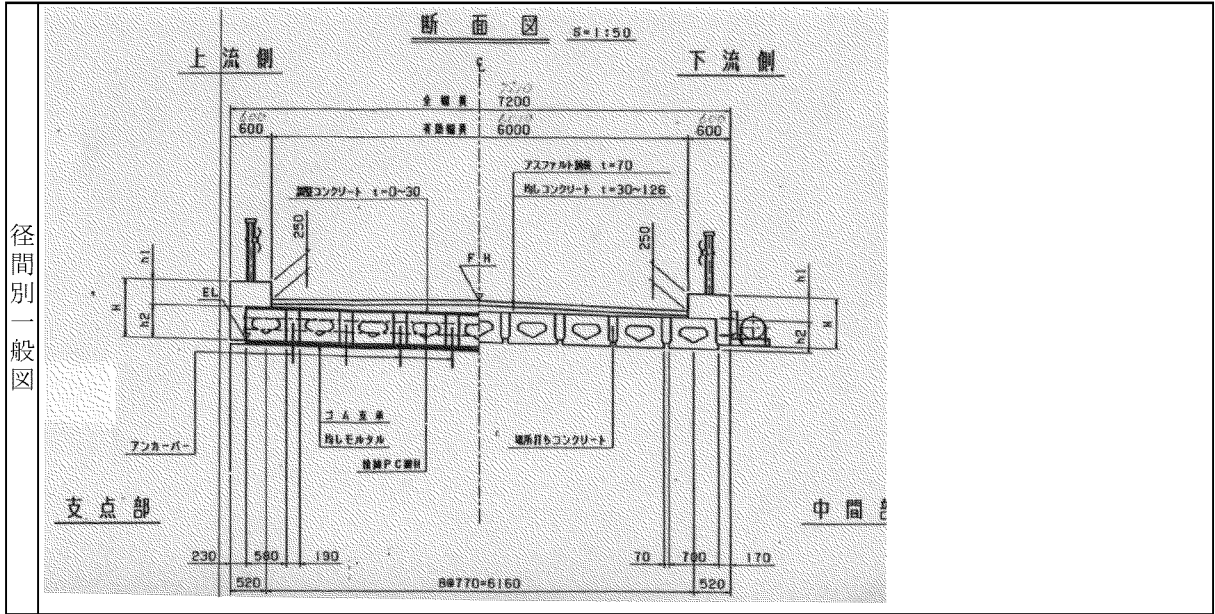
供用開始日	1975年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和47年		
橋長	23 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	4.8 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	石川橋		路線名	新城6線	
所在地	自	芦別市新城町271番地 の4	距離標	自	km
	至			km	
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1999年		活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成08年	
橋長	11.5 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	3 m	0 m	0.6 m
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m	0.6 m	
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼							

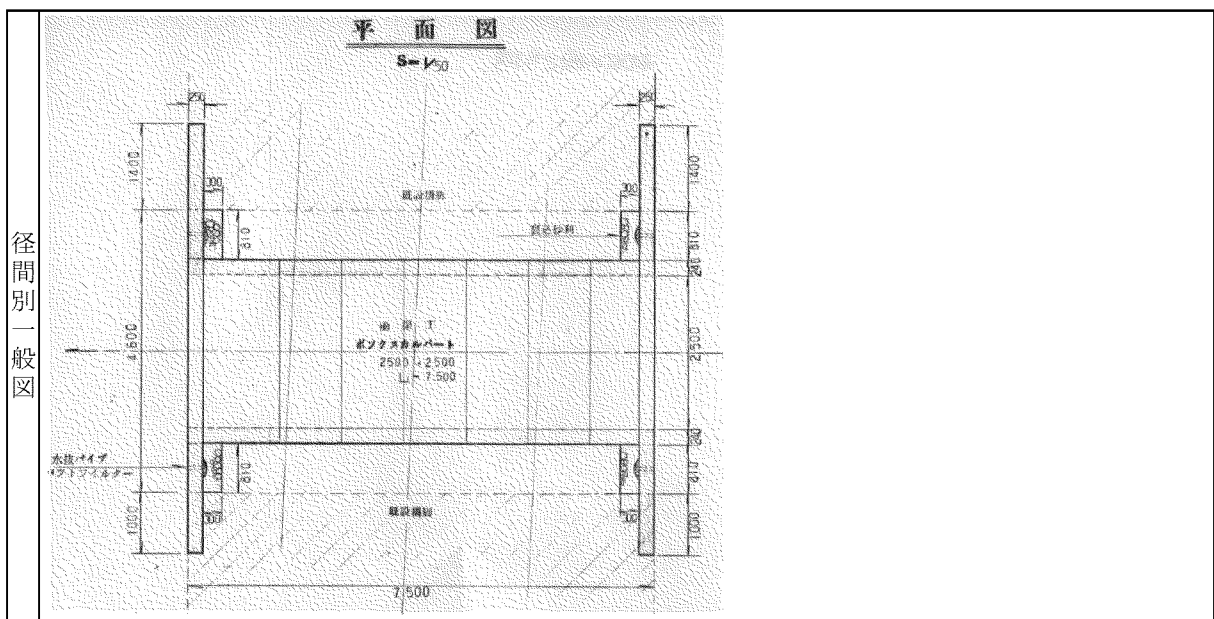




径間別一般図

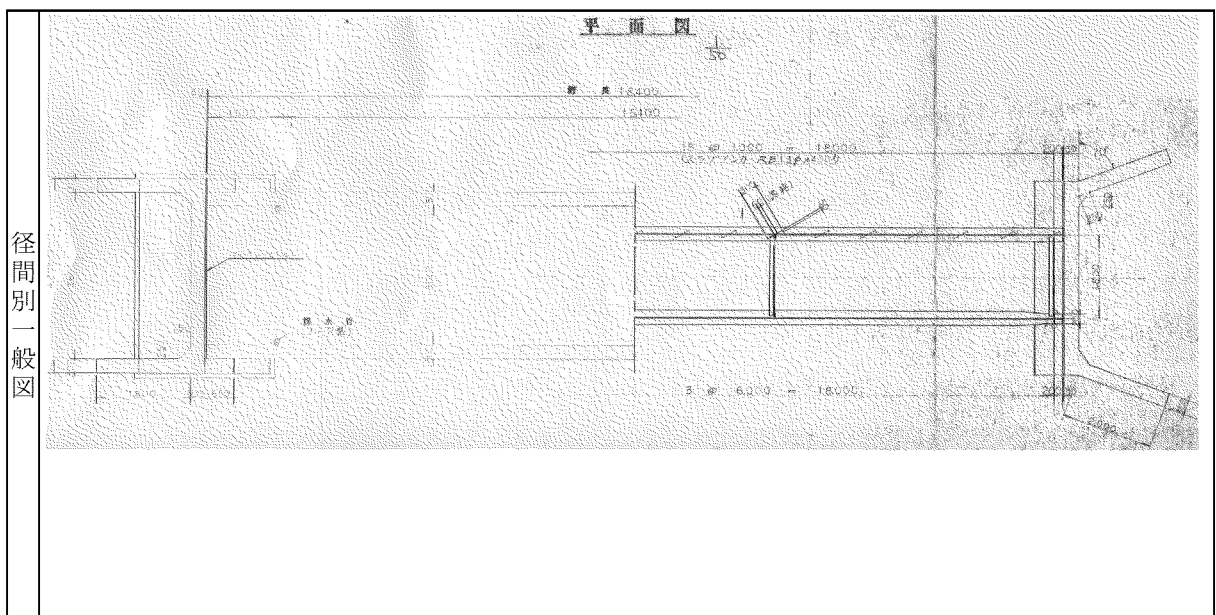
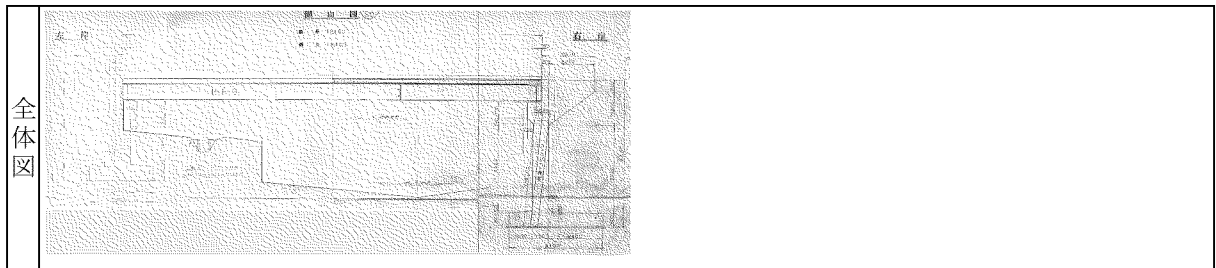
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	6線2号橋		路線名	新城6線	
所在地	自	芦別市新城町254番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1983年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和55年	
橋長	2.98 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	7.5 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7 m	0.25 m	0 m	3.5 m	0.25 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルートの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼					

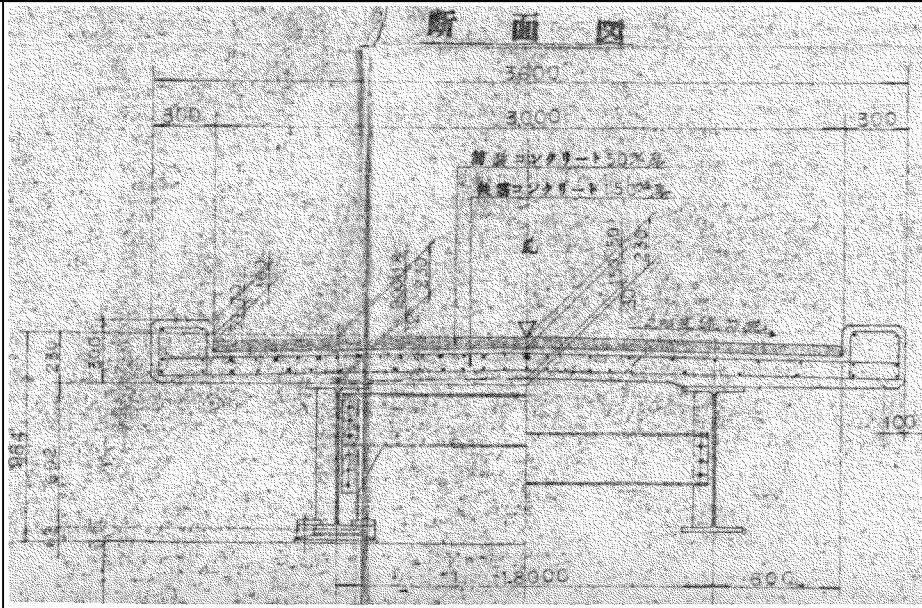


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	墓地橋		路線名	新城墓地線	
所在地	自	芦別市新城町282番地 の1	距離標	自	km
	至			km	管轄

供用開始日	1970年	活荷重・等級	TL-10		適用示方書	昭和42年		
橋長	18.46 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	鋼溶接橋 H形鋼 (非合成)		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式 直接基礎		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	3.6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	3 m	0.3 m	0 m	1.5 m	0 m	1.5 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート の指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							

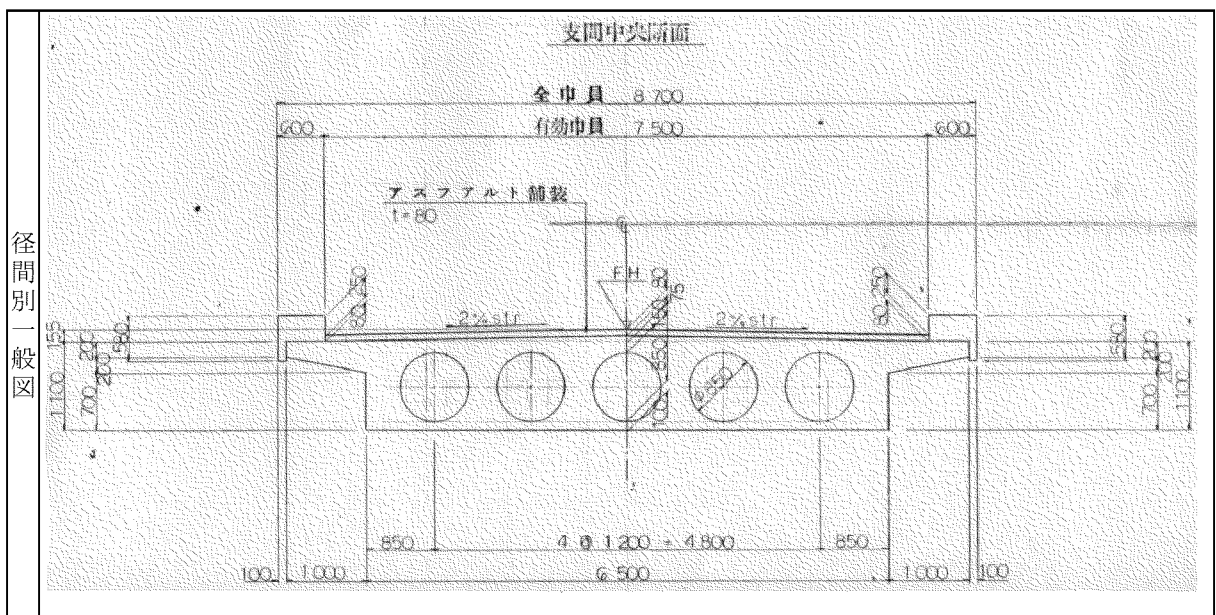
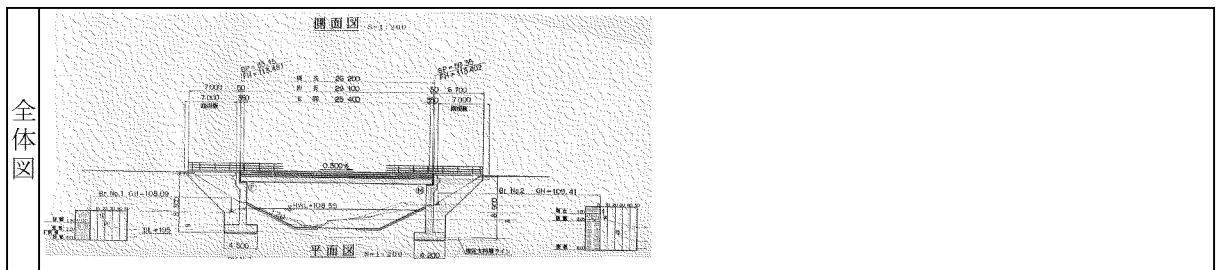


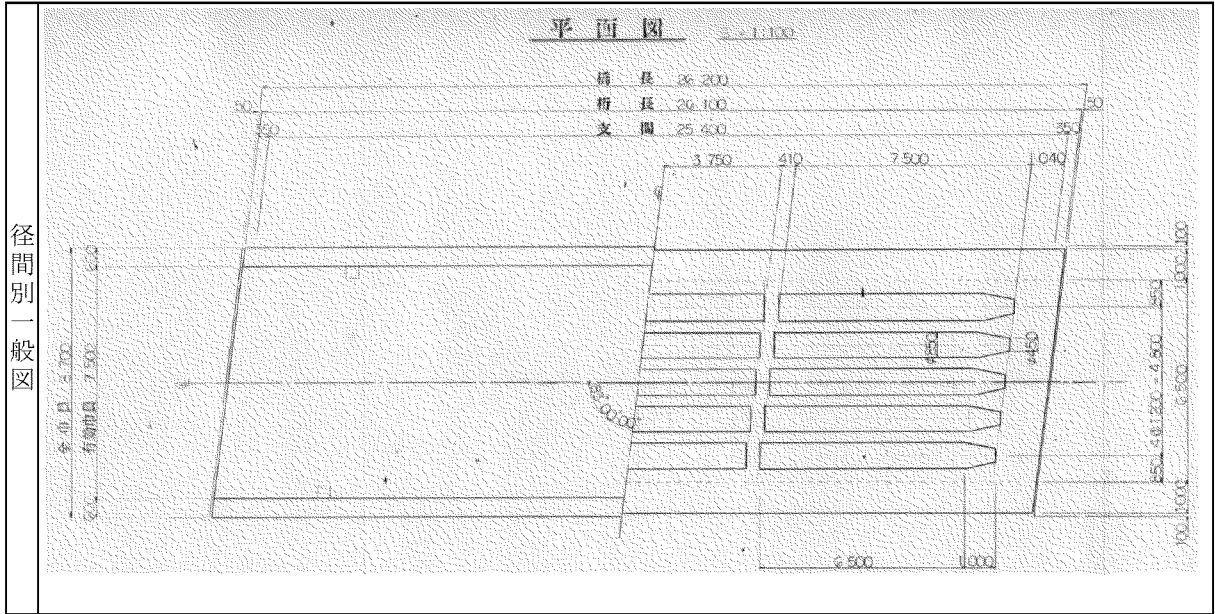
径間別一般図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	盤の沢橋		路線名	旭北1線	
所在地	自	芦別市旭町243番地の1	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

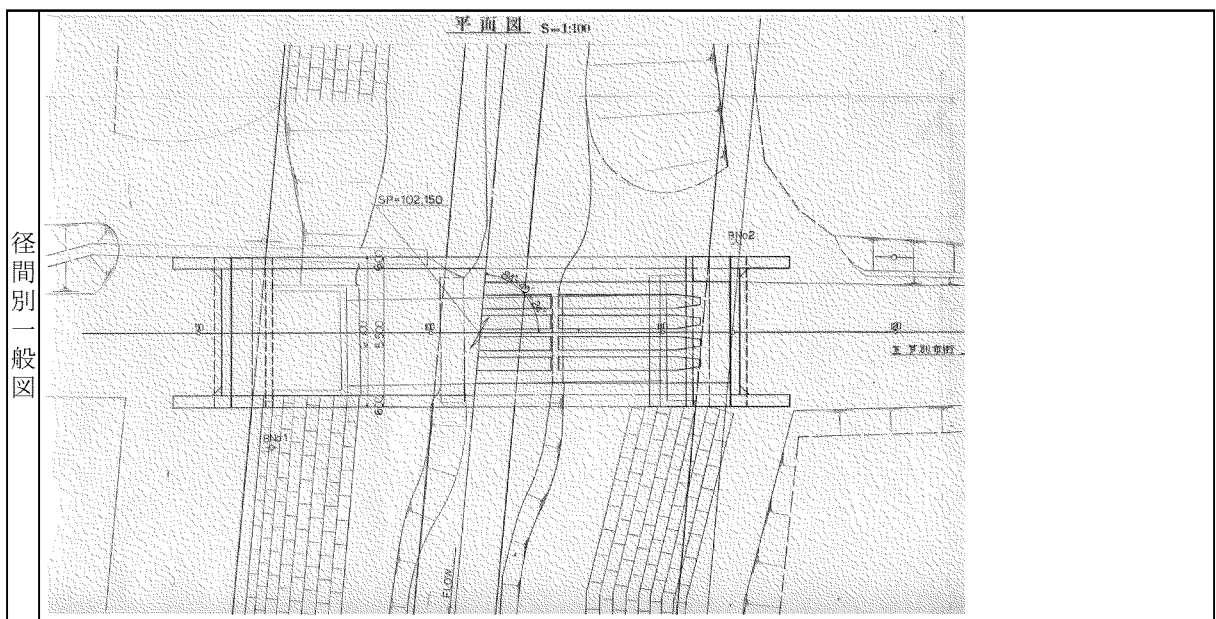
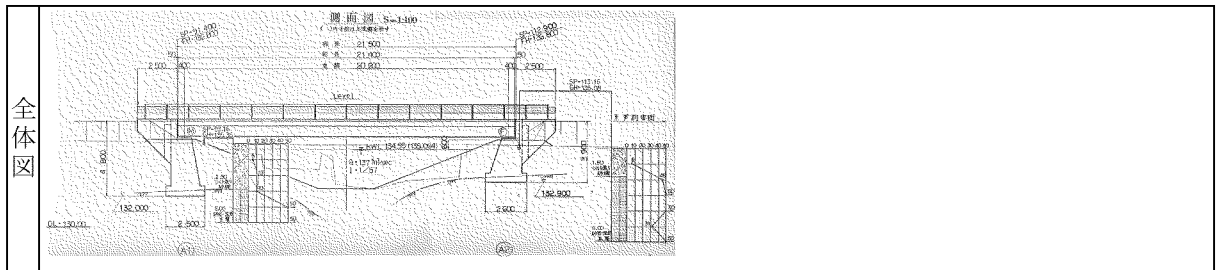
供用開始日	1991年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	平成02年	
橋長	26.2 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎	
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼					

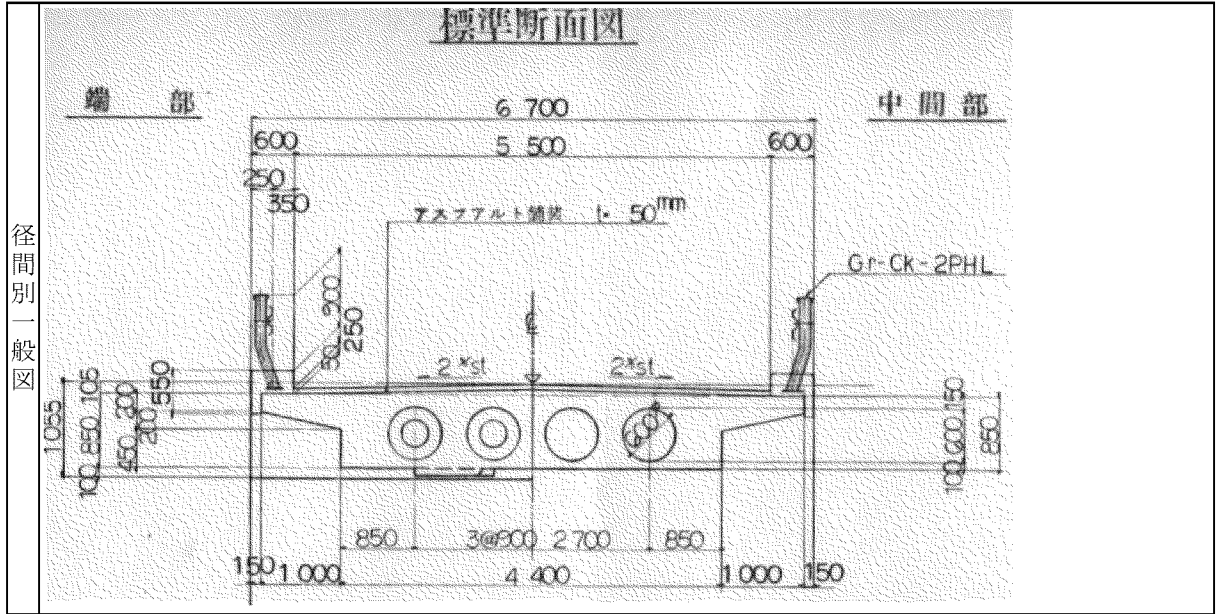




橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	天狗山橋		路線名	天狗山4線	
所在地	自	芦別市旭町430番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

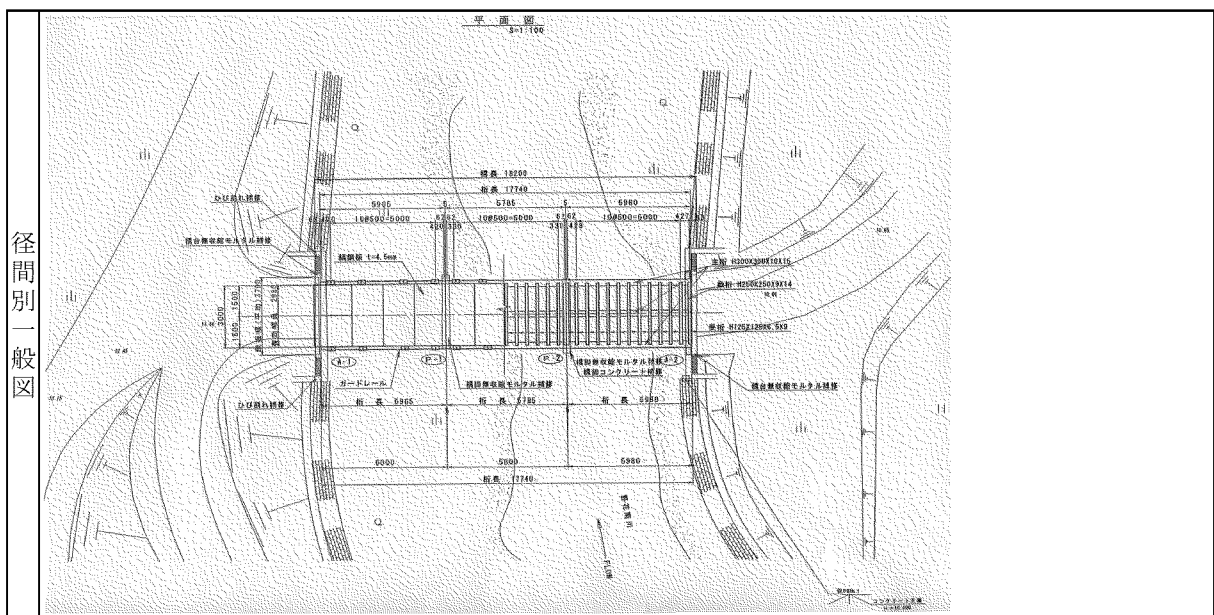
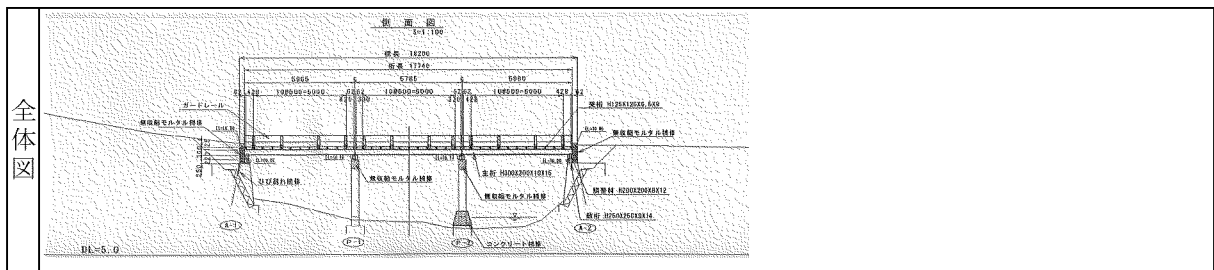
供用開始日	1987年	活荷重・等級	TL-14(S31)		適用示方書	昭和55年
橋長	21.5 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式 直接基礎
交通条件	調査年				大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限	
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員	6.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	
	有効幅員	5.5 m	0.6 m	0 m	2.75 m	0 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートの指定
路下条件	河川・開水路・湖沼					





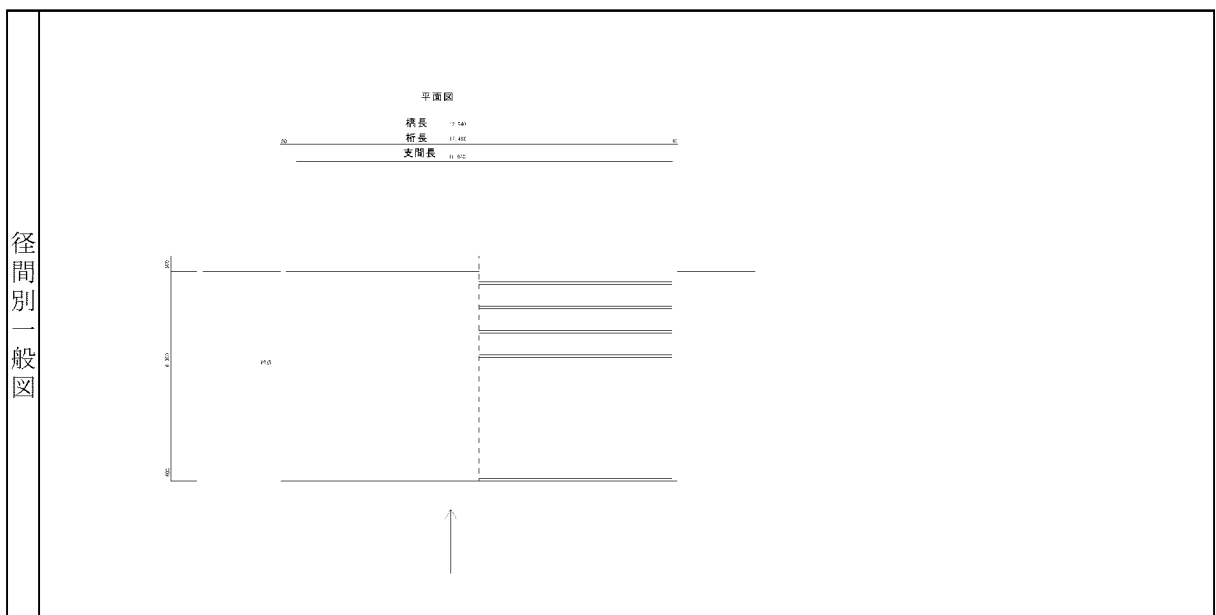
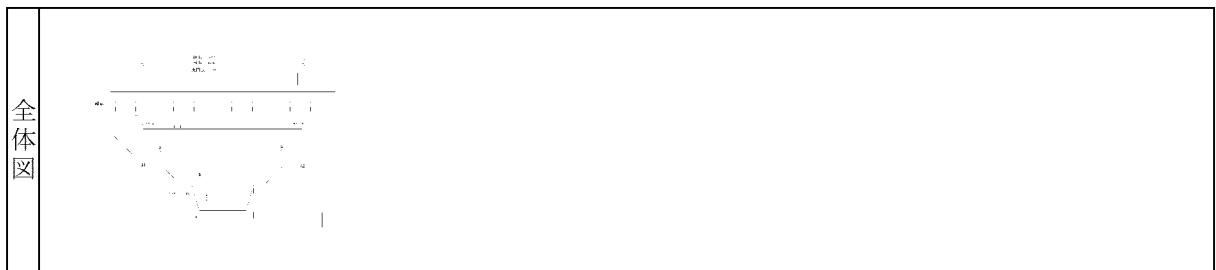
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	野花南22号橋		路線名	野花南22号西線	
所在地	自	芦別市野花南町386番地	距離標	自	km
	至			km	
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	2005年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	その他	
橋長	18.2 m	総径間数	3 径間			
上部構造形式	H型鋼 H形鋼 (非合成)	下部構造形式	重力式橋台/ラーメン 橋脚(RC)	基礎形式		
交通条件	調査年			大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限		
幅員	左側			中央帯	右側	
	全幅員	3 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	3 m	0 m	0 m	1.5 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルート	
路下条件	河川・開水路・湖沼					

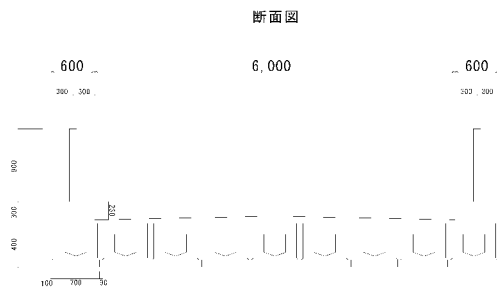


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	たきみ橋		路線名	野花南滝里線	
所在地	自	野花南町3225番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1994年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	平成06年
橋長	12.54 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	6 m	0.6 m	m	3 m
				m	3 m
				m	0.6 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼				

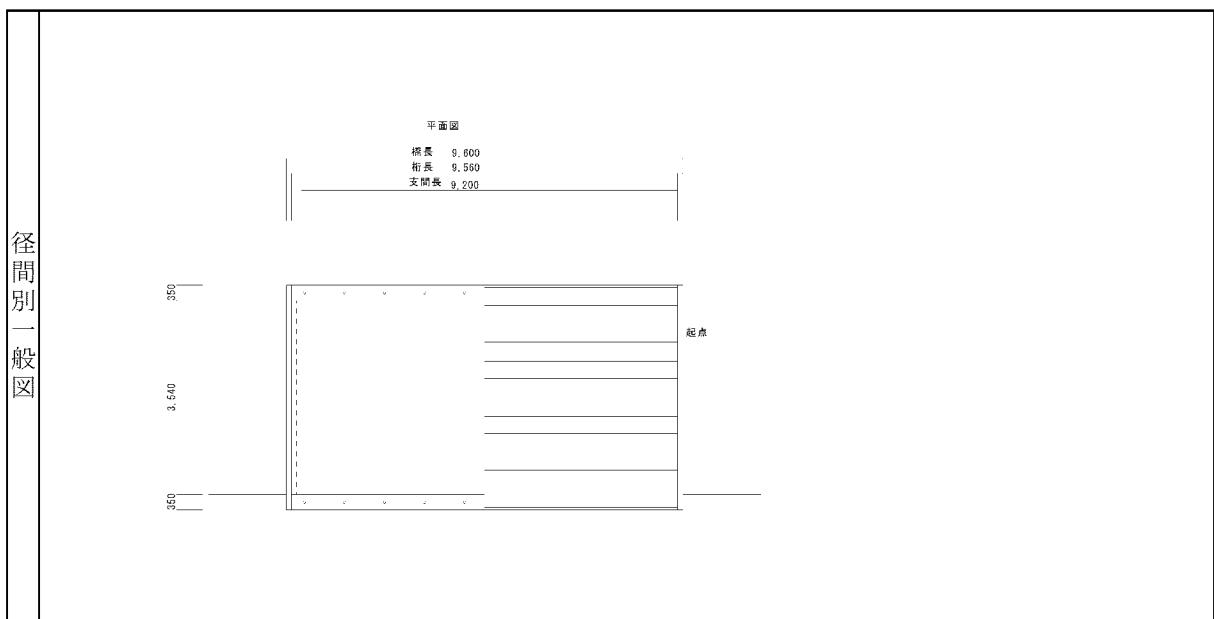


径間別一般図

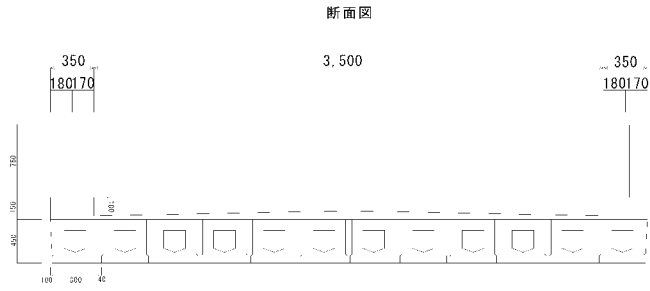


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	天狗山2号橋		路線名	天狗山2線	
所在地	自	芦別市野花南町322	距離標	自	km
	至	5番地		至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1967年	活荷重・等級	TL-14(S31)	適用示方書	昭和42年
橋長	9.6 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	4.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	3.5 m	0.35 m	m	1.75 m
				m	1.75 m
				m	0.35 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

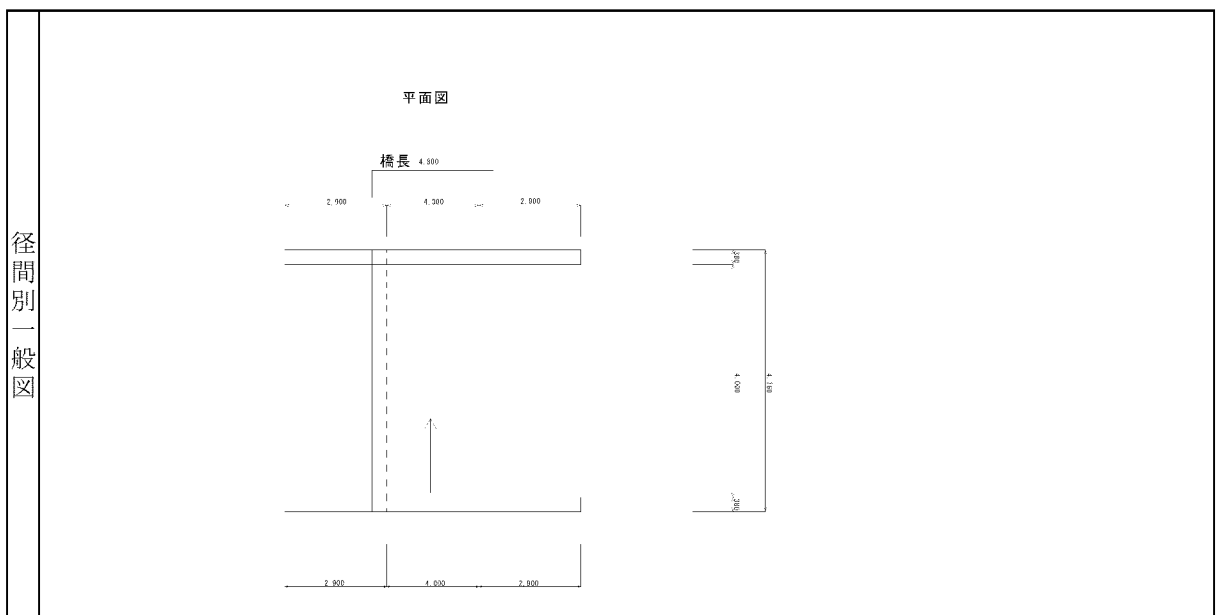
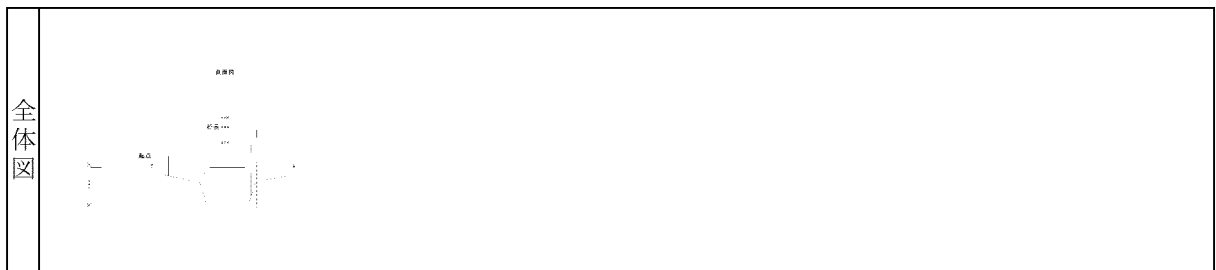


径間別一般図

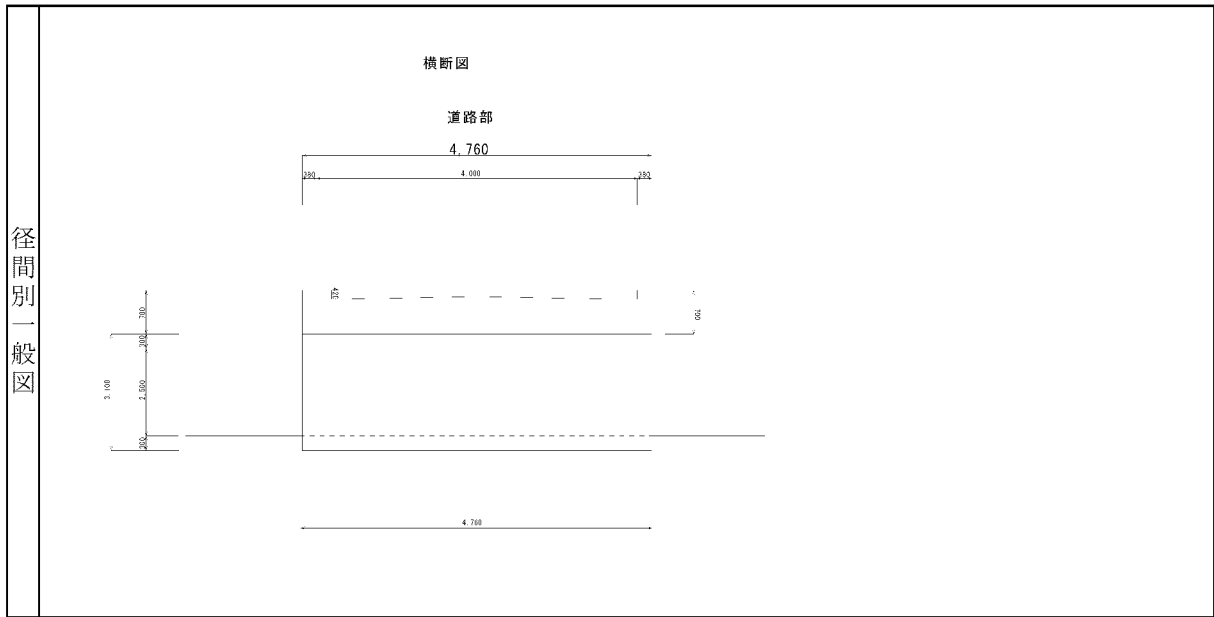


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	金剛橋		路線名	野花南22号西線	
所在地	自	野花南町132番地の7	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1982年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和55年
橋長	4.8 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC橋 RC溝橋 (BOXカルバート)		下部構造形式	重力式橋台	基礎形式
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	4.76 m		地覆幅	歩道幅
	有効幅員	4 m	0.38 m	m	2 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼				

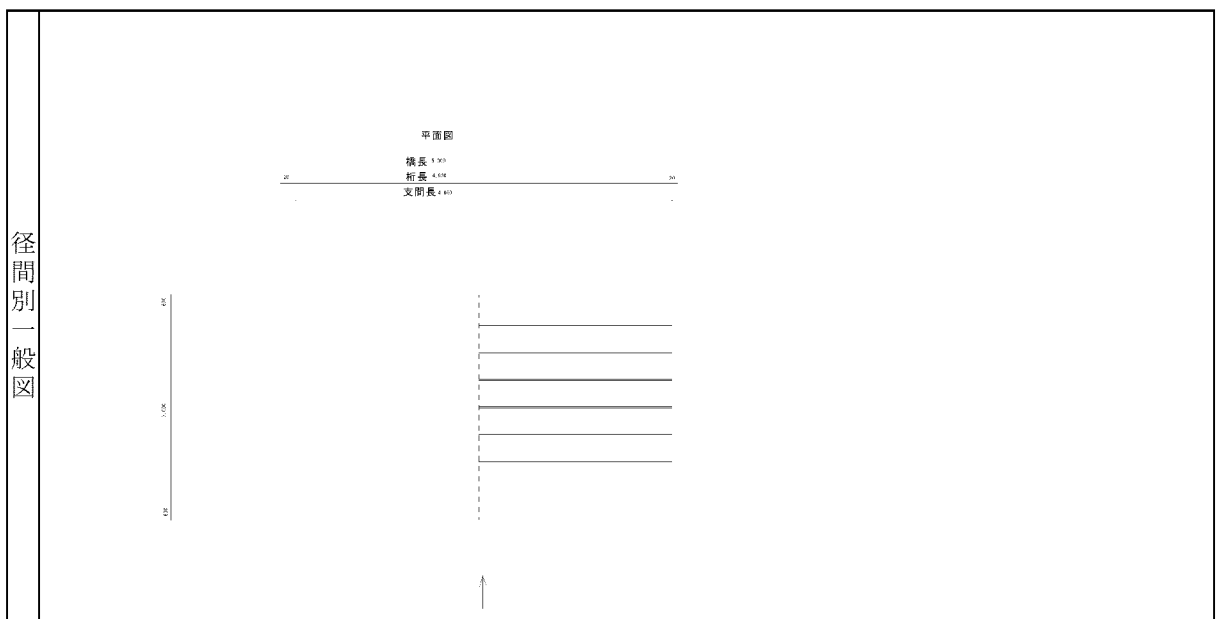


径間別一般図



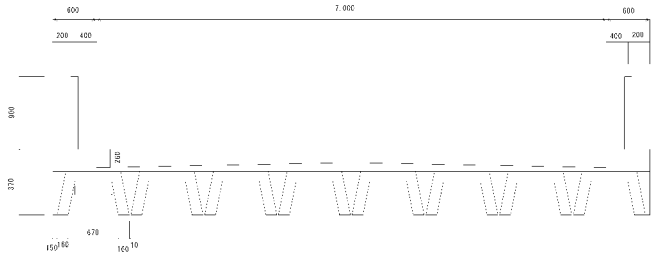
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	葺沢橋		路線名	野花南落辺線	
所在地	自	野花南町	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1980年	活荷重・等級	TL-20(S31)		適用示方書	昭和53年		
橋長	5 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	PC橋 プレテン床版		下部構造形式	その他(橋台)		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	7.6 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅	
	有効幅員	7 m	0.3 m	m	3.5 m	m	3.5 m	m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							



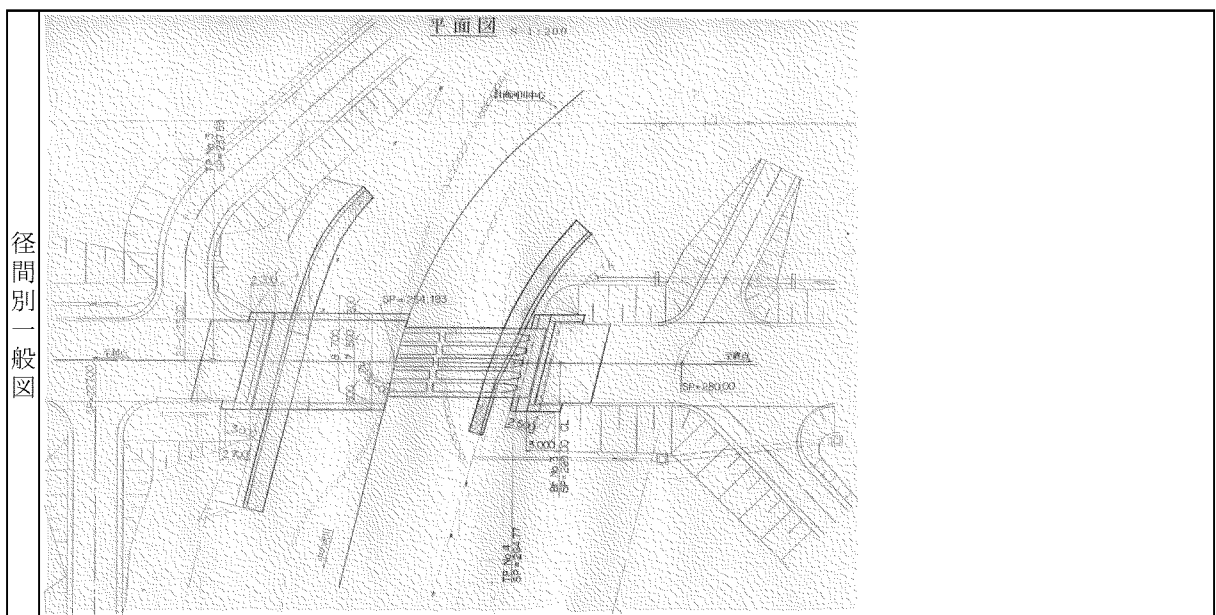
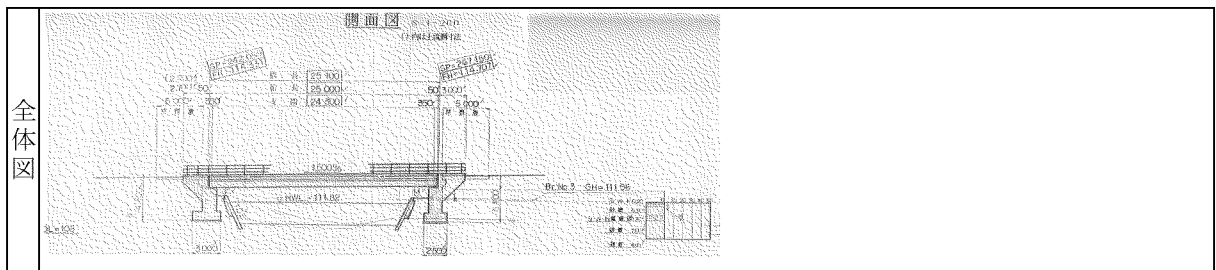
径間別一般図

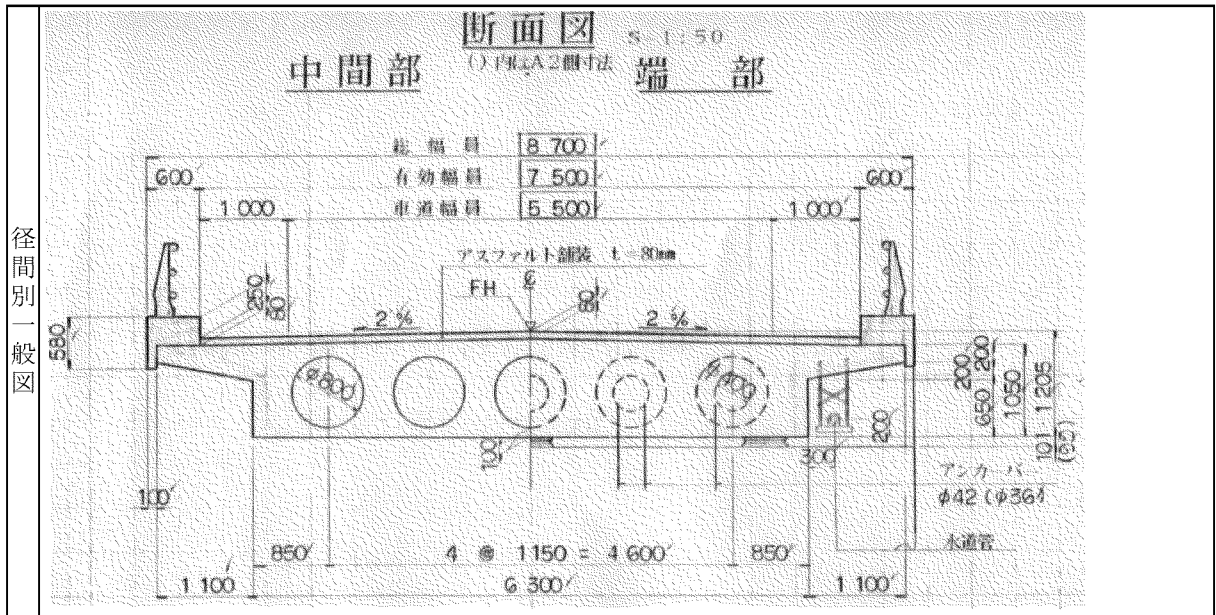
断面図



橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	旭中の沢橋		路線名	旭北1線	
所在地	自	芦別市旭町241番地の9	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1990年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	昭和53年
橋長	25.1 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC橋 ポステン中空床版	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎
交通条件	調査年			大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)		荷重制限	
幅員	左側		中央帯	右側	
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼				

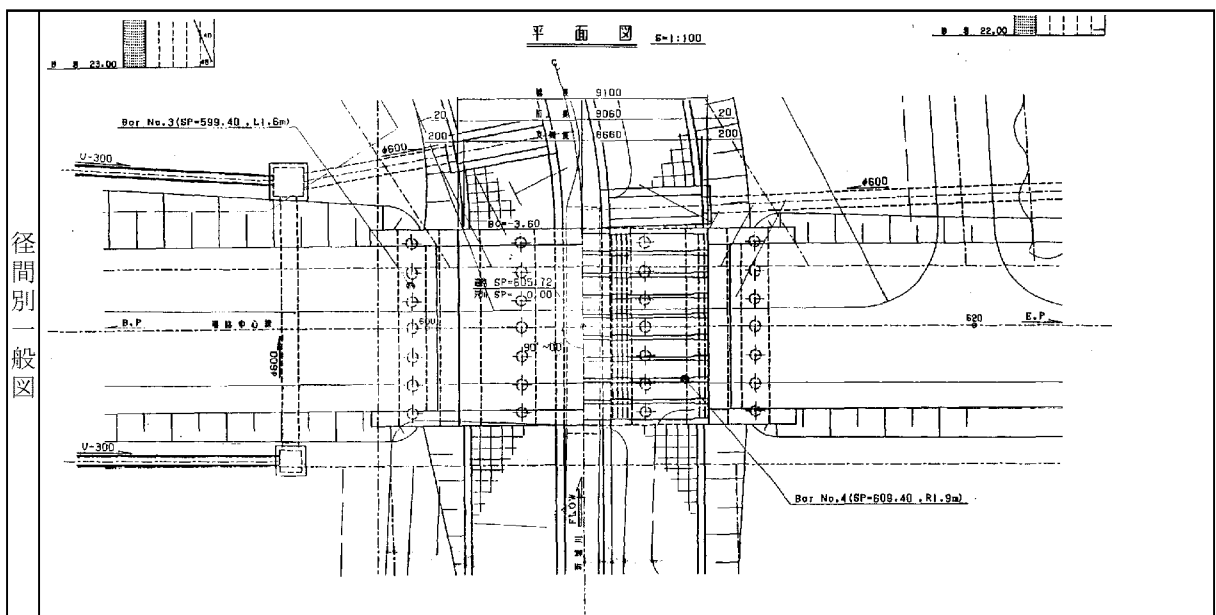
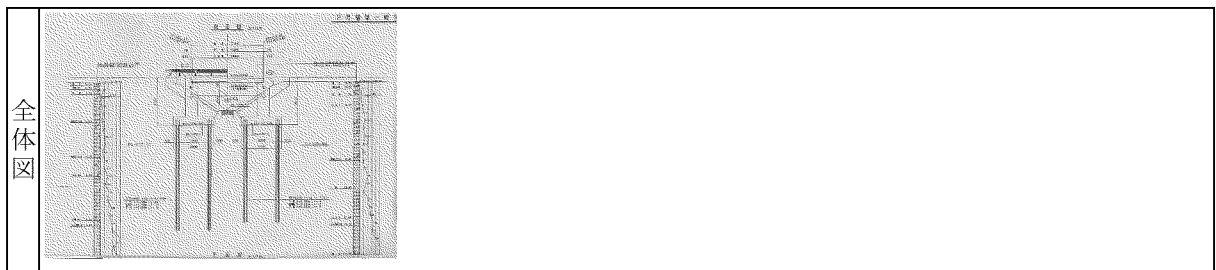




径間別一般図

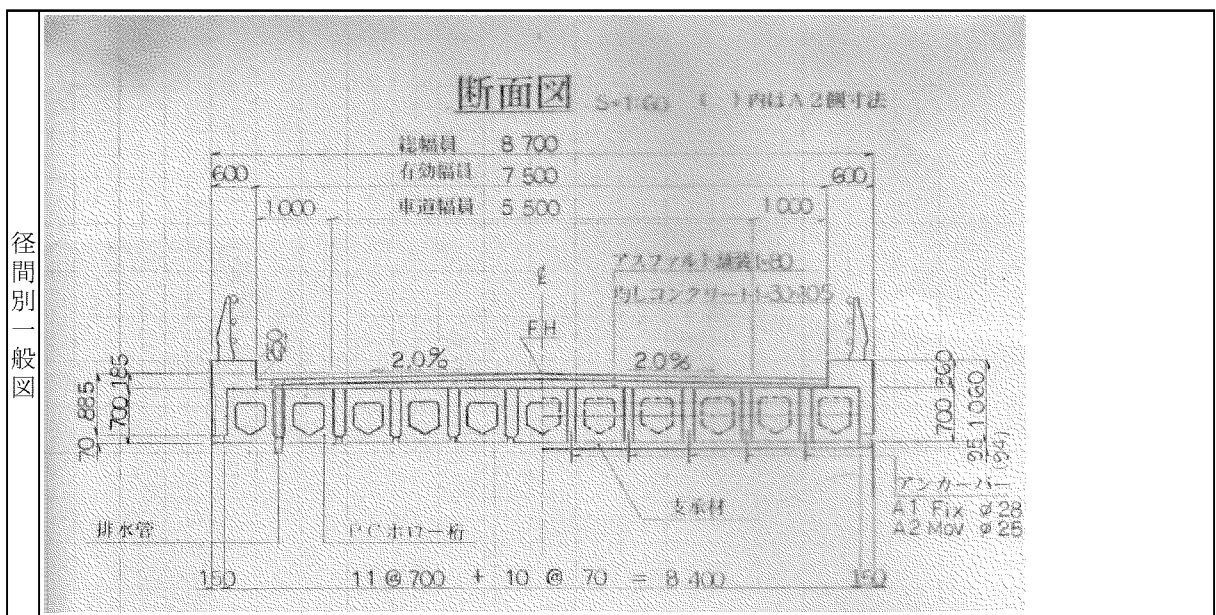
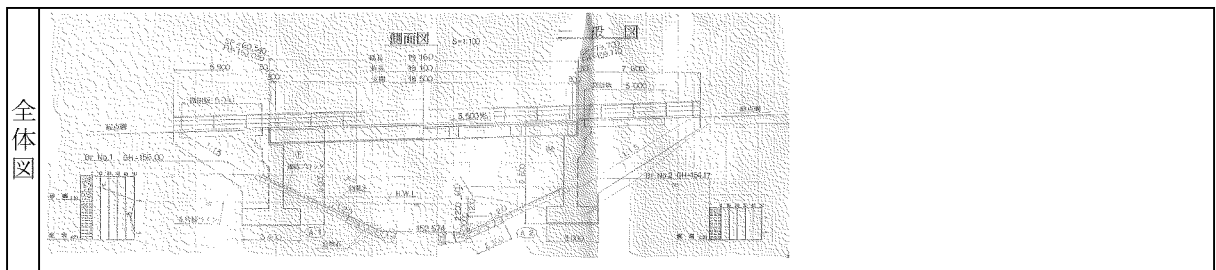
橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	浅川橋		路線名	新城東1番仲線	
所在地	自	新城町1054番地	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1999年	活荷重・等級	A活荷重		適用示方書	平成08年
橋長	9.1 m	総径間数	1 径間			
上部構造形式	PC橋 プレテン床版	下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
交通条件	調査年				大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限	
幅員	左側		中央帯		右側	
	全幅員	7.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線
	有効幅員	6 m	0.6 m	0 m	3 m	0 m
海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定		無	優先確保ルートへの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼					

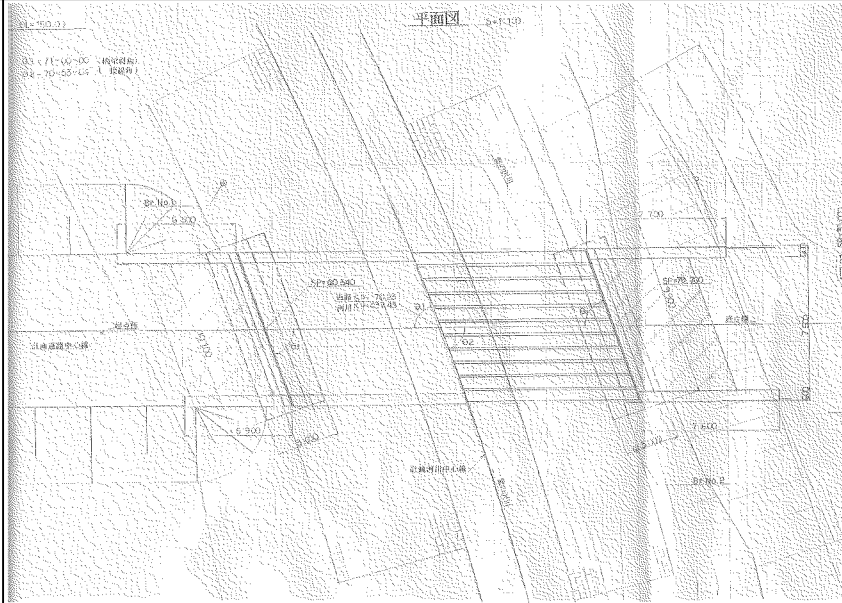


橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	降星橋		路線名	スターパークライン	
所在地	自	芦別市旭町油谷2-5	距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道 芦別市	

供用開始日	1993年	活荷重・等級	T20・L14(S31)		適用示方書	平成02年	
橋長	19.16 m	総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	逆T式橋台		基礎形式 直接基礎	
交通条件	調査年				大型車混入率		
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限		
幅員	左側		中央帯		右側		
	全幅員	8.7 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	地覆幅
	有効幅員	7.5 m	0.6 m	0 m	3.75 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルート	の指定
路下条件	河川・開水路・湖沼						



径間別一般図

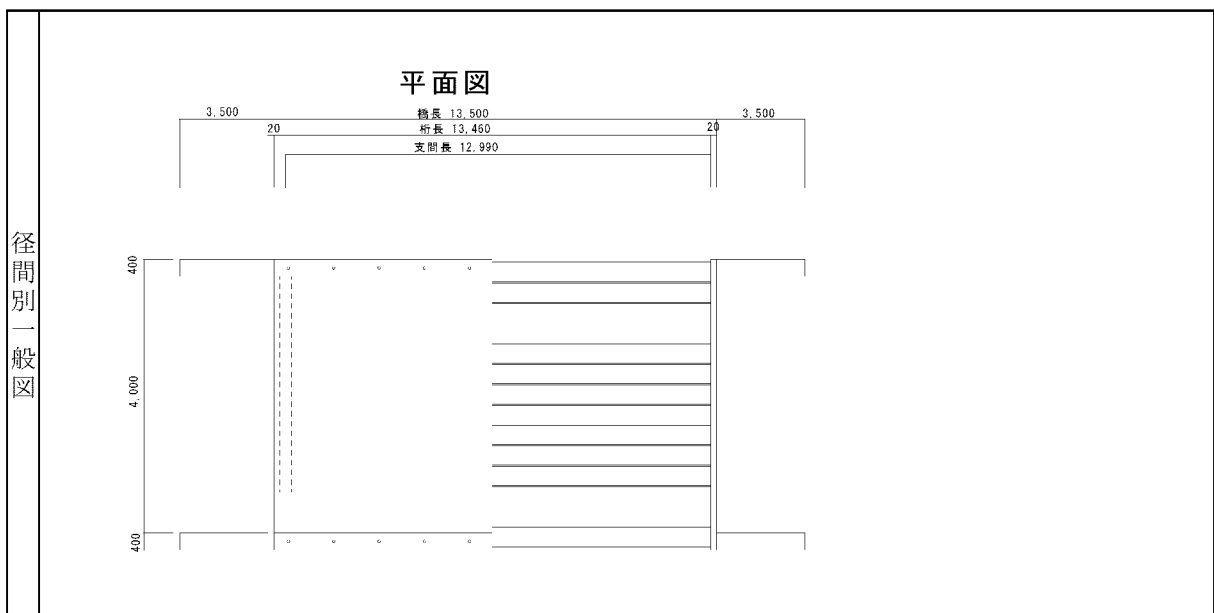
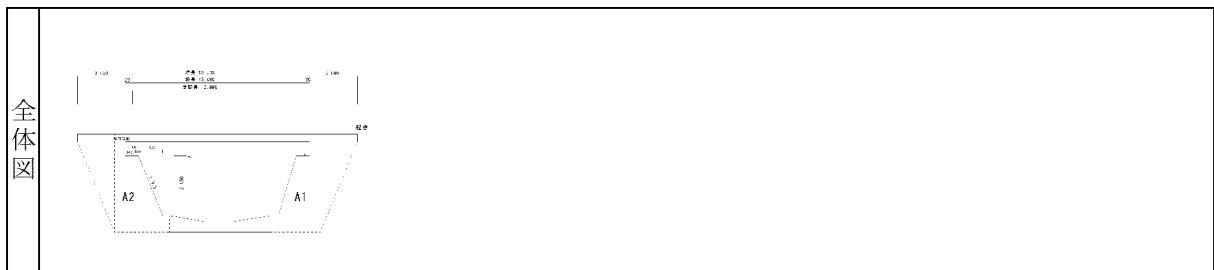


径間別一般図

注：入力内容（上部工、下部工、調査結果、部材図・写真登録）について
右岸を起点（右岸A1、左岸A2）として作成している。

橋梁諸元と総合検査結果					
橋梁名	三角3号橋		路線名	吉田の沢線	
所在地	自		距離標	自	km
	至			至	km
			管轄	北海道	
				芦別市	
				農林課	

供用開始日	1989年		活荷重・等級			適用示方書	昭和55年	
橋長	13.5 m		総径間数	1 径間				
上部構造形式	PC橋 プレテン中空床版		下部構造形式	重力式橋台		基礎形式		
交通条件	調査年				大型車混入率			
	交通量	(昼間12時間)			荷重制限			
幅員	左側		中央帯		右側			
	全幅員	4.8 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	2 m	車道幅・車線	2 m
	有効幅員	4 m	0.4 m	m	2 m	m	m	0.4 m
海岸からの距離	m		緊急輸送路の指定	無		優先確保ルートへの指定		
路下条件	河川・開水路・湖沼							



径間別一般図

